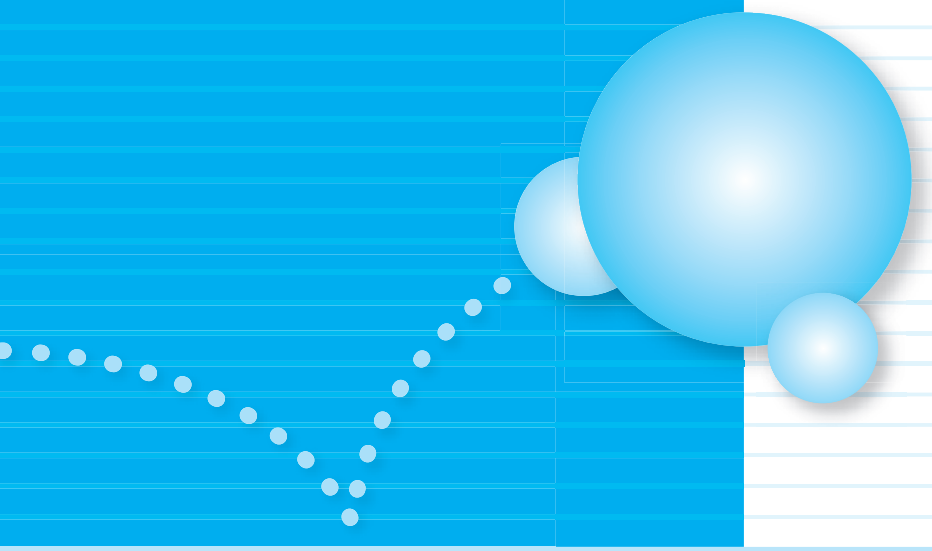
パソコン応用

HITACHI
Inspire the Next



Prius One

マニュアルはよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

■このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

パソコンの信頼性について

ご購入いただきましたパソコンは、家庭用、あるいは、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。

家庭用一般事務用パソコンが不適当な、高信頼性を必要とする用途例
・化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など

規制、対策などについて

●電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
●電源の瞬時電圧低下対策について
本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。（社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）。
●高調波電流規格：JIS C 61000-3-2 適合品
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3－2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当あたりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
● ENERGYSTAR® について
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。』
●輸出規制について
本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国の輸出管理関連法などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。この装置に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。なお、ご不明な場合は、弊社「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
●音楽CD再生について
ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用下さい。規格外CDを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。再生できた場合であっても、音質は保証いたしかねます。
なお、規格外CDを再生した場合、色々な不具合が発生することがあります。

●液晶ディスプレイのドット抜けについて
表示するパターンによっては、微妙な輝点 (指定の色と関係なく光る) や黒点 (指定の色が表示できない) が見えたり、罫線や文字の一部が欠けることがあります。ただし、輝点や黒点の数については、弊社の規格によって制限しています。ご使用中、著しく増加することはありません (社団法人電子情報技術産業協会のパソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドラインに基づく表示)。
詳細は Prius ホームページ内の仕様表をご覧ください。
→ http://prius.hitachi.co.jp/
●電波について (ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウス)
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。次項に注意してください。
・ 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことをご確認ください。
・ 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
・ その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などがおきたときは、弊社のお問い合わせ先にご連絡ください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS 方式、CSMA/CA 方式
想定干渉距離	30m
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

● PC グリーンラベル制度について

本製品は、JEITA「PC グリーンラベル制度」の審査基準 (2006 年度版) を満たしています。
詳細は、Web サイトをご覧ください。
→ http://www.pc3r.jp
● J-Moss グリーンマーク表示について

本製品は、資源有効利用促進法、及び JIS C 0950 が規定するグリーンマーク表示の基準に適合しています。
適合状況は、下記 URL をご覧ください。
→ http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/flora/policy/environment/index.html

マニュアルの表記について

	これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。
	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。
	これは、軽度の傷害あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険を示すのに用います。
	これは装置の重大な損傷、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
	重要事項や使用上の制限事項を示します。
	パソコンを活用するためのヒントやアドバイス、パソコンの用語を解説します。
	参照先を示します。
CD/DVD ドライブ	DVD スーパーマルチドライブなどの光学式ディスクドライブを表記します。
HDD	ハードディスクドライブを表記します。
FDD	フロッピーディスクドライブを表記します。
FD	フロッピーディスクを表記します。
Windows、Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition、Microsoft® Windows® XP Professional 、Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005 を表記します。
17 型モデル	17 型液晶ディスプレイが搭載されているモデルを表記します。
20 型モデル	20 型液晶ディスプレイが搭載されているモデルを表記します。
Office モデル	Microsoft® Office Personal Edition 2003 が添付されているモデルを表記します。
Media Center Edition モデル	OS が Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005 のモデルを表記します。
地デジ	地上デジタルテレビ放送やチューナーボードを表記します。
地アナ	地上アナログテレビ放送やチューナーボードを表記します。

・マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。モデルによっては、異なる場合があります。
　説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、省略している場合があります。
・[コントロール パネル] 画面は [クラシック表示] で説明しています。
・URL、お問い合わせ先、画面などは、マニュアル制作時点のものです。

もくじ

もくじ.....5

1 章 応用操作

ディスプレイを調整する.....10
ディスプレイの表示を変える.....10
［画面のプロパティ］の開き方.....10
画面の解像度、色、フォントサイズの設定.....10
画面表示が消えた時の変更手順.....12
パソコン用リモコンを使って調整する.....13
17 型モデルの映像設定について.....13
20 型モデルの映像設定について.....14
音量を調整する.....15
Windows で調整する.....15
パソコン用リモコンを使って調整する.....16
通知領域に［音量］アイコンを表示して調整する.....17
キーボードのキーを使って調整する.....18
ワンタッチキーを設定する.....19
設定の方法.....19
表示設定.....21
キーボード / マウスの電池容量の確認.....22
キーボードの電池容量を確認する.....22
マウスの電池容量を確認する.....23
メール着信通知 /EPG ダウンロード機能を使う.....24
メール着信通知機能 /EPG ダウンロードの設定.....24

2 章 消費電力を節約する

節電機能の種類.....30
節電する.....31
自動で節電する.....31
すぐに節電する.....32
［終了オプション］から節電する.....32
電源スイッチで節電する.....33
節電状態から復帰する.....35

ディスプレイの節電状態からの復帰 35
HDD の節電状態からの復帰 35
スタンバイ、休止状態からの復帰 35
クイックレジュームモードからの復帰
（Windows Media Center Edition モデルの場合のみ） 35

節電機能を使わないようにするとき 36

節電機能を使わないようにするとき 36
節電機能を使わないようにするには 36

3章 パソコンを拡張する

周辺機器接続時に必要な設定 38

USB 機器を接続する 39

USB プリンターを使用する方法 40
プリンタードライバーの削除方法 40
使用するプリンターの選択 41

IEEE1394 機器を接続する 42

LAN を接続する 43

メモリーカードを使う 44

取り付け手順 44
取り外し手順 45

ヘッドホン、マイクを接続する 47

接続方法 47
マイクを使って録音する 49
ドルビーヘッドホンで聴く 51

光デジタルオーディオ機器を接続する 52

メモリーボードを取り付ける 53

作業時の注意点 53
メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた 54
取り付け手順 54
取り外し手順 55

その他の周辺機器を接続する 56

4章 セットアップする

アプリケーションのインストール 58

インストールの前に. 58
アプリケーションを削除する 59
アンインストーラーによる削除 59
［プログラムの追加と削除］による削除. 59
アプリケーションの個別インストール. 60
HDD イメージからのインストール. 60
『アプリケーションディスク』からのインストール 62
付属の CD からのインストール. 64
各アプリケーションの制限や設定 64
ドライバー、ユーティリティーのセットアップ. 68
チップセットドライバー 68
表示ドライバー. 69
サウンドドライバー. 70
マルチメディアキーボードドライバー. 70
モデムドライバー. 71
LAN ドライバー. 71
地上アナログ TV チューナードライバー 72
地上デジタル TV チューナードライバー 74
メモリースティックドライバー 75
xD- ピクチャーカードドライバー. 76
オンラインサインアップソフト 77
プラグイン 79
Adobe Reader 80
CyberSupport for HITACHI 81
Windows ファイルを追加セットアップする 82
パーティションの設定 83

5 章 日常のお手入れ

パソコンのお手入れ 90

6 章 トラブルと思ったら

制限事項. 92
パソコンおよび周辺機器を使用する環境について 92
パソコンおよび周辺機器の取り扱いについて. 93
パソコンおよび周辺機器に関するご注意. 93
ディスプレイに関するご注意 94
USB 機器の使用について. 94

CD/DVD ドライブに関するご注意 95
CD/DVD 再生に関するご注意 95
CD/DVD ディスクに関するご注意 96
「Prius Navistation4」に関するご注意 96
地上デジタル放送に関するご注意 96
著作権についてのご注意 97
HDD の容量表示について 97
リモコンに関するご注意 97
光学式マウスに関するご注意 97
よくある質問 98
パソコンの操作で困った 98
ファイルがうまく管理できない 99
通信がうまくできない 100
インターネット使用中のトラブル 100
インターネットブラウザーのトラブル 104
メールの送受信がうまくいかない 106
一括インストールできない 110
PDF ファイルの操作で困った！ 110
ソフトウェアのトラブル 110
ソフトウェアをもっと使いこなしたい 111
データのバックアップ 112
さくいん 113

1

1 章 応用操作

この章では、パソコンの設定を工夫し、さらに使いやすくする方法について説明します。

>> ・ディスプレイを調整する (P.10)
>> ・音量を調整する (P.15)
>> ・ワンタッチキーを設定する (P.19)
>> ・キーボード / マウスの電池容量の確認 (P.22)
>> ・メール着信通知 /EPG ダウンロード機能を使う (P.24)

ディスプレイを調整する

ここでは、ディスプレイの表示の設定を変更する方法を説明します。

ディスプレイの表示を変える

ディスプレイの表示を細かく設定することで、見やすく目の疲れにくい画面表示にできます。設定は［画面のプロパティ］で行います。

- ［画面のプロパティ］の開き方
- 画面の解像度、色、フォントサイズの設定
- 画面表示が消えた時の変更手順

重要 ● ディスプレイの表示を変える時は、必ず［画面のプロパティ］から行ってください。それ以外の手順で変更し、付属のディスプレイに対応していない解像度を設定した場合、画面が表示されなくなります。

参照 詳細について→「画面表示が消えた時の変更手順」

［画面のプロパティ］の開き方

1 ［スタート］ボタン －［コントロール パネル］をクリック

［コントロール パネル］が表示されます。

2 ［画面］アイコンをダブルクリック

［画面のプロパティ］が表示されます。

ヒント ● ［コントロール パネル］に［画面］アイコンが表示されていないときは、［クラシック表示に切り替える］をクリックすると表示されます。

画面の解像度、色、フォントサイズの設定

重要 ● 設定はアプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行うと、正しく動作しないことがあります。

1 ［画面のプロパティ］の［設定］タブで、画面の解像度や色を設定する。フォントサイズについては、［デザイン］タブの［フォントサイズ］で設定する。次の表の組み合わせに従い、［適用］ボタン、［OK］ボタンをクリック

● 17 型モデルの場合

画面の領域	色 ＊ 2	フォントサイズ
800 × 600	中 (16 ビット)	標準＊ 1 大きいフォント 特大フォント
	最高 (32 ビット)	
1024 × 768	中 (16 ビット)	
	最高 (32 ビット)	
1280 × 1024 ＊ 1	中 (16 ビット)	
	最高 (32 ビット) ＊ 1	

● 20 型モデルの場合

画面の領域	色 ＊ 2	フォントサイズ
800 × 600	中 (16 ビット)	標準＊ 1 大きいフォント 特大フォント
	最高 (32 ビット)	
1024 × 768	中 (16 ビット)	
	最高 (32 ビット)	
1360 × 768 ＊ 1	中 (16 ビット)	
	最高 (32 ビット) ＊ 1	

＊ 1 ：工場出荷時は、この標準値に設定されています。

＊ 2 ：中 (16 ビット) は 65536 色、最高 (32 ビット) は 17 型モデルで約 1619 万色、20 型モデルで約 1677 万色です。

重要 ● 上記の画面領域 (表示解像度) 以外の値は、選択しないでください。画面が表示されない場合があります。

2 以降、表示されるメッセージに従って操作する

画面の表示が設定されます。

重要
- 画面の表示で問題が発生した場合は、［画面のプロパティ］の［設定］タブで［詳細設定］ボタンをクリックし、［トラブルシューティング］タブの［ハードウェア アクセラレータ］を左から 2 つ目の目盛りに設定してください。
- アプリケーションによっては、スクロールしたりウインドウの移行を行ったりしたときに表示の一部が欠けたり乱れたりすることがあります。この時は、ウインドウをクリックするなどして、再表示してください。
- ビデオメモリーの容量はパソコンが自動で割り当てます。変更はできません。

画面表示が消えた時の変更手順

解像度の設定を間違え、画面が表示できない場合は、次の手順で適切な解像度に変更してください。

1 電源スイッチを押し、パソコンの電源を切る

2 20 秒以上時間をおき、再度電源スイッチを押してパソコンを立ち上げ直す

3 キーボードの [F8] キーを押し続ける

[Windows 拡張オプションメニュー] が表示されます。

4 [↑]、[↓] キーで、「VGA モードを有効にする」を選択して [Enter] キーを押す

[オペレーティングシステムの選択] が表示されます。

5 [↑]、[↓] キーで、「Microsoft Windows XP Home Edition」または「Microsoft Windows XP Media Center Edition 2005」「Microsoft Windows XP Professional」を選択して [Enter] キーを押す。[ユーザ選択] 画面が表示されたら、ユーザーを選択して Windows を立ち上げる

解像度 640 × 480 の VGA モードで Windows が立ち上がります。

ヒント
- 複数のユーザーを設定していない場合やパスワードを設定していない場合は、[ユーザ選択] 画面は表示されません。

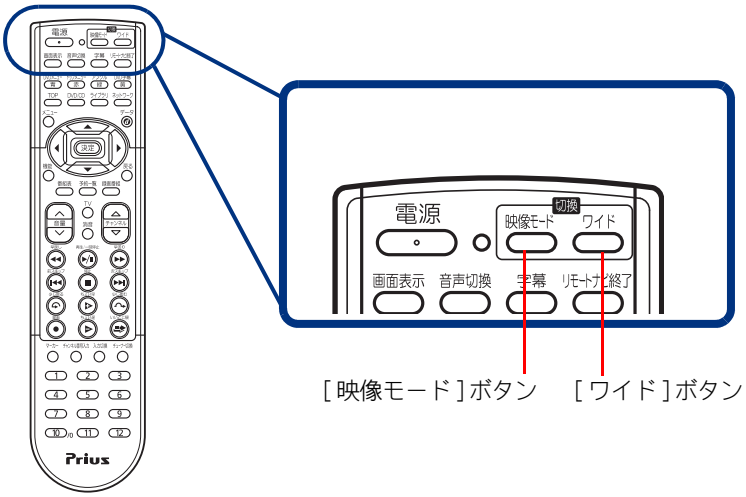
6 [画面のプロパティ] を開き、17 型モデルでは、画面の解像度を「1280 × 1024」に変更する。20 型モデルでは、画面の解像度を「1360 × 768」に変更する

参照 詳細について→「ディスプレイの表示を変える」

パソコン用リモコンを使って調整する

「Prius Navistation4」の全画面視聴時にパソコン用リモコンの［映像モード］ボタン、［ワイド］ボタンを押して、画面を調整できます。

ヒント ● テレビチューナーボードが搭載されないモデルには、パソコン用リモコンは添付されません。



17 型モデルの映像設定について

［映像モード］ボタン、［ワイド］ボタンを押すごとに画面表示が切り替わります。

項目	画面	調整 / 設定内容
ワイド	ノーマル → ズーム → フル → ノーマル	拡大設定を切り換える
映像モード	ダイナミック → シネマ → ナチュラル → ノーマル → ダイナミック	ピクチャーエンハンス機能の設定を切り換える

●ワイド設定について

項目	アナログ放送の全画面またはパソコン画面	地上デジタル放送の全画面
ノーマル	―	映像を中央に表示する
ズーム	―	4:3 の映像を拡大して表示する
フル	―	4:3 の映像を画面いっぱいに広げて表示する

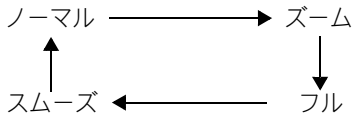
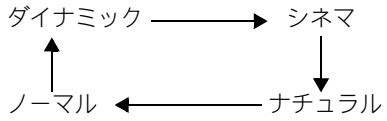
●映像モードについて

項目	ピクチャーエンハンス機能
ダイナミック	鮮明でコントラストのある映像に調整する 明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむ時に適したモード

項目	ピクチャーエンハンス機能
シネマ	明るさを抑え、落ち着いた映像に調整する 映画などの長時間の視聴に最適なモード
ナチュラル	通常のテレビ番組などを楽しむのに適したモード
ノーマル	ピクチャーエンハンス機能は働きません オリジナルの映像を楽しむのに適したモード

20 型モデルの映像設定について

[映像モード] ボタン、[ワイド] ボタンを押すごとに画面表示が切り替わります。

項目	画面	調整 / 設定内容
ワイド		拡大設定を切り換える
映像モード		ピクチャーエンハンス機能の設定を切り換える

●ワイド設定について

項目	アナログ放送の全画面またはパソコン画面	地上デジタル放送の全画面
ノーマル	正常な縦横比を保持したまま、画面の高さをいっぱいに表示する	映像を中央に表示する
ズーム	ー	ビスタサイズ / シネスコサイズの映画など上下に黒帯の入った映像を水平・垂直方向に画面いっぱいに拡大して表示する
フル	4:3 の映像を画面いっぱいに広げて表示する	
スムーズ	4:3 の映像を画面中央はほとんど拡大せず、画面中央から水平方向に順々に拡大率を上げ、画面いっぱいに表示する	

●映像モードについて

項目	ピクチャーエンハンス機能
ダイナミック	鮮明でコントラストのある映像に調整する 明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむ時に適したモード
シネマ	明るさを抑え、落ち着いた映像に調整する 映画などの長時間の視聴に最適なモード
ナチュラル	通常のテレビ番組などを楽しむのに適したモード
ノーマル	ピクチャーエンハンス機能は働きません オリジナルの映像を楽しむのに適したモード

重要
- [ワイド] ボタンは、アナログ放送の場合「Prius Navistation4 」が [全画面表示切替時に、解像度を 1024 × 768 にする] の設定時に動作します。
- [ワイド] ボタンは、1024 × 768、800 × 600 の解像度の場合「Prius Navistation4 」以外のパソコン画面でも動作しますが、1360 × 768 の解像度ではノーマルに固定され、切り替わりません。

音量を調整する

Windows やパソコン用リモコン、キーボードのキーを使うと、音量を調整できます。
音量を調節するには、次の方法があります。

- Windows で調整する
- パソコン用リモコンを使って調整する
- 通知領域に［音量］アイコンを表示して調整する
- キーボードのキーを使って調整する

ヒント ● 本体のスピーカの調整は、前面の音量調節ボリュームを使用してください。
外部スピーカーを接続している場合は、外部スピーカーのマニュアルもあわせてご参照ください。

重要 ● 音量を上げすぎると、スピーカーからの音が音割れする場合があります。

Windows で調整する

Windows の［ボリュームコントロール］や［マスタ音量］を使うと、CD プレーヤーの音量や録音レベルも調整できます。

1 ［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリック

［コントロール パネル］が開きます。

2 ［サウンドとオーディオデバイス］アイコンをダブルクリック

［サウンドとオーディオデバイス］の［音量］タブが開きます。

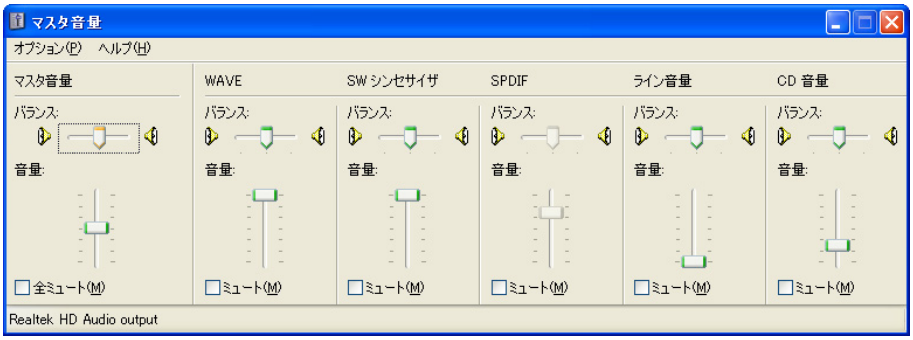
ヒント ● ［コントロール パネル］に［サウンドとオーディオデバイス］アイコンが表示されていないときは、［クラシック表示に切り替える］をクリックすると表示されます。

3 ［デバイスの音量］の［詳細設定］ボタンをクリック

［ボリュームコントロール］または［マスタ音量］が表示されます。

ヒント ● 通知領域のスピーカーのアイコンをダブルクリックしても表示されます。

4 音量やバランスを調整したい箇所のスライドバーをドラッグ



ヒント

- 項目の意味は、次のとおりです。(モデルによって表示される画面は異なります。)

ボリュームコントロール (または マスタ音量)	：	全体的な音量を調整
WAVE	：	WAV ファイルなどの音量を調整
SW シンセサイザ	：	SW シンセサイザからの音量を調整
SPDIF	：	[ミュート] のみ設定可能。光デジタル音声出力の音量調節はできません。
ライン音量	：	ラインイン端子から入力された音声の音量を調整
CD 音量	：	使用できません

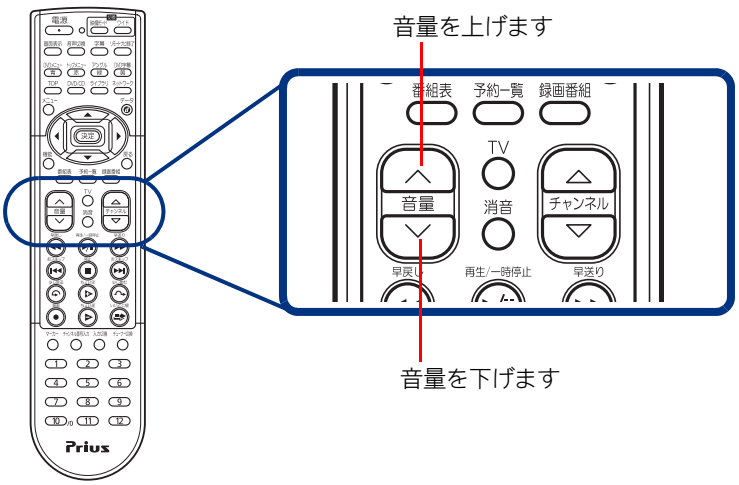
- [全ミュート] または [ミュート] にチェック (☑) が付いていると、音が出ません。

パソコン用リモコンを使って調整する

パソコン用リモコンの音量ボタンを押して、適切な音量に調整できます。

ヒント

- リモコンの音量ボタンは、Windows の [ボリュームコントロール] や [マスタ音量] を調整しています。



通知領域に［音量］アイコンを表示して調整する

［音量］アイコンを画面右下の通知領域に表示し、音量を調整することもできます。

参照 通知領域について→電子マニュアル『パソコン入門』1章の「デスクトップとは」

1 ［スタート］ボタンー［コントロール パネル］をクリック

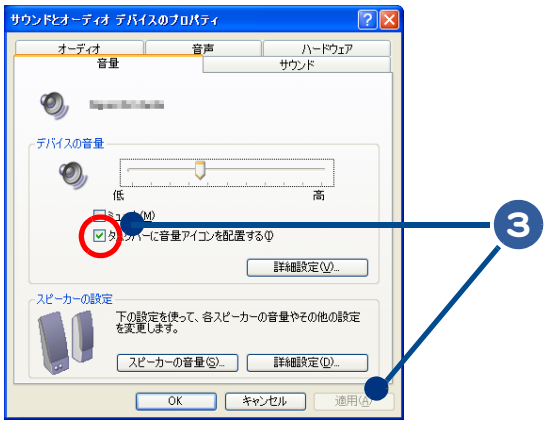
［コントロール パネル］が開きます。

2 ［サウンドとオーディオデバイス］アイコンをダブルクリック

［サウンドとオーディオデバイスのプロパティ］の［音量］タブが開きます。

ヒント ●［コントロールパネル］に［サウンドとオーディオデバイスのプロパティ］アイコンが表示されていないときは、［クラシック表示に切り替える］をクリックすると表示されます。

3 ［タスクバーに音量アイコンを配置する］にチェックを付け、［適用］ボタンをクリック



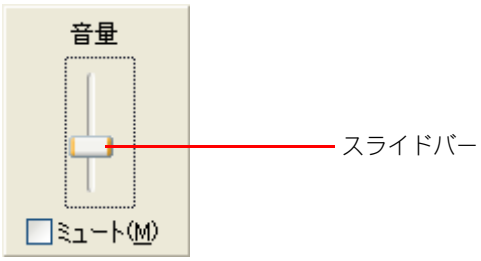
4 ［OK］ボタンをクリック

［音量］アイコンで調整する

1 通知領域の［音量］アイコン をクリック

［音量］を調整するスライドバーが表示されます。

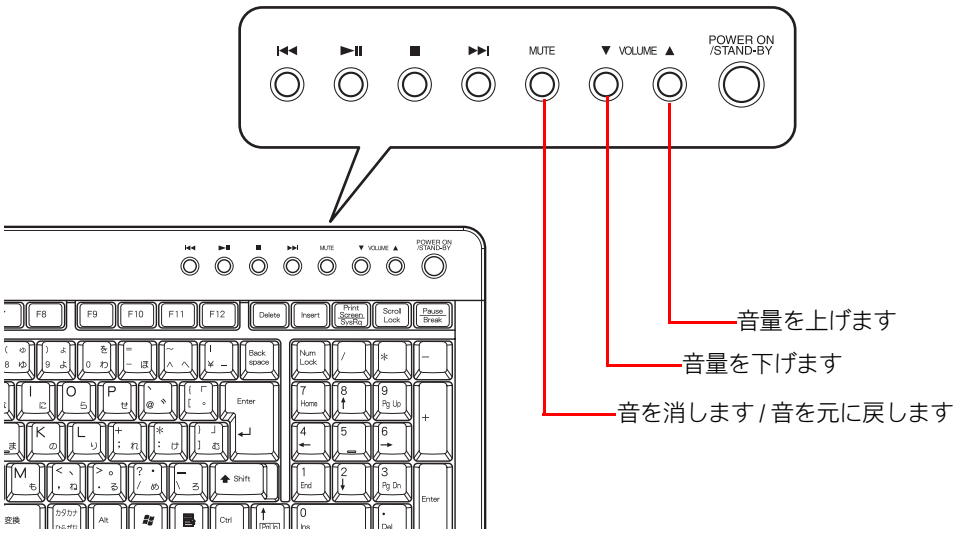
2 スライドバーを上下にドラッグして、音量を調整する



ヒント ● ［ミュート］にチェック（☑）が付いていると、音が出ません。

キーボードのキーを使って調整する

キーボードの［▲］キー、［▼］キーを押しても、音量を調整できます。［MUTE］キーを押すと、音を消したり、もう一度押すと元に戻せます。



ワンタッチキーを設定する

キーボードのワンタッチキーを押すと、設定したアプリケーションが立ち上がります。ここでは、設定の方法を説明します。ご購入時は、次のアプリケーションが立ち上がるように設定されています。必要に応じて変更してください。

標準の設定

［INTERNET］キー ： Internet Explorer
［MAIL］キー ： Microsoft® Office Outlook® 2003
［P1］キー ： CyberSupport（サイバーサポート）
［P2］キー ： Prius で楽しもう！

ヒント
- 再セットアップを行うと、［MAIL］キーは「Outlook Express」に、［P1］キーは「なし」に設定されます。
- Office が添付されないモデルでは、［MAIL］キーは Outlook Express になります。

設定の変更には、次の方法があります。
- 設定の方法
- 表示設定

設定の方法

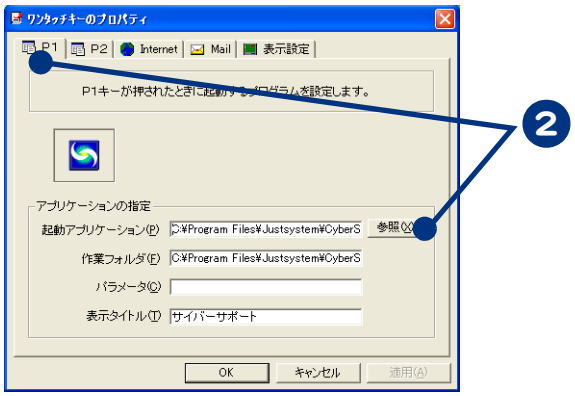
ここでは、［P1］キーにメモ帳を割り付ける場合を例に説明します。

1 通知領域の アイコンをダブルクリックするか、アイコンを右クリックし、メニューから［キーボードの設定］を選択する

［ワンタッチキーのプロパティ］が表示されます。

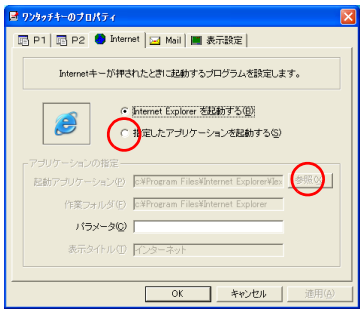
参照→ 通知領域について→電子マニュアル『パソコン入門』１章の「デスクトップとは」

2 ［P1］タブをクリックし、［参照］ボタンをクリック



ヒント

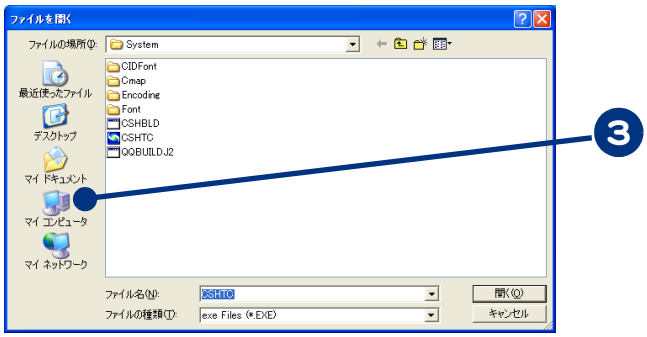
- ［Internet］タブや［Mail］タブの場合は、［指定したアプリケーションを起動する］をクリックして選択してから、［参照］ボタンをクリックします。



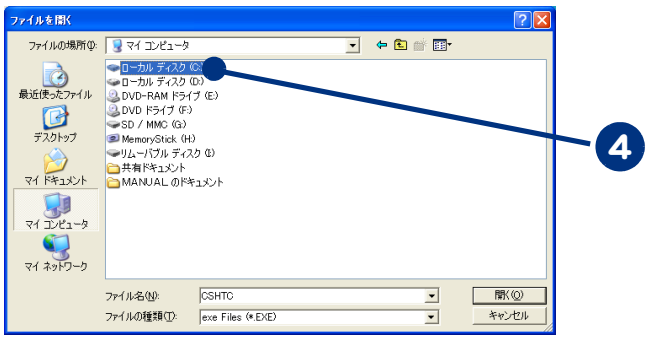
ヒント

- ［INTERNET］キーを標準に戻す場合は、次のようにして手順 6 に進みます。
  ［Internet］タブで［Internet Explorer を起動する］をクリックします。
- 再セットアップのあとなどで［MAIL］キーを標準に設定し直す場合は、次のようにして手順 6 に進みます。
  ［Mail］タブをクリックし、［指定したアプリケーションを起動する］をクリックしてチェックを付け、［参照］ボタンをクリックする。手順 3、4 を行い、［Program Files］－［Microsoft Office］－［Office11］－［Outlook.exe］を選択する。

3 ［マイコンピュータ］をクリック



4 ［ローカルディスク（C:）］をダブルクリック



5 割り付けたいアプリケーションのプログラムを選択する。例えば、メモ帳を割り付ける場合は、［Documents and Settings］－［User］－［スタートメニュー］－［プログラム］－［アクセサリ］の順にダブルクリックし、メモ帳をダブルクリック

［ワンタッチキーのプロパティ］に戻り、［起動アプリケーション］、［作業フォルダ］が設定されます。

ヒント
- ［User］フォルダーの名称は、設定されている環境により、名称が異なります。ログインしているユーザー名を確認し、選択してください

6 必要に応じて、［パラメータ］に、アプリケーション立ち上げ時のパラメーターを入力する。省略してもよい

ヒント
- パラメーターの設定詳細については、各アプリケーションのマニュアルおよびヘルプファイルをご参照ください。

7 ［表示タイトル］にスペース以外の文字を入力する

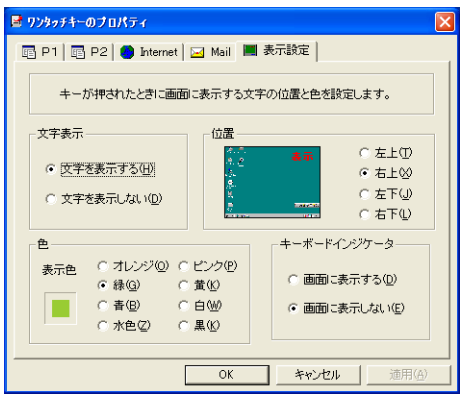
ヒント
- ワンタッチキーが押されたとき、ディスプレイに表示させるタイトルです。通常アプリケーションを選択すると、そのアプリケーション名が自動的に入力されます。

8 ［OK］ボタンをクリック

［P1］キーにアプリケーションが割り付けられます。

表示設定

［ワンタッチキーのプロパティ］の［表示設定］タブをクリックすると、［■］、［▶/❚❚］、［⏮］、［⏭］キー以外のワンタッチキーが押されたときの表示の設定ができます。ディスプレイに表示する文字の位置、色を設定します。キーボードインジケーター「Num Lock」、「Caps Lock」、「Scroll Lock」の画面表示有無の設定もできます。



キーボード/マウスの電池容量の確認

ワイヤレスキーボードは Windows の画面で、ワイヤレスマウスはマウス上面のランプで電池の容量を確認できます。ここでは確認方法を説明します。

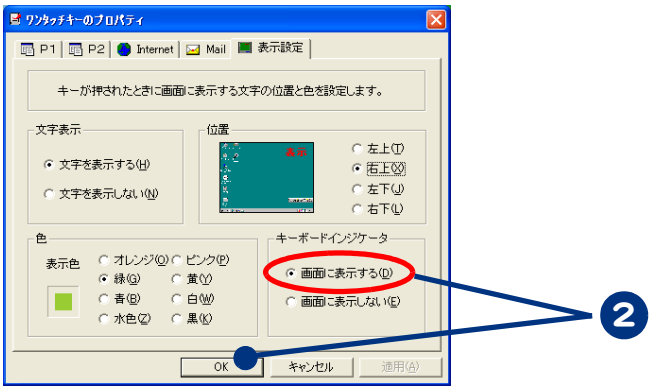
キーボードの電池容量を確認する

1 通知領域の アイコンをダブルクリックするか、アイコンを右クリックし、メニューから［キーボードの設定］を選択する

［ワンタッチキーのプロパティ］が表示されます。

参照 通知領域について→電子マニュアル『パソコン入門』１章の「デスクトップとは」

2 ［表示設定］タブをクリックし、［画面に表示する］を選択し［OK］ボタンをクリック



キーボードインジケーターが画面右下に表示されます。

3 キーボードの操作中に［Bat］の色を確認する

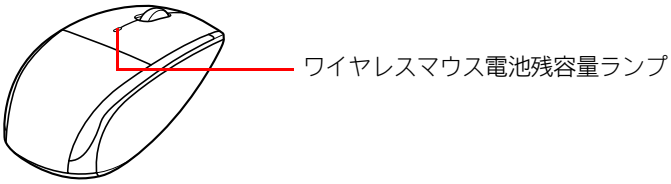
キーボードの電池容量が不足している場合は［Bat］が赤く点灯するので電池を交換します。

電池容量が十分な場合は、点灯しない
電池容量が不足している場合は、赤く点灯する

ヒント
- 電池容量が十分な場合は、点灯しません。
- キーボードインジケーター「Num Lock」「Caps Lock」「Scroll Lock」「BAT」は、出荷状態で画面表示有に設定されています。

マウスの電池容量を確認する

ワイヤレスマウスの電池容量は、「ワイヤレス マウス電池残容量ランプ」で確認できます。



ランプの状態	電池の残容量
緑色点灯	十分な容量があります。
赤色点滅	容量が残り少なくなっています。

ワイヤレス マウス電池残容量ランプが赤く点滅した場合は、電池を交換してください。

ヒント
- ワイヤレスマウス電池残容量ランプは、電池を挿入時に数秒間点灯します。

メール着信通知 /EPG ダウンロード機能を使う

自動的にメール着信の有無を取得し、画面にメッセージを通知する機能があります。テレビモデルの場合、決まった時間に地上波アナログテレビ放送の EPG データをダウンロードする設定があります。ここでは、その設定方法を説明します。

ヒント

- メール着信設定は、設定した時間にメールサーバーにアクセスし、メールがある場合にメール着信設定を表示します。すでにメールソフトでメールを取り込んでいる場合はメッセージを表示しません。
- 本機能は、スタンバイ状態や休止状態でも設定した時間に Windows を立ち上げメールの有無を取得します。取得後 Windows は元の状態に戻ります。
- 「Outlook 2003」、「Outlook Express」のメールアカウント設定で［サーバーにメッセージのコピーを置く］が✔になっていると、新着メール以外もメールサーバーに残っているため、メール着信通知が表示されます。
- サーバーには容量制限があります。多数のメールをサーバーに残しておくと、新しいメールを受信するための容量が不足してしまいます。そのような場合には、メールを受信できなかったり、古いメールから自動的に削除されることがあります。サーバーに残したメールを定期的に削除してください。メールをサーバーから削除する方法については、各プロバイダーにお問い合わせください。

重要

- 使用するメール受信用プロトコルは POP にしてください。ほかのプロトコルは使用できません。
- インターネットへの接続設定が済んでいないと、使用できません。
- アカウントの種類は、［コンピュータの管理者］でお使いください。それ以外のアカウントでは正しく動作しないことがあります。
- パソコンを複数のユーザーで使用している場合は、自動ログオン設定を行う必要があります。
- EPG ダウンロード設定を行うときは、スタンバイから復帰するときのパスワードを無効にしてください。［コントロール パネル ］ー［ 電源管理 ］ー［ 詳細設定 ］タブをクリックし、「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」のチェックを外します。

参照

・インターネットの設定詳細について→電子マニュアル『使おう！インターネット』、「1 章 インターネットに接続する」
・複数ユーザーで使用する→電子マニュアル『パソコン入門』4 章の「一台のパソコンを複数の人で使おう」

メール着信通知機能 /EPG ダウンロードの設定

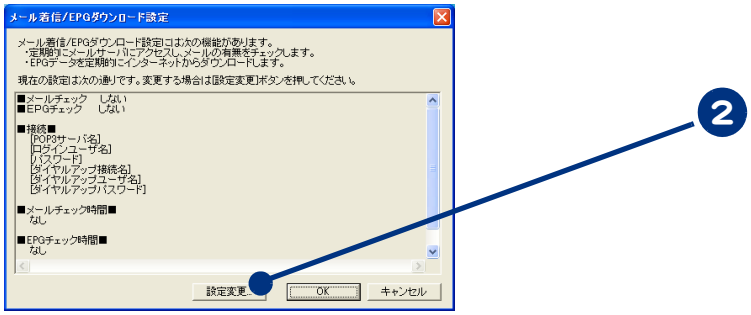
1 デスクトップ左下の［ スタート］ボタンー［ すべてのプログラム］ー［ Prius Navistation4 ］ー［メール着信設定］をクリック

［メール着信 /EPG ダウンロード設定］が立ち上がります。

ヒント

- ［メール着信 /EPG ダウンロード設定］は、わくわくナビからも立ち上げられます。
- ［メール着信 /EPG ダウンロード設定］では、地上デジタル放送の EPG ダウンロード設定はできません。地上デジタル放送対応の電子マニュアル『プリウスナビを楽しもう！』を参照ください。

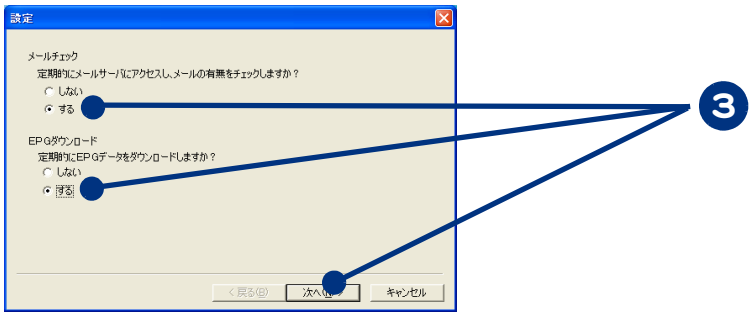
2 [設定変更] ボタンをクリック



3 「メールチェック」と「EPG ダウンロード」の両方の「する」にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリック

ヒント

- 「メールチェック」、「EPG ダウンロード」のどちらか一方のみ設定することもできます。
- どちらか一方の設定内容を変更する場合も、変更しない方も設定し直してください。



4 をクリックし、接続名をクリック

重要

- 接続名がないときは［キャンセル］ボタンをクリックし、このメール着信設定を終了します。インターネットへの接続を設定してください。

参照 インターネット接続の設定方法について→電子マニュアル『使おう！インターネット』、「1 章 インターネットに接続する」

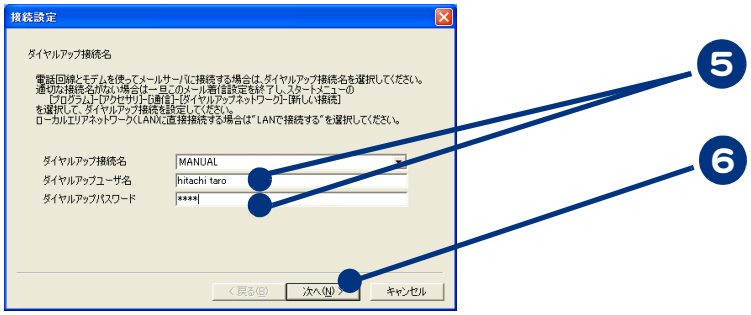
5 [ダイヤルアップユーザ名] 欄にユーザー名、[ダイヤルアップパスワード] 欄にパスワードをそれぞれ入力する

ヒント

- 電話回線と内蔵モデム以外でメールサーバーに接続している場合は、[ダイヤルアップユーザ名]、[ダイヤルアップパスワード] の入力は必要ありません。

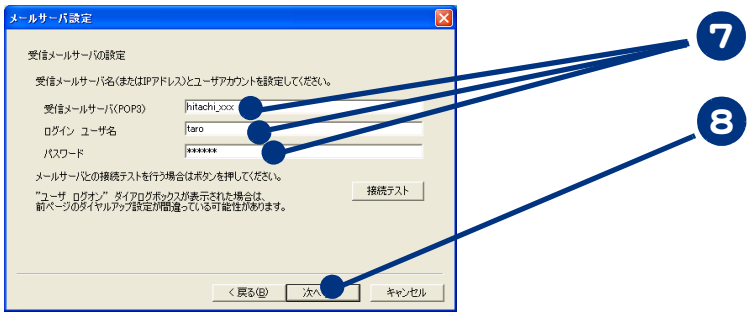
6 [次へ] ボタンをクリック
手順 3 で、「メールチェック」を「しない」に設定した場合、手順 11 に進む

[メールサーバ設定] 画面が表示されます。



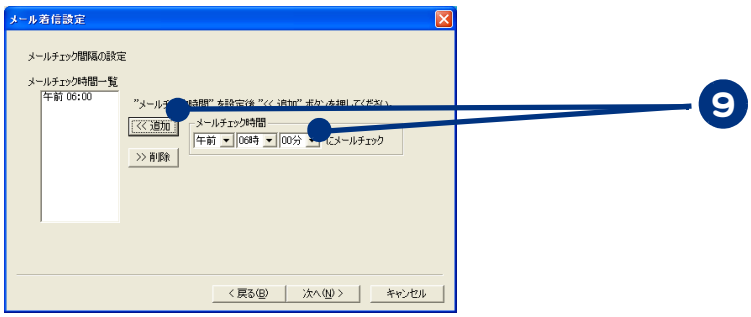
7 [受信メールサーバ（POP3)] 欄にプロバイダーの受信メールサーバー名、[ログイン ユーザ名] 欄にユーザー名、[パスワード] 欄にメール受信用のパスワードをそれぞれ入力する

8 [次へ] ボタンをクリック
画面が切り替わります。



ヒント ● [接続テスト] ボタンをクリックして、接続テストを行うこともできます。

9 をクリックし、メールチェック時間を指定し、[追加] ボタンをクリック

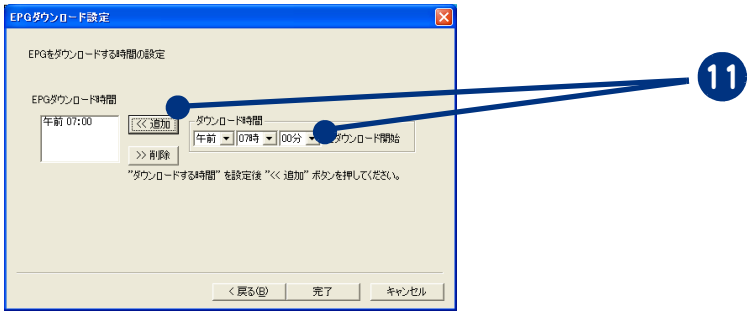


ヒント
- メールチェック時間を複数設定したい場合は、手順 9 を繰り返してください。
- メールチェック時間を削除したい場合は、「メールチェック時間一覧」から不要なメールチェック時間をクリックし、[削除] ボタンをクリックしてください。
- メールチェック時間は、32 個まで設定できます。

10 [次へ] ボタンをクリック。
手順 3 で、「EPG ダウンロード」を「しない」に設定した場合、手順 13 に進む

[EPG ダウンロード設定] 画面が表示されます。

11 をクリックし、EPG ダウンロード時間を指定し、[追加] ボタンをクリック

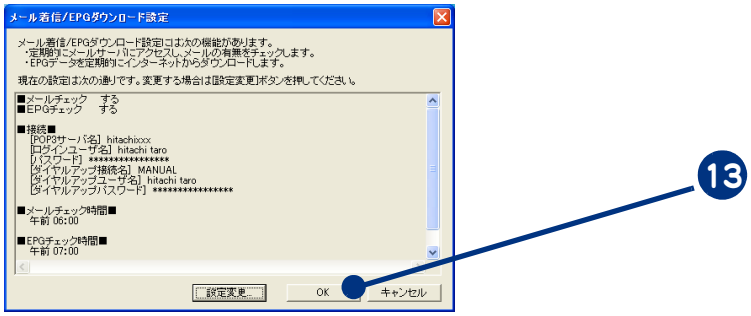


ヒント
- EPG ダウンロード時間は、2 個まで設定できます。

12 [完了] ボタンをクリック

13 [OK] ボタンをクリック

メールチェック時間、EPG ダウンロード時間が設定され、[メール着信 /EPG ダウンロード設定] 画面が閉じます。



2

2章 消費電力を節約する

この章では、パソコンの消費電力を節約する方法について説明します。

>> ・節電機能の種類 (P.30)
>> ・節電する (P.31)
>> ・節電状態から復帰する (P.35)
>> ・節電機能を使わないようにするとき (P.36)

節電機能の種類

ディスプレイやHDD、CPUの働きを一時的に停止させることで、消費電力を節約できます。この機能を節電機能といいます。節約している状態を節電状態と呼びます。
節電機能には、次の種類があります。

状　態	電源ランプ	備　考
HDDの節電	緑色に点灯	HDDモーターが停止している
スタンバイ	オレンジ色に点滅	節電機能が働いている
システムの休止状態	オレンジ色に点灯	パソコンの電源が切れている (ACコンセントから電源は通電している)
クイックレジュームモード＊	緑色に点滅	モニター出力／サウンド出力が停止している

＊：Window Media Center Editionモデルの場合のみ

重要

- アプリケーションによっては使用中に節電機能にならなかったり、節電機能が働くまでに時間がかかることがあります。
- ディスプレイの節電やスタンバイなど、節電機能とDirect3Dスクリーンセーバーを組み合わせて使用した場合、節電状態になったときにパソコンが動作しなくなる場合があります。このような場合にはスクリーンセーバーを別のものに変更するか、節電機能の設定を変更してください。
- 周辺機器を接続したあと、スタンバイに入ると、キーボードやマウスからの復帰ができない場合があります。このような場合、パソコンの電源スイッチを押して復帰させてください。
- デジタルビデオなどのIEEE1394機器を使用中にスタンバイに入ると、節電状態からの復帰後、周辺機器が正常に動作しなくなる場合があります。IEEE1394機器を使用する場合には、スタンバイの設定を「なし」にしてください。

節電する

消費電力を自動で節約したり、特定のボタンを押して節約できます。

節電するには、次の方法があります。
- 自動で節電する
- すぐに節電する

自動で節電する

パソコンをしばらく操作しないでいると、自動で消費電力が節約されます。
どのくらいの時間で節電されるかは、［コントロール パネル］の［電源オプション］で設定します。

標準の状態

・15 分操作しないと ---------- ディスプレイが節電される
・20 分操作しないと ---------- スタンバイ状態 (パソコン全体の節電) になる
・30 分操作しないと ---------- HDD の電源が切れる
・3 時間操作しないと --------- 休止状態 (デスクトップの状態の保存) になる

次の手順で、ディスプレイが省電力ディスプレイに設定されていることを確認し、時間を設定してください。

1 ［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリック

［コントロール パネル］が表示されます。

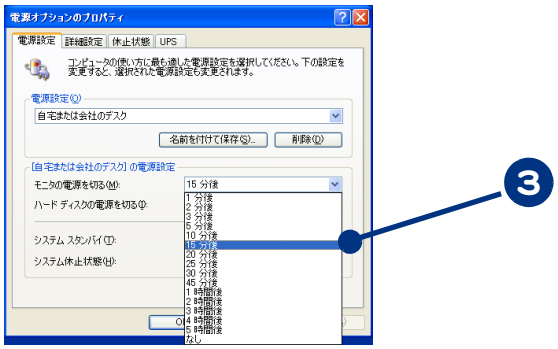
2 ［電源オプション］アイコンをダブルクリック

［電源オプションのプロパティ］が表示されます。

ヒント
- ［コントロール パネル］に［電源オプション］アイコンが表示されていないときは、［クラシック表示に切り替える］をクリックすると表示されます。

3 [電源設定] タブの各項目に、どのくらいパソコンを操作しないでいると節電状態になるかを設定する

・モニタの電源を切る　　：ディスプレイの節電
・ハードディスクの電源を切る　：HDD の節電
・システムスタンバイ　　：パソコン全体の節電（スタンバイ）
・システム休止状態　　：デスクトップの状態の保存



4 [OK] ボタンをクリック

重要
- [システムスタンバイ] を設定しても、時間どおりに節電状態にならないことがあります。
- [システムスタンバイ] と [モニタの電源を切る] を同じ時間に設定しないでください。パソコンが正しく動かないことがあります。

すぐに節電する

パソコンから離れるときなどに、消費電力を節約できます。
すぐに節電するには、次の方法があります。
- [終了オプション] から節電する
- 電源スイッチで節電する

重要
- 音声や動画ファイルの再生中は、ここで説明する方法は行わないでください。節電状態から復帰したとき、正しく音声や動画ファイルを再生できないことがあります。

[終了オプション] から節電する

次のようにしてパソコンを節電状態にできます。

1 [スタート] ボタン－ [終了オプション] をクリック

2 ［スタンバイ］ボタンをクリックまたは、［Shift］キーを押しながら［休止状態］をクリック

スタンバイ状態または、休止状態になります。

電源スイッチで節電する

電源スイッチの設定を変えると、電源スイッチを押したときに、スタンバイにすることができます。この設定は［コントロール パネル］の［電源オプション］で行います。

標準の状態

・電源スイッチを 4 秒未満押したとき　：シャットダウン

ヒント
● 「シャットダウン」は、［終了オプション］から Windows を終了するのと同様に、4 秒未満電源スイッチを押すことで電源を切る機能です。

★スタンバイ / システム休止状態の設定方法

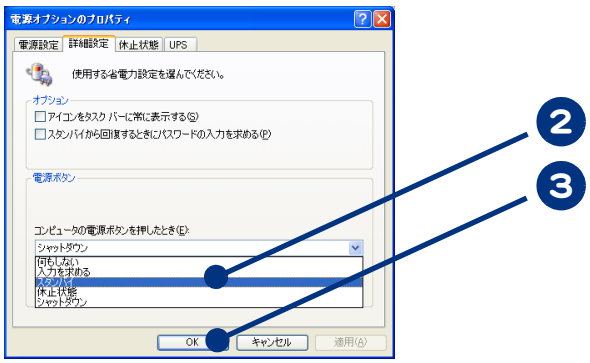
1 ［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリックして、［コントロール パネル］を開き、［電源オプション］アイコンをダブルクリック

［電源オプションのプロパティ］が表示されます。

2 ［詳細設定］タブで、各項目を「スタンバイ」に設定する

・コンピュータの電源ボタンを押したとき（電源スイッチを押したとき）
・コンピュータのスリープボタンを押したとき（電源スイッチを押したとき）

3 ［OK］ボタンをクリック



重要
● スタンバイにするときは、電源ランプがオレンジ色に点滅するまでキーボードのキーを押したり、マウスを動かさないでください。復帰したときに、キーボードやマウスが動作しなくなることがあります。

★クイックレジュームモードの設定方法（Media Center Edition モデルの場合のみ）

1 ［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリックして、［コントロール パネル］画面を開き、［電源オプション］アイコンをダブルクリック

［電源オプションのプロパティ］画面が表示されます。

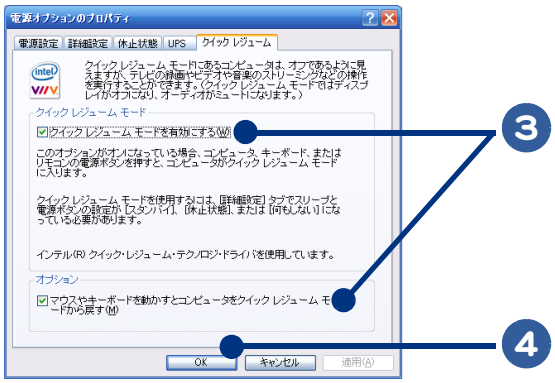
2 ［詳細設定］タブで、各項目を「何もしない」に設定する

・コンピュータの電源ボタンを押したとき（電源スイッチを押したとき）
・コンピュータのスリープボタンを押したとき（電源スイッチを押したとき）

3 ［クイックレジュームモード］タブで、各項目にチェックを入れる

・クイックレジュームモードを有効にする
・マウスやキーボードを動かすとコンピュータをクイックレジュームモードから戻す

4 ［OK］ボタンをクリック



重要
- クイックレジュームモードにするときは、電源ランプが緑色に点滅するまでキーボードのキーを押したり、マウスを動かさないでください。復帰したときに、キーボードやマウスが動作しなくなることがあります。
- 電源スイッチを押してパソコンを終了したり、スタンバイに移行したい場合は、電源スイッチの設定を標準の状態に戻してください。

節電状態から復帰する

節電状態から復帰させるには、次の方法があります。

- ディスプレイの節電状態からの復帰
- HDD の節電状態からの復帰
- スタンバイ、休止状態からの復帰
- クイックレジュームモードからの復帰　(Windows Media Center Edition モデルの場合のみ)

ディスプレイの節電状態からの復帰

- キーボードの［Shift］キーを押す
- マウスを操作する

HDD の節電状態からの復帰

- ファイルを開くなど、HDD にアクセスする操作を行う

スタンバイ、休止状態からの復帰

- キーボードの［POWER］キーを押す
- パソコンの電源スイッチを押す
- パソコン用リモコンの［電源］ボタンを押す (エコ・ポン・パッの設定が無効の場合)
- Media Center Edition 用リモコンの［電源］ボタンを押す (スタンバイからの復帰のみ)

クイックレジュームモードからの復帰 (Windows Media Center Edition モデルの場合のみ)

- キーボードの［Shift］キーを押す
- マウスを操作する
- Media Center Edition 用リモコンの［電源］ボタンを押す

重要

- パソコンの電源スイッチは 4 秒以上押さないでください。電源が強制的に切れます。
- 節電状態から復帰させるときは、20 秒以上時間をおいてください。20 秒未満で復帰させると、キーボードやマウスが正しく動かないことがあります。
- スタンバイ状態中にキー入力を行うと、入力したキーが復帰後に有効になることがあります。
- コマンドプロンプトを開いた状態でスタンバイに移行した場合は正常に復帰しないことがあります。正常に復帰しない場合はマウスを操作してください。
- スタンバイからの復帰操作を行っても、ディスプレイが節電状態のままの場合があります。キーボードの [Shift] キーを押して、ディスプレイの節電状態から復帰してください。
- Windows Media Center Edition モデルで、パソコンをクイックレジュームモードに設定していて、スタンバイや休止状態に移行した場合、キーボードの [POWER] キー、またはパソコンの電源スイッチを押すと復帰できます。工場出荷時に、クイックレジュームモードが設定されています。

節電機能を使わないようにするとき

ここでは、どんなときに使わないようにするかや、その設定方法を説明します。

節電機能を使わないようにするとき

次のときは、スタンバイにならないようにしてください。これらの機能やプログラムでデータを扱っている最中に節電機能が働くと、データが失われることがあります。

- 再セットアップ中
- システムやアプリケーションの立ち上げ中
- ディスク（HDD、FD、CD/DVD など）の読み書き中やフォーマット中
- 通信カード、通信ソフトで節電機能の使用が制限されている場合
- IEEE1394 機器を使用中
- プリンターの印字中
- 音楽または動画の再生中
- reserMail を使用する場合

参照 節電機能を使わない操作について→「節電機能を使わないようにするには」

節電機能を使わないようにするには

次の手順で、節電機能が働かないようにします。

1 ［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリック

［コントロール パネル］が表示されます。

2 ［電源オプション］アイコンをダブルクリック

［電源オプションのプロパティ］が表示されます。

3 ［電源設定］タブの各項目を「なし」に設定する

- ［モニタの電源を切る］
- ［ハードディスクの電源を切る］
- ［システムスタンバイ］
- ［システム休止状態］

4 ［詳細設定］タブの各項目を「シャットダウン」に設定する

- ［コンピュータの電源ボタンを押したとき］
- ［コンピュータのスリープボタンを押したとき］

5 ［OK］ボタンをクリック

3

3章 パソコンを拡張する

この章では、周辺機器の接続方法と使用方法を説明します。

>> ・周辺機器接続時に必要な設定 (P.38)
>> ・USB 機器を接続する (P.39)
>> ・IEEE1394 機器を接続する (P.42)
>> ・LAN を接続する (P.43)
>> ・メモリーカードを使う (P.44)
>> ・ヘッドホン、マイクを接続する (P.47)
>> ・光デジタルオーディオ機器を接続する (P.52)
>> ・メモリーボードを取り付ける (P.53)
>> ・その他の周辺機器を接続する (P.56)

周辺機器接続時に必要な設定

ここでは、周辺機器を接続したときに必要な設定とその参照先をまとめてあります。
周辺機器に付属のマニュアルを参照し、必要に応じて設定してください。

接続した周辺機器	参照先
USB(Universal Serial Bus) 機器	USB 機器付属のマニュアル ・「USB 機器を接続する」
IEEE1394 機器	IEEE1394 機器付属のマニュアル ・「IEEE1394 機器を接続する」
LAN	・「LAN を接続する」
SD メモリーカード	SD メモリーカード付属のマニュアル ・「メモリーカードを使う」
メモリースティック	メモリースティック付属のマニュアル ・「メモリーカードを使う」
xD- ピクチャーカード	xD- ピクチャーカード付属のマニュアル ・「メモリーカードを使う」
マイク	・「ヘッドホン、マイクを接続する」
ステレオ スピーカー	
光デジタルオーディオ機器	光デジタルオーディオ機器付属のマニュアル ・「光デジタルオーディオ機器を接続する」
ヘッドホン	・「ドルビーヘッドホンで聴く」
メモリーボード	・「メモリーボードを取り付ける」

ヒント ● 周辺機器の取り扱いについては、各メーカーにお問い合わせください。

周辺機器と必要なケーブル類

周辺機器を購入しても、ケーブル類が付属していないことがあります。
ここでは、周辺機器と必要なケーブル類についてまとめています。

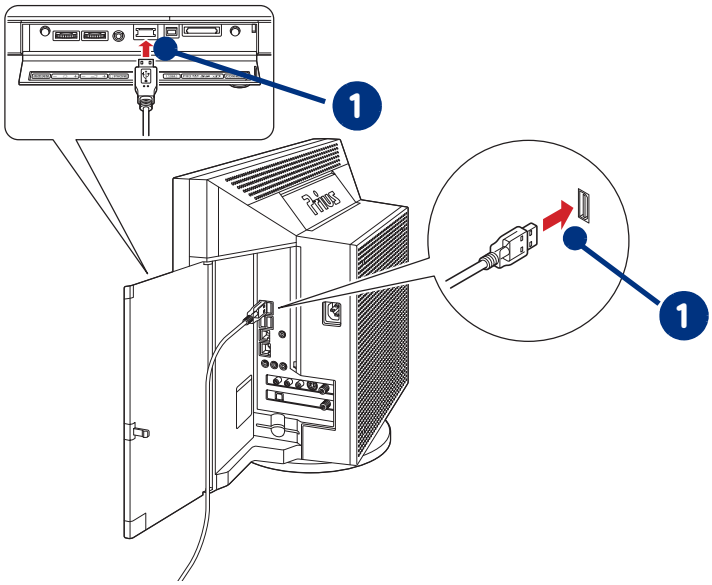
周辺機器	必要なケーブル類
プリンター	プリンターケーブル (USB ケーブル)
スキャナー	スキャナーケーブル (USB ケーブル)
デジタルビデオカメラ (IEEE1394 機器)	IEEE1394 ケーブル (4 ピン)
メモリースティック Duo メモリースティック PRO デュオ	メモリースティック Duo アダプター
miniSD カード	miniSD カードアダプター

重要 ● USB2.0 対応の機器をご使用の場合は、USB2.0 対応の USB ケーブルをご使用ください。

USB 機器を接続する

このパソコンには、FDD やプリンターなどの USB(Universal Serial Bus) 機器を取り付けることができます。ここでは、接続方法の一例を説明します。詳しくは、USB 機器のマニュアルをご参照ください。

1 USB ケーブルを前面または側面の USB コネクターに接続する



ヒント

- 接続しても USB 機器が動作しない場合は、パソコンおよび USB 機器の電源をすべて切ってから接続し直し、USB 機器、パソコンの順で電源を入れ直してください。
- USB コネクターは 5 つあります。どのコネクターに接続しても動作は同じです。

重要

- ケーブルは、正しい向き、正しい角度で差し込んで接続してください。ケーブルがきちんと差し込まれていないと、動作しなかったり、誤動作の原因になります。
- ケーブルの抜き差しをする場合は、プラグ部分を持って、5 秒以上の間隔をあけて行ってください。USB 機器が認識されないことがあります。
- USB2.0 対応の機器をご使用の場合は、USB2.0 対応の USB ケーブルをご使用ください。
- USB 機器によっては、「ハードウェアの安全な取り外し」を行わないと安全に取り外せないことがあります。
- USB ポートの電源供給能力は、1 ポートあたり最大 500mA です。500mA を超える USB 機器は使用できません。接続しないでください。
- 地上デジタル放送対応モデルの場合は、著作権保護機能のため USB-VGA 機器と「Prius Navistation4 」の同時使用はできません。

参照 「ハードウェアの安全な取り外し」について→「メモリーカードを使う」の「取り外し手順」

USB プリンターを使用する方法

USB プリンターを使用するには、ドライバーのインストールが必要です。
プリンタードライバーのインストールについては、プリンターに付属のマニュアルをご参照ください。

参照 ・プリンタードライバーのインストールについて→電子マニュアル『パソコン入門』4 章の「プリンターを設定しよう」
・プリンターの選択について→「使用するプリンターの選択」

プリンタードライバーの削除方法

パソコンからプリンターを取り外し、Windows からプリンタードライバーを削除するときは、次のようにします。お使いのプリンターにドライバーを削除（アンインストール）するユーティリティーがある場合は、そちらをお使いください。
次の説明は一般的な削除方法です。

1 ［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリック

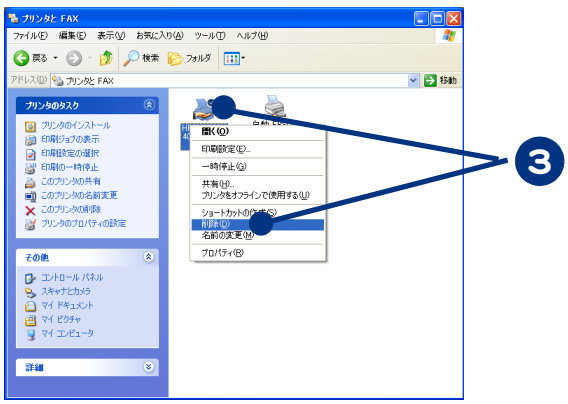
［コントロール パネル］が表示されます。

2 ［プリンタと FAX］アイコンをダブルクリック

［プリンタと FAX］が表示されます。

ヒント ●［コントロール パネル］に［プリンタと FAX］アイコンが表示されていないときは、［クラシック表示に切り替える］をクリックすると表示されます。

3 削除するプリンターのアイコンを右クリックし、［削除］をクリック



4 メッセージが表示されたら、［はい］ボタン（または［OK］ボタン）を何度かクリック

ヒント ●削除したプリンターが通常使うプリンターに設定されていたときは、通常使うプリンターを変更するメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。

使用するプリンターの選択

通常使うプリンターを設定する方法と、一時的に別のプリンターに切り替えて印刷する方法を説明します。

［通常使うプリンター］を設定する

1 ［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリック

［コントロール パネル］が表示されます。

2 ［プリンタと FAX］アイコンをダブルクリック

［プリンタと FAX］が表示されます。

ヒント
- ［コントロール パネル］に［プリンタと FAX］アイコンが表示されていないときは、［クラシック表示に切り替える］をクリックすると表示されます。

3 通常使うプリンターのアイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリック

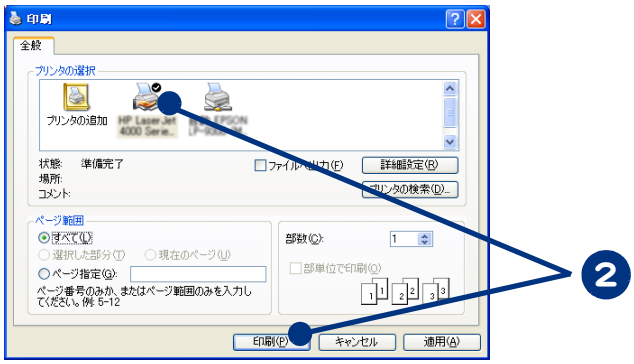
以降、標準で印刷するプリンターは設定したプリンターになります。

使用するプリンターを一時的に切り替える

1 印刷を行うアプリケーションの［ファイル］メニュー－［印刷］をクリック

［印刷］が表示されます。

2 ［プリンタの選択］から、一時的に使用するプリンターを選び、［印刷］ボタンをクリック



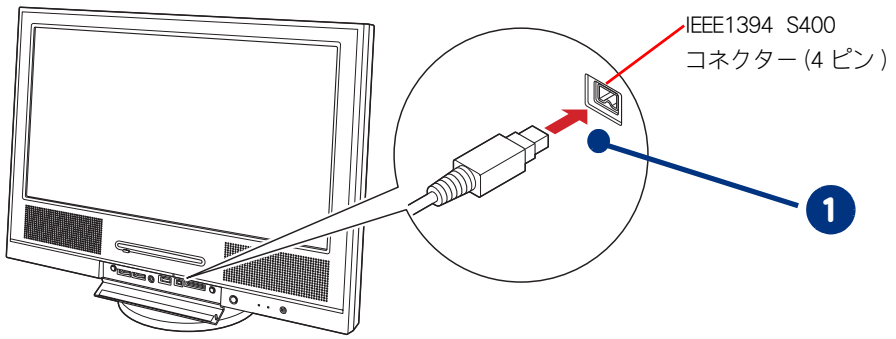
ヒント
- 画面は一例です。

IEEE1394 機器を接続する

このパソコンには、デジタルビデオカメラなどの IEEE1394 機器を取り付けることができます。ここでは、接続方法の一例を説明します。詳しくは、IEEE1394 機器のマニュアルをご参照ください。

1 IEEE1394 ケーブル（市販品）を前面の IEEE1394 S400 コネクター（4 ピン）に接続する

ヒント
- コネクターは 4 ピンタイプです。



重要
- ケーブルは、正しい向き、正しい角度で差し込んで接続してください。ケーブルがきちんと差し込まれていないと、動作しなかったり、誤動作の原因になります。
- ケーブルの抜き差しは、プラグ部分を持って行ってください。
- IEEE1394 機器によっては、電源を入れたまま抜き差しができない機器があります。

参照 詳細について→ IEEE1394 機器付属のマニュアル

2 IEEE1394 ケーブルのもう一方のコネクターを、デジタルビデオカメラなどの IEEE1394 コネクターに接続する

ヒント
- 接続しても IEEE1394 機器が動作しない場合は、パソコンおよび IEEE1394 機器の電源をすべて切ってから接続し直し、IEEE1394 機器、パソコンの順で電源を入れ直してください。

重要
- IEEE1394 機器によっては「ハードウェアの安全な取り外し」を行わないと、安全に取り外せないことがあります。

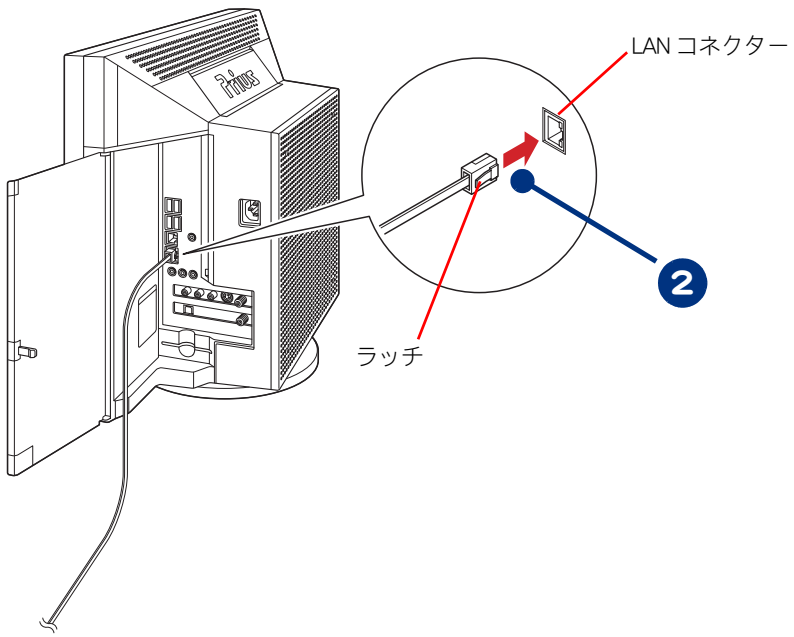
参照 「ハードウェアの安全な取り外し」について→「メモリーカードを使う」の「取り外し手順」

LAN を接続する

LAN ケーブルを接続して、LAN 通信を行うことができます。LAN ケーブルの接続方法を説明します。

1 パソコンの電源を切り、周辺機器が接続されている場合は、周辺機器の電源を切る

2 LAN ケーブル（市販品）を、パソコン側面の LAN コネクターに「カチッ」と音がするまで差し込む



ヒント
- このあと、ソフトウェアの設定などが必要です。

参照 LAN でインターネットに接続する一般的な設定→電子マニュアル『使おう！インターネット』1 章の「LAN でインターネットに接続する」

重要
- ケーブルは、正しい向き、正しい角度で差し込んで接続してください。ケーブルがきちんと差し込まれていないと、動作しなかったり、誤動作の原因になります。
- ケーブルには脱落防止のラッチが付いています。ケーブルを抜く場合は、ラッチを押さえながら行ってください。ラッチを押さえずに無理に引き抜くと、LAN ケーブルの一部が断線したり、LAN コネクターを破損するなどのおそれがあります。
- LAN 設定などの訪問サポートをご用意しております。有償サービスについては安心コールセンターにお問い合わせください。

参照 お問い合わせ先→紙マニュアル『必ずお読みください』1 章の「困ったときのお問い合わせ先」

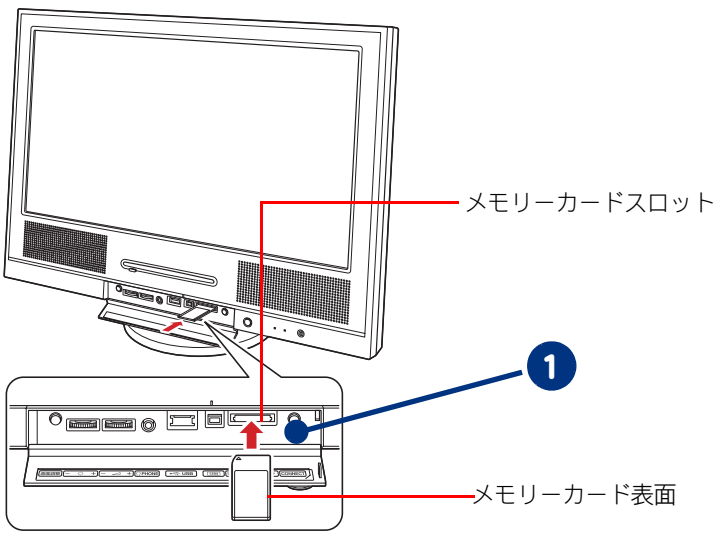
メモリーカードを使う

このパソコンには、メモリーカードスロットが 1 つ用意されています。SD メモリーカードやメモリースティック、xD-ピクチャーカード（以下、メモリーカード）を取り付けることができます。メモリーカードを取り付けるときは、あらかじめ付属のマニュアルを読み、取り付け方法を理解した上で取り付けてください。

・取り付け手順
・取り外し手順

取り付け手順

1 メモリーカードの向きを確認して、メモリーカードスロットにメモリーカードを奥まで差し込む



重要

- メモリーカードが正しく取り付けられたかご確認ください。確認方法については、メモリーカードに付属のマニュアルをご参照ください。
- マルチメディアカード (MMC) は使用できません。
- SD メモリーカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカードの同時使用はできません。
- 本機では、2GB までのメモリースティックで動作確認を行っています。ただし、すべてのメモリースティックでの動作を保証するものではありません。
- メモリースティックのマジックゲートには対応しておりません。マジックゲートは、ソニーが開発した著作権を保護する技術の総称です。
- メモリースティック Duo およびメモリースティック PRO デュオ、miniSD を使うには、市販のアダプターが必要です。
- 本機では、16MB ～ 1GB の xD-ピクチャーカードで動作確認を行っています。ただし、すべての xD-ピクチャーカードでの動作を保証するものではありません。
- xD-ピクチャーカードは、Type M まで動作します。

ヒント

- メモリーカードが正常に認識しない場合は、一度取り出し、パソコンを立ち上げ直してから、入れ直してください。

参照 メモリーカードの取り外し手順→「取り外し手順」

取り外し手順

USB 機器や IEEE1394 機器、メモリーカードなどは、次の手順で「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。ここでは、SD メモリーカードの取り外し手順を例に説明します。

重要 ● 次の手順で取り出さないと、メモリーカードやパソコンの情報が壊れることがあります。

1 メモリーカードにアクセスを行ったアプリケーションを終了させるか、ファイルコピー時に表示されるプログレスバーなどでアクセスが完了したことを確認する

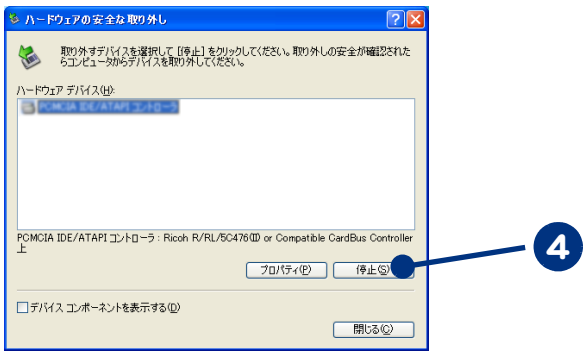
2 SD メモリーカードの場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行う

3 Windows の通知領域の アイコンを右クリックし、［ハードウェアの安全な取り外し］をクリック

［ハードウェアの安全な取り外し］が表示されます。

4 ［停止］ボタンをクリック

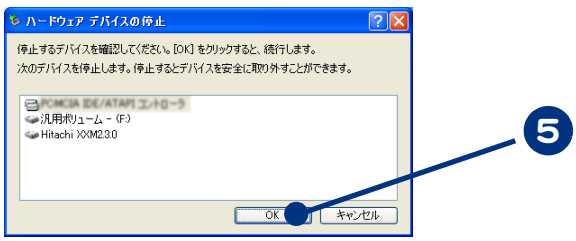
［ハードウェアデバイスの停止］が表示されます。



参照 通知領域について→電子マニュアル『パソコン入門』1 章の「ディスクトップとは」

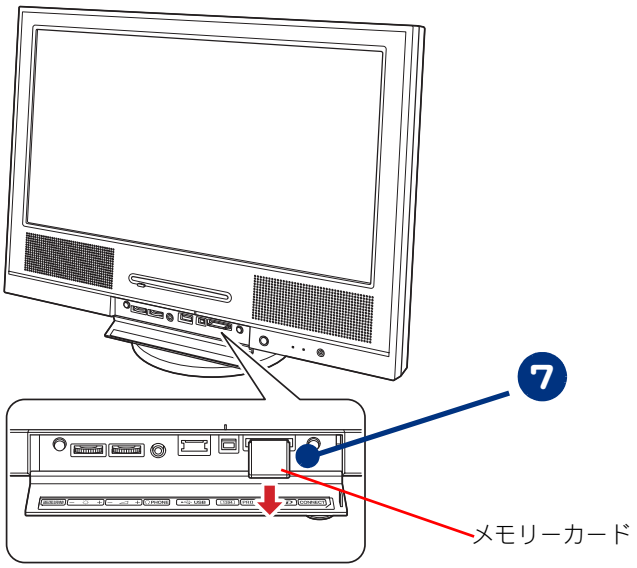
5 SD メモリーカードをクリックして選択し、［OK］ボタンをクリック

「～は安全に取り外すことができます。」と表示されます。



6 ［閉じる］ボタンをクリック

7 メモリーカードを押し、手前に少し出てきたら表面の溝の部分を軽く持ち、手前に引き抜く



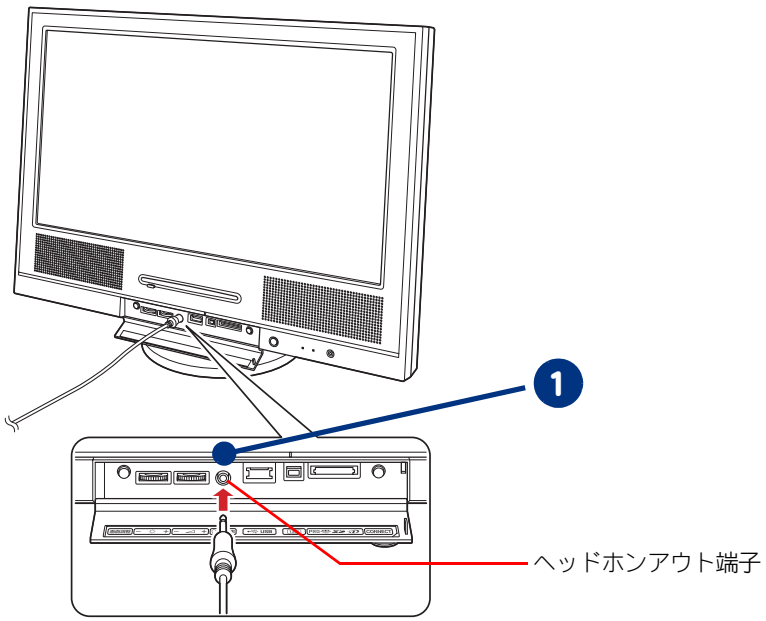
ヘッドホン、マイクを接続する

マイクを使って自分の声など外部の音声を録音し、パソコンに音声データとして保存することができます。ヘッドホンで、音声データを再生したり、ゲームソフトのBGMなども楽しめます。さらにお手持ちのヘッドホンを接続し、ドルビーヘッドホンの設定を行うと、映画館で聴いているような音声を楽しむこともできます。

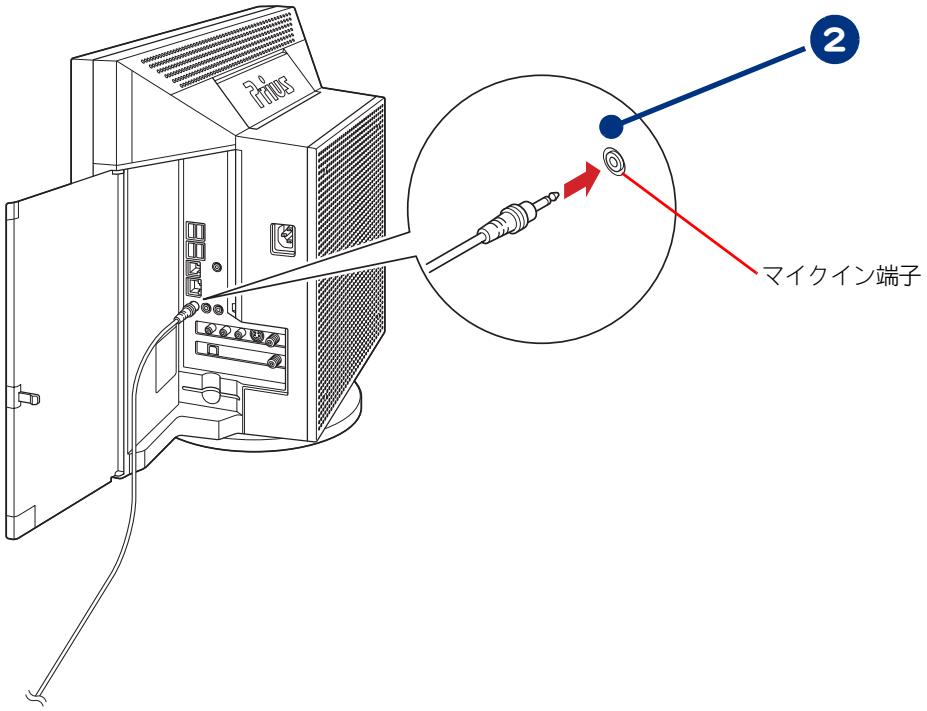
・接続方法
・マイクを使って録音する
・ドルビーヘッドホンで聴く

接続方法

1 パソコン前面のヘッドホンアウト端子にヘッドホンを接続する



② パソコン側面のマイクイン端子にマイクを接続する



ヒント ● DOS/V 用として市販されているマイクをお使いください。

⚠注意 ・ヘッドホンやイヤホン使用時は、適度な音量でご使用ください。音量が大きすぎると難聴になるおそれがあります。

マイクを使って録音する

マイクを使って自分の声などを録音し、パソコンに音声データとして保存することができます。

参照→ 録音レベルの調整→「音量を調整する」

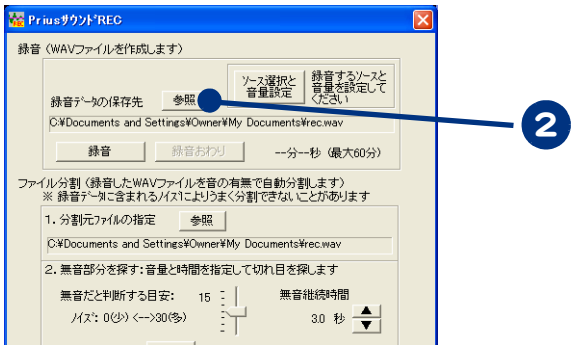
ここではPrius サウンド REC を使って録音する方法を説明します。

1 [スタート] ボタン－ [すべてのプログラム] － [Prius ツール] － [Prius サウンド REC] の順にクリック

[Prius サウンド REC] が表示されます。

2 [参照] ボタンをクリック

[wav ファイルの選択] 画面が表示されます。



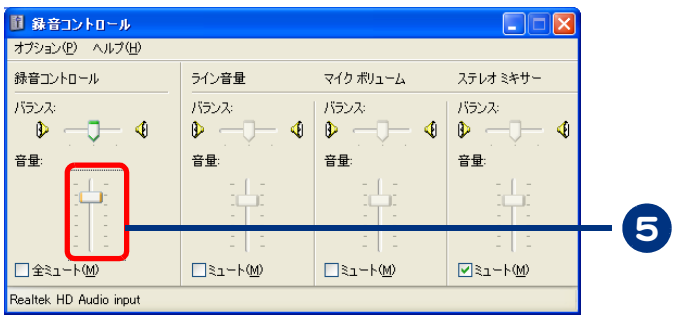
3 録音する wav ファイルを保存するフォルダーを指定し、ファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリック

[Prius サウンド REC] 画面に戻り、[参照] ボタンの下に入力したファイル名が表示されます。

4 [ソース選択と音量設定] ボタンをクリック

[録音コントロール] 画面が表示されます。

5 [録音コントロール] のスライドバーをドラッグして音量を調整する

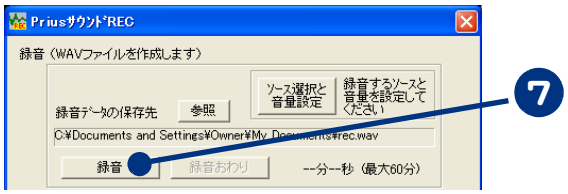


6 [×] ボタンをクリック

画面が閉じます。

7 [録音] ボタンをクリック

[録音の開始] 画面が表示されます。



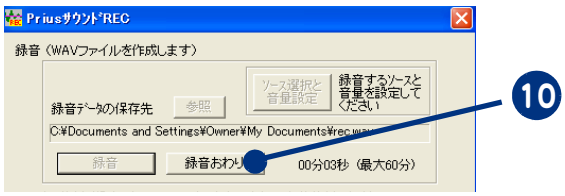
8 [開始] ボタンをクリック

録音が始まります。

9 マイクに向かって話す

10 [録音おわり] ボタンをクリック

録音が終了します。



重要

- スピーカーにマイクを近づけるとハウリングすることがあります。
- マイクの録音レベルを上げすぎるとハウリングすることがあります。適度なレベルに調整してお使いください。
- 録音中は一時的にウインドウの移動や終了などの操作ができません。
- マイクによっては、録音された音声が小さくなるなど、音量が異なる場合があります。

ヒント

- Prius サウンド REC の使い方は、[Prius サウンド REC] 画面の [ヘルプ] ボタンをクリックすると、参照できます。

ドルビーヘッドホンで聴く

ドルビーヘッドホン機能を使用して、ドルビーデジタル 5.1 チャンネルに対応した DVD ビデオを臨場感のある音声で楽しむことができます。
ドルビーヘッドホン機能とは、映画館で聴くような立体的な音声を、ヘッドホンから再生することを可能にする機能のことです。ドルビーヘッドホン機能を使用するには、WinDVD(DVD 再生ソフト) でドルビーヘッドホンの設定を行う必要があります。

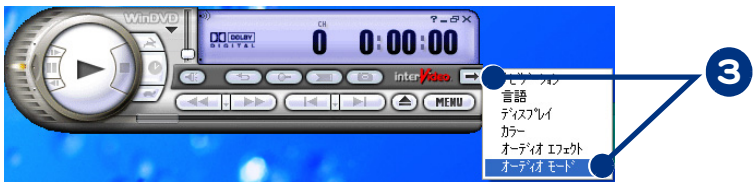
1 ［スタート］ボタン－［すべてのプログラム］－［InterVideo WinDVD 5 for Hitachi］－［InterVideo WinDVD5 for Hitachi］の順にクリック

WinDVD が表示されます。

2 再生する DVD タイトルを、CD/DVD ドライブに入れる

重要 ● DVD を CD/DVD ドライブに入れないと、「オーディオモード」の設定はできません。

3 WinDVD の右端のボタンをクリックし、サブパネルの「オーディオモード」をクリック

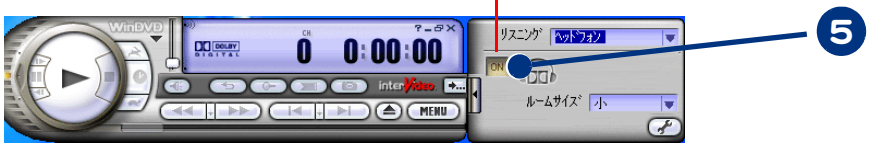


4 ［リスニング］を「ヘッドフォン」に変更する

5 ［ドルビーヘッドホン］ボタンをクリックし、「ON」にする

ドルビーヘッドホン機能が設定されます。

［ドルビーヘッドホン］ボタン



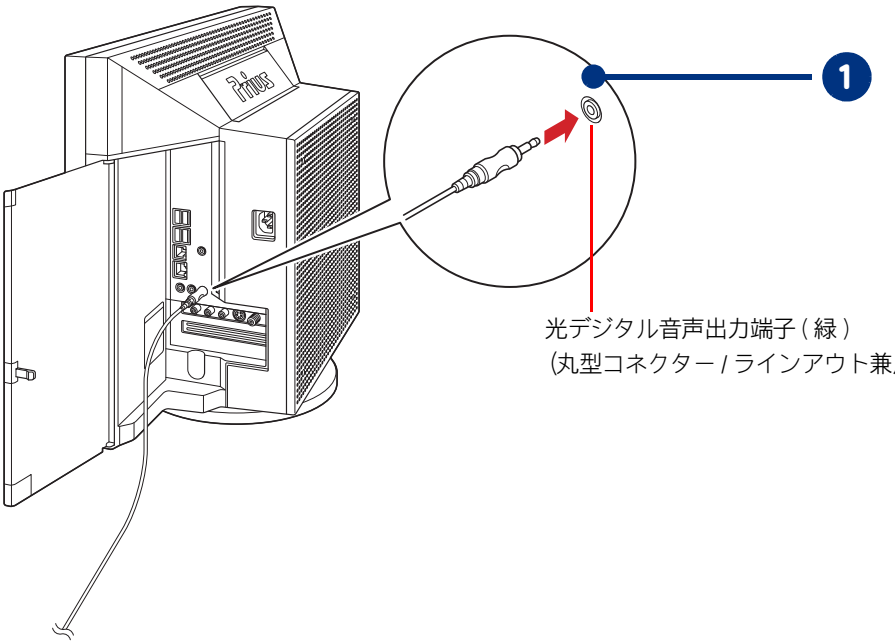
6 WinDVD の右端のボタンをクリックし、サブパネルを閉じる

光デジタルオーディオ機器を接続する

このパソコンには、光デジタル入力が可能な MD レコーダーなどの光デジタルオーディオ機器を接続することができます。さらに、光デジタル入力端子付きのサラウンドアンプなどを接続し、映画館で聴いているような音声で聴くこともできます。
ここでは、接続方法の一例を説明します。詳しくは、光デジタルオーディオ機器のマニュアルをご参照ください。

1 光デジタルケーブル（市販品）を光デジタル音声出力端子に接続する

ヒント
- 光デジタルケーブルのプラグには、角型と丸型があります。パソコン側のコネクターは、丸型です。接続する機器の形状に合わせてケーブルをご購入ください。



ヒント
- 接続しても光デジタルオーディオ機器が動作しない場合は、パソコンおよび光デジタルオーディオ機器の電源をすべて切ってから接続し直し、光デジタルオーディオ機器、パソコンの順で電源を入れ直してください。
- 5.1ch サラウンドをお楽しみいただくには、5.1ch 対応の光デジタルオーディオ機器が必要です。また、DVD 再生ソフトの S/PDIF 出力を ON にしてください。
- DVD の音声を、光デジタル入力で MD レコーダーに録音する場合、S/PDIF 出力を OFF にし、2 スピーカーで録音してください。
- サンプリング周波数 96kHz に対応した、光デジタルオーディオ機器に接続できます。

重要
- 光デジタル音声出力端子に録画可能な光デジタルオーディオ機器を接続しても、コンテンツによっては、著作権保護により録音できない場合があります。
- 光デジタルオーディオケーブルのコネクターが太い場合など、ケーブルのコネクターの形状によっては、コネクターが奥まで差し込めないことがあります。コネクターの直径が 10 ㎜以下のものをご使用ください。

⚠注意

・**光デジタル音声出力端子について**
光デジタル音声出力端子からの信号ケーブル先端部の赤い光を長時間見続けないでください。眼を痛める原因となります。

メモリーボードを取り付ける

メモリーボードを増設すると、メモリー容量を増やすことができます。最大 2048MB まで増設できます。

- 作業時の注意点
- メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた
- 取り付け手順
- 取り外し手順

作業時の注意点

メモリーボードの増設には細心の注意を払ってください。
特に、次の点は必ずお守りください。

⚠警告 ■ メモリーボードカバーの取り外し

メモリーボードカバーを取り外すときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をパソコンから外してから行ってください。パソコンの電源を切っても、一部の回路には通電しているため、思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。

⚠注意 ■ 綿手袋を着用する

パソコンの移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。

注意 ■ 体から静電気を逃がしておく

パソコンやメモリーボードは精密機器です。わずかな静電気も故障の原因になります。あらかじめ金属に触れるなどして、体から静電気を逃がしておいてください。

メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた

メモリーボードは、この表の組み合わせを参考にして増設してください。

メモリー	ソケット	
実装容量 ＊1	1	2
512MB	512MB	—
1024MB	512MB	512MB
	1024MB	—
2048MB	1024MB	1024MB

＊1：実装容量は、[コントロール パネル] ー [システム] アイコンー [システムのプロパティ] の [全般] タブで確認できます。ただし［システムのプロパティ］の［全般］タブに表示される容量は、実装容量からビデオメモリー容量分 (8 ～ 128MB 間で使用状況に合わせて変更) を引いた値です。

ヒント
- AW37W2S は、同一のメモリーボードを 2 枚取り付けていると、Dual-Channel-Mode で動作可能となり、倍容量のメモリーボードを 1 枚で取り付けているときより高速処理ができるようになります。
  AW33S1S、AW35W1S は、Dual-Channel-Mode をサポートしていません。
- ソケット 1、2 の組み合わせが逆でも増設できます。

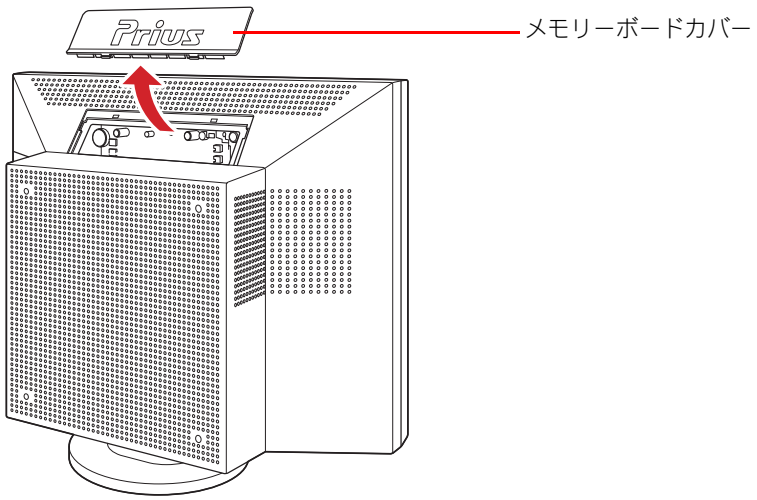
重要
- 仕様の異なるメモリーボードを取り付けないでください。正常に動作しない場合があります。

参照 メモリーボードの仕様について→紙マニュアル『準備しよう！ Prius』4 章の「メモリーボードの仕様」

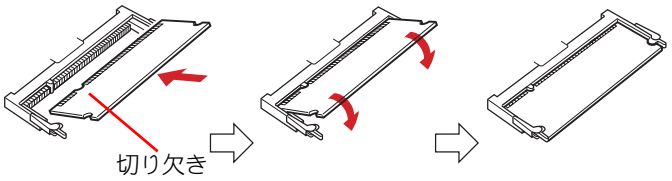
取り付け手順

1 パソコンの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

2 メモリーボードカバーの両端の目印（∴）を押し上げるようにしてツメを外し、メモリーボードカバーを取り外す



3 メモリーボードの切り欠きがソケットに合うようにしっかり取り付ける



重要 ● メモリーボードは確実に取り付けてください。メモリーが正しく増設されません。また、パソコン誤動作の原因となります。なお、誤った取り付け方をしたために発生した破損などについての修理は有償となります。あらかじめご了承ください。

ヒント ● メモリーボードカバーを開けて、右がソケット 1、左がソケット 2 です。

4 メモリーボードカバーを取り付ける

ヒント ● メモリー容量は、［コントロール パネル］－［システム］アイコン－［システムのプロパティ］の［全般］タブで確認できます。

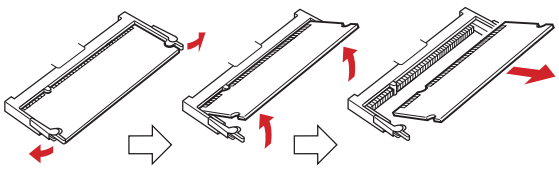
警告 ・メモリーボードカバーについて
作業終了後は、必ずメモリーボードカバーを取り付けてください。万が一の部品破損時、発煙、発火、火災の原因になります。

取り外し手順

1 メモリーボードカバーを取り外す

参照 取り外す方法について→「取り付け手順」

2 ソケットの両端にあるラッチを外側に押し広げ、メモリーボードを取り外す



3 メモリーボードカバーを取り付ける

ヒント ● メモリー容量は、［コントロール パネル］－［システム］アイコン－［システムのプロパティ］の［全般］タブで確認できます。
この容量は、実装容量からビデオメモリー容量分を引いた値です。

警告 ・メモリーボードカバーについて
作業終了後は、必ずメモリーボードカバーを取り付けてください。万が一の部品破損時、発煙、発火、火災の原因になります。

その他の周辺機器を接続する

通常、プラグアンドプレイ機能に対応している周辺機器を接続したときは、自動的にWindows が環境を設定します。プラグアンドプレイ機能に対応していない周辺機器を接続する場合は、［ハードウェアの追加ウィザード］を使って手動で環境を設定します。［ハードウェアの追加ウィザード］を使う前に、周辺機器に付属しているマニュアルをよくお読みください。そのマニュアルに操作手順が記載されている場合は、手順に従ってください。

ヒント
- メモリーの増設などでは、環境を設定する必要はありません。
- 周辺機器の取り付け･取り外しについては、この章や周辺機器に付属のマニュアルをご参照ください。

1 パソコンの電源を切る

2 電源プラグをコンセントから抜き、周辺機器を接続する

3 必要に応じて、周辺機器の電源を入れる

4 パソコンの電源を入れる

ヒント
- USB 機器や IEEE1394 機器など、パソコンの電源が入ったまま接続できる周辺機器もあります。

5 ［コントロール パネル］の［ハードウェアの追加］アイコンをダブルクリック

［ハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。

ヒント
- ［コントロール パネル］に［ハードウェアの追加］アイコンが表示されていないときは、［クラシック表示に切り替える］をクリックすると表示されます。

6 ［次へ］ボタンをクリック

新しい周辺機器の検出が始まります。
しばらくすると、「ハードウェアの検出が完了し、インストールの準備ができました」と表示されます。

ヒント
- メッセージが表示されず、増設した周辺機器が見つからないときは、［次へ］ボタンをクリックし、周辺機器に付属のマニュアルを参照するなどして手動で設定してください。

7 ［完了］ボタンをクリック

検出された周辺機器のドライバーがインストールされます。

4章 セットアップする

この章では、ご購入時にセットアップされていないアプリケーションのインストール方法やドライバーなどのセットアップ方法について説明します。

>> ・アプリケーションのインストール (P.58)
>> ・ドライバー、ユーティリティーのセットアップ (P.68)
>> ・Windows ファイルを追加セットアップする (P.82)
>> ・パーティションの設定 (P.83)

アプリケーションのインストール

ここでは、アプリケーションのインストールについて説明します。ご購入時にインストールされていないアプリケーションをインストールする場合や、すでにあるアプリケーションをインストールし直す場合にお読みください。

- インストールの前に
- アプリケーションを削除する
- アプリケーションの個別インストール
- 各アプリケーションの制限や設定

ヒント
- モデルによっては、付属していないアプリケーションもあります。
- ここで説明する以外の方法で特殊なインストールを行う場合は、各アプリケーションの販売元や開発元にお問い合わせください。

参照 問い合わせ先→紙マニュアル『必ずお読みください』1 章の「困ったときのお問い合わせ先」

インストールの前に

立ち上げ直しはインストールがすべて終了してから

アプリケーションによっては、インストールの終了後に Windows を立ち上げ直すかどうかを選ぶメッセージが表示されることがあります。このときは「再起動しない」や「あとで再起動します」などを選んでください。選んだアプリケーションのインストールがすべて終了すると、立ち上げ直すかどうかのメッセージが表示されますので、そこで「再起動」を指定してください。

ほかのアプリケーションは終了させておく

インストールを始める前に、ほかのアプリケーションはすべて終了してください。

既存のアプリケーションは削除しておく

すでに存在するアプリケーションを再インストールする場合は、アプリケーションを削除してから実行してください。削除せずに再インストールを行うとアイコンが二重登録されることがあります。削除方法はアプリケーションによって異なり、次に説明する 2 つの方法のどちらかになります。「アンインストーラーによる削除」から順に試してみてください。

ヒント
- アンインストール中に、「共有ファイルを削除しますか？」と表示されることがあります。通常は［いいえ］ボタンを選びます。ほかのソフトウェアで使用されていないと分っている場合は［はい］ボタンを選んでください。

参照 削除の方法→「アプリケーションを削除する」

アプリケーションを削除する

アプリケーションを削除するには、次の方法があります。
- アンインストーラーによる削除
- ［プログラムの追加と削除］による削除

アンインストーラーによる削除

1 ［スタート］ボタン－［すべてのプログラム］をクリックし、削除するアプリケーションを選ぶ

2 アンインストーラーをクリック

ヒント
- ［×××のアンインストール］などとあるのがアンインストーラーです。アプリケーションによって名称は異なります。
- アンインストーラーがない場合は、「［プログラムの追加と削除］による削除」を行ってください。

3 画面の指示に従って操作し、アプリケーションを削除する

［プログラムの追加と削除］による削除

1 ［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリックして［コントロール パネル］を開き、［プログラムの追加と削除］アイコンをダブルクリック

［プログラムの追加と削除］が表示されます。

2 ［プログラムの変更と削除］ボタンをクリック

削除できるアプリケーションの一覧が表示されます。

3 削除するアプリケーションを選んで、［変更と削除］ボタンをクリック

4 画面の指示に従い、アプリケーションを削除する

重要
- 「筆ぐるめ Ver.13 for HITACHI」をアンインストールするとき、アンインストール中に［共有ファイルの検出］画面が表示されます。ここで［次回からこのメッセージを表示しない。］チェックボックスをチェックして、［はい］ボタンをクリックしてください。［いいえ］または［キャンセル］ボタンをクリックすると、アンインストールが正常に終了しません。

アプリケーションの個別インストール

アプリケーションを個別インストールするには、次の方法があります。
- HDD イメージからのインストール
- 『アプリケーションディスク』からのインストール
- 付属の CD からのインストール

HDD イメージからのインストール

重要 ● フォルダーやファイルを消去すると、インストールができなくなります。

1 [スタート] ボタン－ [マイ コンピュータ] をクリック

[マイ コンピュータ] が表示されます。

2 [ローカルディスク (c:)] － [Documents and Settings] の順にダブルクリック

[Documents and Settings] が表示されます。

3 [All Users] － [AP_Setup] の順にダブルクリック

[AP_Setup] が表示されます。

4 [InstMenu] をダブルクリック

[アプリケーション インストールメニュー] が表示されます。

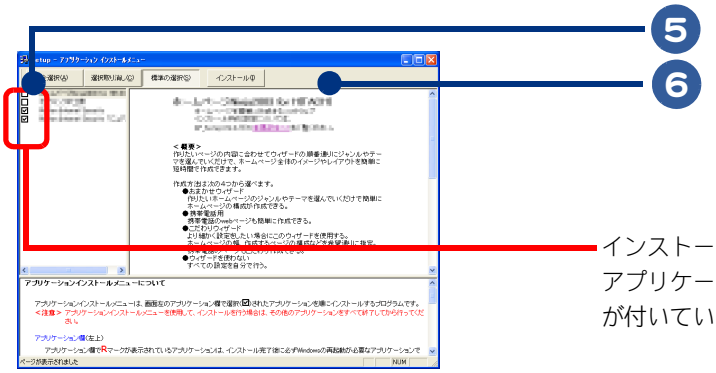
5 必要なアプリケーションにチェックを付け、それ以外のアプリケーションのチェックを消す

重要 ● [スタート] メニューに登録されているプログラムフォルダー名は変更しないでください。
インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

ヒント ● [アプリケーション インストールメニュー] の立ち上げ時は、インストールされていないアプリケーションにチェックが付いています。[全選択] ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付きます。[選択取り消し] ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックがすべて消えます。[標準の選択] ボタンをクリックすると、[アプリケーション インストールメニュー] 立ち上げ時の状態に戻ります。

6 ［インストール］ボタンをクリック

インストールが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示されます。
［キャンセル］ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。



7 ［OK］ボタンをクリック

ほとんどのアプリケーションは、これでインストールが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示されます。

8 「各アプリケーションの制限や設定」を参照してインストールを行う

重要 ● アプリケーションのインストール中に、ほかのアプリケーションのインストール開始の確認画面が表示される場合があります。現在インストールしているアプリケーションが終了してから、インストール開始の確認画面で［OK］、［はい］、［完了］のいずれかのボタンをクリックしてください。

9 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、［継続］ボタン（［実行］ボタン、［確認］ボタン、［OK］ボタンの場合もある）をクリック

インストールが終了すると、「セットアップが終了しました。」などの終了メッセージが表示されます。

10 ［OK］、［はい］、［完了］のいずれかのボタンをクリック

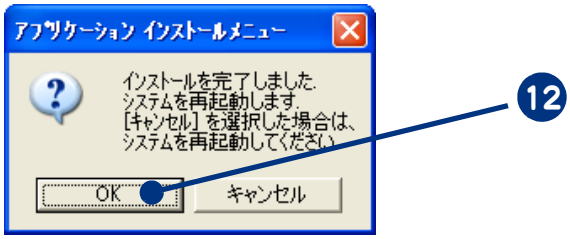
次にインストールするアプリケーションがある場合は、次のアプリケーションのインストールが始まり、インストール開始確認画面が表示されます。

11 チェックしたアプリケーションの数だけ、手順 7 ～ 10 を繰り返す

終了すると、次の画面が表示されます。

12 [OK] ボタンをクリック

Windows が立ち上げ直されます。



重要 ● アプリケーションによっては、インストール中に画面表示が数十秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

『アプリケーションディスク』からのインストール

ヒント ● 『アプリケーションディスク』が (Disc1)、(Disc2) など、複数枚添付されているモデルもあります。複数枚添付されているモデルの場合は、紙マニュアル『準備しよう！ Prius』4 章の「アプリケーション一覧」を参照し、使用するメディアをご確認ください。

1 パソコンを立ち上げ、このパソコンに付属の『アプリケーションディスク』を CD/DVD ドライブに入れる

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] が表示されます。

3 e:¥instmenu と入力し、[OK] ボタンをクリック

＊ e は CD/DVD ドライブ名
[アプリケーション インストールメニュー] が表示されます。

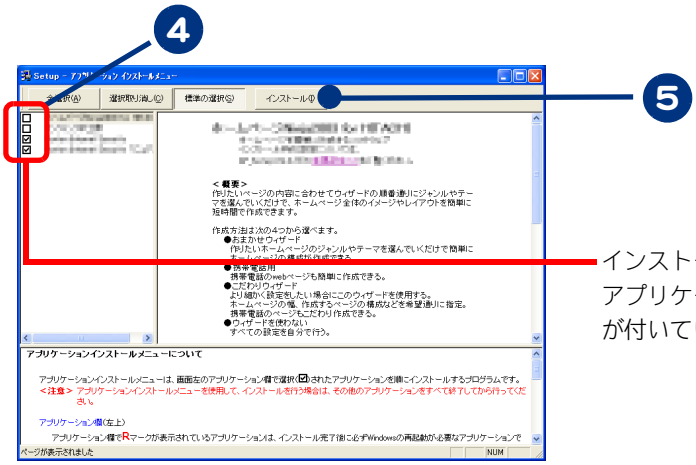
4 必要なアプリケーションにチェックを付け、それ以外のアプリケーションのチェックを消す

重要 ● [スタート] メニューに登録されているプログラムのフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

ヒント ● [アプリケーション インストールメニュー] の立ち上げ時は、インストールされていないアプリケーションにチェックが付いています。[全選択] ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付きます。[選択取り消し] ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックがすべて消えます。[標準の選択] ボタンをクリックすると、[アプリケーション インストールメニュー] 立ち上げ時の状態に戻ります。

5 ［インストール］ボタンをクリック

インストールが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示されます。［キャンセル］ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。



6 ［OK］ボタンをクリック

ほとんどのアプリケーションは、これでインストールが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示されます。

重要

- アプリケーションのインストール中に、ほかのアプリケーションのインストール開始の確認画面が表示される場合があります。現在インストールしているアプリケーションが終了してから、インストール開始の確認画面で［OK］、［はい］、［完了］のいずれかのボタンをクリックしてください。
- オプションの選択など指定項目が多くなっているアプリケーションもありますが、画面の指示に従ってください。特別な操作が必要な指定項目については、「各アプリケーションの制限や設定」で説明しています。

参照 特別な操作が必要な指定項目について→「各アプリケーションの制限や設定」

7 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、［継続］ボタン（［実行］ボタン、［確認］ボタン、［OK］ボタンの場合もある）をクリック

インストールが終了すると、「セットアップが終了しました。」などの終了メッセージが表示されます。

8 ［OK］ボタンをクリック

複数のアプリケーションをインストールする場合は、次のアプリケーションのインストールが始まり、インストール開始確認画面が表示されます。

9 インストールするアプリケーションの数だけ、手順 6 ～ 8 を繰り返す

インストールがすべて終了すると、［アプリケーション インストールメニュー］の終了メッセージが表示されます。

重要

- アプリケーションによっては、インストール中に表示されるメッセージがウインドウの裏に隠れてしまうことがあります。インストールが停止しているように見えたときは、［Alt］＋［Tab］キーでウインドウを切り替えてください。

10 [OK] ボタンをクリックし、『アプリケーションディスク』を CD/DVD ドライブから取り出す

11 パソコンを立ち上げ直す

Windows が立ち上がり、アプリケーションが使用できるようになります。

重要 ● アプリケーションによっては、インストール中に画面表示が数十秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

付属の CD からのインストール

インストール方法については、各ソフトウェアに付属のマニュアルまたは、紙マニュアル『準備しよう！ Prius』の「3 章 再セットアップ」をご参照ください。

ヒント ● 表の「購入時」に○印のあるアプリケーションは、購入時にインストールされています。

アプリケーション一覧	購入時 ○：有り ×：無し	インストール方法
Microsoft® Office Personal Edition 2003 (with Service Pack2)	○	紙マニュアル『準備しよう！ Prius』3 章の「アプリケーションをインストールする」
Microsoft® Office Home Style+ (with Service Pack2)	○	
オンラインサインアップソフト	○	「ドライバー、ユーティリティーのセットアップ」
プラグイン	○	
Adobe Reader	○	
CyberSupport for HITACHI	○	

各アプリケーションの制限や設定

アプリケーションによっては、「アプリケーションの個別インストール」で説明した手順と異なる手順が必要だったり、特別な制限がある場合があります。そのようなアプリケーションをインストールするときは、開始前に該当するアプリケーションの項目をお読みください。

ヒント ● 各アプリケーションの情報については、アプリケーション提供元のホームページをご参照ください。
● 市販のアプリケーションをご利用の場合、Windows XP で動作するか、各メーカーにお問い合わせください。

重要 ● アプリケーションは、コンピュータの管理者権限を持つユーザーで使用してください。制限ユーザーでは使用できないアプリケーションがあります。

Microsoft® Office Personal Edition 2003 (with Service Pack2)

- セットアップの詳細は、各添付ソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。
- セットアップし直した場合はライセンス認証が必要になります。認証に必要な CD キーは、CD-ROM ケースの裏側に記載されています。
- Microsoft® Office Personal Edition 2003 Service Pack 2 は添付 CD からのインストールではインストールされません。別途 Service Pack 2 のインストールが必要になります。Service Pack 2 は HDD イメージからインストールします。Service Pack 2 の適用には、Microsoft® Office Personal Edition 2003、および、Microsoft® Office Home Style+ がインストールされている必要があります。

参照→ HDD イメージからのインストール→「HDD イメージからのインストール」

重要 ● 添付の Microsoft® Office Personal Edition 2003（以下 Office Personal 2003）をセットアップしなおした場合、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を受けない場合、Office Personal 2003 の立ち上げ回数が承諾回数を超えると、ファイルの作成更新など機能が使用できなくなります。ライセンス認証の方法は、Office Personal 2003 の『スタート ガイド』をご参照ください。

Microsoft® Office Home Style+ (with Service Pack2)

・セットアップの詳細は、各添付ソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。
・Microsoft® Office Home Style+ をご利用になるには、Microsoft® Office Personal Edition 2003 がインストールされている必要があります。
・Microsoft® Office 2003 Service Pack 2 は添付 CD からのインストールではインストールされません。別途 Service Pack 2 のインストールが必要になります。Service Pack 2 は HDD イメージからインストールします。Service Pack 2 の適用には、Microsoft® Office Personal Edition 2003、および、Microsoft® Office Home Style+ がインストールされている必要があります。

参照 HDD イメージからのインストール→「HDD イメージからのインストール」

DVD MovieWriter 5 for HITACHI

・［ユーザ情報］画面が表示されたら、［ユーザ名］、［会社名］を入力して［次へ］ボタンをクリックしてください。
・「お住まいの国」で「日本」を選択し、［次へ］ボタンをクリックしてください。
・［コンポーネントの選択］画面では、すべてのチェックボックスを選択して、［次へ］ボタンをクリックしてください。
・［InstallShield ウィザードの完了］画面では、［いいえ、あとでコンピュータを再起動します。］のチェックボックスをクリックしてチェックを入れ、［完了］ボタンをクリックしてください。

DVD-RAM ドライバー

・［InstallShield ウィザードの完了］画面で、「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」のチェックボックスにチェックを入れて、［完了］ボタンをクリックしてください。
・「Readme XP」テキストが表示されたら、テキストを閉じてください。

Easy Media Creator 8.2

・［ユーザー名］、［所属］の入力を求める画面が表示されたら、入力して［次へ］ボタンをクリックしてください。
・［ご注意］画面で、Windows を立ち上げ直すかどうかを選ぶメッセージが表示されたら、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

ATLAS 翻訳パーソナル 2006 LE

・［ユーザ情報］画面で「ユーザ名」、「所属」を入力して、［次へ］ボタンをクリックしてください。

マカフィー®・ウイルススキャン / マカフィー®・パーソナルファイアウォールプラス

・インストール後、ユーザー登録および、アクティブ化処理をしたあと、最新版へのアップデートを行ってください。

ヒント ● ユーザー登録方法は、デスクトップ上の「はじめにお読みください－ McAfee ユーザ登録手順 .pdf」をご参照ください。

i - フィルター

・インストール後、管理者用パスワードの設定を行ってください。
・必要に応じて、「ユーザーの追加」、「適切なフィルター強度の設定」を行ってください。

ヒント ● 工場出荷時のフィルター強度設定は、「大人向け」です。

Prius かんたんシリーズ

・［セットアップウィザード完了］画面で、「後で再起動する」をクリックしてチェックを入れ、［完了］ボタンをクリックしてください。

筆ぐるめ Ver.13 for HITACHI

・［筆ぐるめ Ver.13 インストール］ボタンをクリックしてください。
・ユーザ情報画面で「ユーザ名」、「所属」を入力して、［次へ］ボタンをクリックしてください。
・［セットアップ完了］画面では、「いいえ、筆ぐるめ Ver.13 を起動せずにセットアップを終了します。」にチェックを入れ、［確認］ボタンをクリックしてください。

らくらく家計簿ゆとりちゃん 7

・［らくらく家計簿ゆとりちゃん 7 セットアップ］画面が表示されたら、［セットアップ］ボタンをクリックしてください。
・［ゆとりちゃん 7］フォルダーが表示されたら、フォルダーを閉じてください。

駅すぱあと

・［駅すぱあと全国版］フォルダーが表示されたら、フォルダーを閉じてください。

タイピングドリーム アフロ犬

・［ユーザ情報］画面で［ユーザ名］、［所属］を入力して、［次へ］ボタンをクリックしてください。

AI 囲碁 スタンダード for HITACHI

・［InstallShield ウィザードの完了］画面で、［「お使いになる前に」を表示します。］のチェックボックスをクリックしてチェックを外し、［完了］ボタンをクリックしてください。

AI 将棋 スタンダード for HITACHI

・［InstallShield ウィザードの完了］画面で、［「お使いになる前に」を表示します。］のチェックボックスをクリックしてチェックを外し、［完了］ボタンをクリックしてください。

AI 麻雀 スタンダード for HITACHI

・［InstallShield ウィザードの完了］画面で、［「お使いになる前に」を表示します。］のチェックボックスをクリックしてチェックを外し、［完了］ボタンをクリックしてください。

WinDVD5 for HITACHI

・市販されている「WinDVD」と「WinDVD5 for HITACHI」は、同一パソコン内に両方ともインストールすることはできません。市販の「WinDVD」をインストールする場合は、事前に「WinDVD5 for HITACHI」を必ずアンインストールしてください。
・インストール中に、［[HTML Help 1.31 Update] ※ Command line option syntax error. Type Command /? For Help.］というメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックしてください。このメッセージはアカウント名に全角文字を使用した場合などに表示されます。このメッセージが表示されても正常にインストールされます。

DiXiM® Media Server

・ユーザ情報画面で「ユーザ名」、「会社名」を入力して、［次へ］ボタンをクリックしてください。
・テキストの入力画面で「メディアサーバ名」を入力し、［次へ］をクリックしてください。
・Windows ファイアウォールの設定を変更してもよいか促す画面が表示されたら、［はい］ボタンをクリックしてください。

DiXiM® Media Client

・ユーザ情報画面で「ユーザ名」、「会社名」を入力して、[次へ] ボタンをクリックしてください。
・Windows ファイアウォールの設定を変更してもよいか促す画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックしてください。

MSN Messenger

・[追加機能と設定の選択] 画面で、[MSN ホーム] のチェックボックスをクリックしてチェックを外し、[次へ] ボタンをクリックしてください。

AOL

・［ユーザ情報］画面が表示されたら、[ユーザ名]、[所属] を入力して［次へ］ボタンをクリックしてください。

So-net

・［InstallShieldWizard の完了］画面では、「So-net 簡単スターター V2.3 の起動」のチェックボックスをクリックしてチェックを外し、［完了］ボタンをクリックしてください。

ドライバー、ユーティリティーのセットアップ

ドライバーやユーティリティーは標準でセットアップされています。何らかの理由でドライバーなどが壊れた場合にセットアップし直してください。

ヒント
- セットアップを行うと、ご購入時の設定と異なることがあります。
- ここでは CD/DVD ドライブは、ドライブ e と表記します。

次のドライバーやユーティリティーをセットアップする方法を説明します。
- チップセットドライバー
- 表示ドライバー
- サウンドドライバー
- マルチメディアキーボードドライバー
- モデムドライバー
- LAN ドライバー
- 地上アナログ TV チューナードライバー
- 地上デジタル TV チューナードライバー
- メモリースティックドライバー
- xD- ピクチャーカードドライバー
- オンラインサインアップソフト
- プラグイン
- Adobe Reader
- CyberSupport for HITACHI

重要
- パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- セットアップは、アプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行うと正しく動作しないことがあります。
- ドライバーのセットアップを完了後、『再セットアップディスク (Disc1)』を取り出して、Windows を立ち上げ直してください。ドライバーによっては、自動で立ち上げ直される場合もあります。
- 『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れたままパソコンを立ち上げ直すと、一括インストールを開始する画面が表示されます。

チップセットドライバー

1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる

2 [スタート] ボタン― [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] が表示されます。

3 e:¥drivers¥chipset¥setup と入力し、[OK] ボタンをクリック

＊ e は CD/DVD ドライブ名

4 [次へ] ボタンをクリック

[使用許諾契約書] 画面が表示されます。

5 [はい] ボタンをクリック

[Readme ファイル情報] 画面が表示されます。

6 [次へ] ボタンをクリック

ファイルのコピーが開始され、終了後、[セットアップの完了] 画面が表示されます。

ヒント
- インストール中に「バージョンの競合」が表示された場合は、[いいえ] を選んでください。
- インストール中に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示された場合は、[キャンセル] を選んでください。

7 [はい、コンピュータを今すぐ再起動します。] にチェックが入っていることを確認し、『再セットアップディスク (Disc1)』を取り出して、[完了] ボタンをクリック

Windows が立ち上げ直されます。

表示ドライバー

1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] が表示されます。

3 e:¥drivers¥svga¥setup と入力し、[OK] ボタンをクリック

＊ e は CD/DVD ドライブ名

4 [次へ] ボタンをクリック

[使用許諾契約書] 画面が表示されます。

5 [はい] ボタンをクリック

6 [はい、コンピュータを今すぐ再起動します。] にチェックが入っていることを確認し、『再セットアップディスク (Disc1)』を取り出して、[完了] ボタンをクリック

Windows が立ち上げ直されます。

サウンドドライバー

1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] が表示されます。

3 e:¥drivers¥sound¥setup と入力し、[OK] ボタンをクリック

＊ e は、CD/DVD ドライブ名

4 [次へ] ボタンをクリック

5 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] にチェックが入っていることを確認し『再セットアップディスク (Disc1)』を取り出して、[完了] ボタンをクリック

Windows が立ち上げ直されます。

マルチメディアキーボードドライバー

ヒント ● キーボードのワンタッチキーを使えるようにするドライバーです。

1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] が表示されます。

3 e:¥drivers¥keyboard¥hkbsetup と入力し、[OK] ボタンをクリック

＊ e は、CD/DVD ドライブ名
「USB マルチメディアキーボードドライバーをインストールしますか」とメッセージが表示されます。

4 [OK] ボタンをクリック

しばらくすると「インストールが正常終了しました。」とメッセージが表示されます。

5 [OK] ボタンをクリック

6 **『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブから取り出し、パソコンを立ち上げ直す**

モデムドライバー

1 **Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる**

2 **［スタート］ボタン－［ファイル名を指定して実行］をクリック**

［ファイル名を指定して実行］が表示されます。

3 **e:¥drivers¥modem¥ssetup と入力し、［OK］ボタンをクリック**

＊ e は CD/DVD ドライブ名

4 **［OK］ボタンをクリック**

ドライバーがインストールされます。

5 **インストールが終了したら『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブから取り出し、パソコンを立ち上げ直す**

LAN ドライバー

1 **Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる**

2 **［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリック**

［コントロール パネル］が表示されます。

3 **［コントロール パネル］の［システム］アイコンをダブルクリック**

［システムのプロパティ］が表示されます。

ヒント
- ［コントロール パネル］に［システム］アイコンが表示されていないときは、［クラシック表示に切り替える］をクリックすると表示されます。

4 **［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリック**

［デバイスマネージャ］が表示されます。

5 **AW33S1S/AW35W1S の場合は、[ネットワークアダプタ] ー [Realtek RTL ×××××] をダブルクリック**
AW37W2S の場合は、[ネットワークアダプタ] ー [Intel(R) ××××] をダブルクリック

6 **[ドライバ] タブの [ドライバの更新] ボタンをクリック**

[ハードウェアの更新ウィザードの開始] が表示されます。

7 **[いいえ、今回は接続しません] を選択して［次へ］ボタンをクリック**

[このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします] が表示されます。

8 **［一覧または特定の場所からインストールする］を選択して、［次へ］ボタンをクリック**

［検索とインストールのオプションを選んでください。］が表示されます。

9 **[次の場所で最適のドライバを検索する] を選び、[次の場所を含める] のみを選択し、e:¥drivers¥lan と入力後、［次へ］ボタンをクリック**

＊ e は、CD/DVD ドライブ名
［ハードウェアの更新ウィザードの完了］が表示されます。

10 **インストールが終了したら、［完了］ボタンをクリック**

11 **［閉じる］ボタンをクリック**

12 **『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブから取り出し、パソコンを立ち上げ直す**

ヒント
- LAN ドライバーを自動検出しない場合、［コントロール パネル］ー［システム］アイコンで［デバイスマネージャ］の［その他のデバイス］ー［PCI Ethernet Controller］を削除してください。
- LAN ドライバーを削除すると、ドライバーが使用しているプロトコルも削除されます。TCP/IP プロトコルの場合、IP アドレスなどの設定情報も削除されます。削除する前に、設定内容を書き留めてください。

地上アナログ TV チューナードライバー

1 **Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる**

2 **［スタート］ボタンー［コントロール パネル］をクリック**

［コントロール パネル］が表示されます。

3 [コントロール パネル] の [システム] アイコンをダブルクリック

[システムのプロパティ] が表示されます。

ヒント
- [コントロール パネル] に [システム] アイコンが表示されていないときは、[クラシック表示に切り替える] をクリックすると表示されます。

4 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] ボタンをクリック

[デバイスマネージャ] が表示されます。

5 [その他のデバイス] の [マルチメディア　コントローラ] をダブルクリック

[マルチメディア　コントローラのプロパティ] が表示されます。

ヒント
- 機種によっては [マルチメディア ビデオ コントローラ] の場合もあります。

6 [ドライバーの再インストール] ボタンをクリック

[ハードウェアの更新ウィザードの開始] が表示されます。

7 [いいえ、今回は接続しません] を選択して [次へ] ボタンをクリック

[このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします] が表示されます。

8 [一覧または特定の場所からインストールする] を選択して、[次へ] ボタンをクリック

[検索とインストールのオプションを選んでください。] が表示されます。

9 [次の場所で最適のドライバを検索する] を選んで、[次の場所を含める] のみを選択し、e:¥drivers¥tvtuner と入力後 [次へ] ボタンをクリック

＊ e は、CD/DVD ドライブ名

10 インストールが終了したら、[完了] ボタンをクリック

11 [閉じる] ボタンをクリック

12 [デバイスマネージャ] を閉じ、[OK] ボタンをクリックして [システムのプロパティ] を閉じる

13 『再セットアップディスク (Disc1)』 を CD/DVD ドライブから取り出し、パソコンを立ち上げ直す

地上デジタル TV チューナードライバー

1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる

2 [スタート] ボタン− [コントロール パネル] をクリック

[コントロール パネル] が表示されます。

3 [コントロール パネル] の [システム] アイコンをダブルクリック

[システムのプロパティ] が表示されます。

ヒント
- [コントロール パネル] に [システム] アイコンが表示されていないときは、[クラシック表示に切り替える] をクリックすると表示されます。

4 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] ボタンをクリック

[デバイスマネージャ] が表示されます。

5 [その他のデバイス] の [マルチメディア　ビデオコントローラ] をダブルクリック

[マルチメディア　ビデオコントローラのプロパティ] が表示されます。

6 [ドライバーの再インストール] ボタンをクリック

7 [いいえ、今回は接続しません] を選択して [次へ] ボタンをクリック

[このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします] が表示されます。

8 [一覧または特定の場所からインストールする] を選択して、[次へ] ボタンをクリック

9 [次の場所で最適のドライバを検索する] を選んで、[次の場所を含める] のみをクリックしてチェックを入れ、e:¥drivers¥tvtunerd と入力して [次へ] ボタンをクリック

＊ e は、CD/DVD ドライブ名

10 インストールが終了したら、[完了] ボタンをクリック

11 [閉じる] ボタンをクリック

12 [デバイスマネージャ] を閉じ、[OK] ボタンをクリックして [システムのプロパティ] を閉じる

13 **『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブから取り出し、パソコンを立ち上げ直す**

メモリースティックドライバー

1 **Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる**

2 **［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリック**

［コントロール パネル］が表示されます。

3 **［コントロール パネル］の［システム］アイコンをダブルクリック**

［システムのプロパティ］が表示されます。

ヒント
- ［コントロール パネル］に［システム］アイコンが表示されていないときは、［クラシック表示に切り替える］をクリックすると表示されます。

4 **［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリック**

［デバイスマネージャ］が表示されます。

5 **［その他のデバイス］の［基本システムデバイス］をダブルクリック**

［基本システムデバイスのプロパティ］画面が表示されます。

6 **［ドライバーの再インストール］ボタンをクリック**

［ハードウェアの更新ウィザードの開始］が表示されます。

7 **［いいえ、今回は接続しません］を選択して［次へ］ボタンをクリック**

［このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします］が表示されます。

8 **［一覧または特定の場所からインストールする］を選択して、［次へ］ボタンをクリック**

9 **［次の場所で最適のドライバを検索する］を選んで、［次の場所を含める］のみを選択し、e:¥drivers¥media¥ms と入力後［次へ］ボタンをクリック**

＊ e は、CD/DVD ドライブ名

10 **インストールが終了したら、［完了］ボタンをクリック**

11 **［閉じる］ボタンをクリック**

12 **［デバイスマネージャ］を閉じ、［OK］ボタンをクリックして［システムのプロパティ］を閉じる**

13 **『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブから取り出し、パソコンを立ち上げ直す**

xD- ピクチャーカードドライバー

1 **Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる**

2 **［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリック**

［コントロール パネル］が表示されます。

3 **［コントロール パネル］の［システム］アイコンをダブルクリック**

［システムのプロパティ］が表示されます。

ヒント
- ［コントロール パネル］に［システム］アイコンが表示されていないときは、［クラシック表示に切り替える］をクリックすると表示されます。

4 **［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリック**

［デバイスマネージャ］が表示されます。

5 **［ その他のデバイス ］の［基本システムデバイス］をダブルクリック**

［基本システムデバイスのプロパティ］画面が表示されます。

6 **［ドライバーの再インストール］ボタンをクリック**

［ ハードウェアの更新ウィザードの開始 ］が表示されます。

7 **［ いいえ、今回は接続しません ］を選択して［次へ］ボタンをクリック**

［ このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします ］が表示されます。

8 **［ 一覧または特定の場所からインストールする ］を選択して、［次へ］ボタンをクリック**

9 **［ 次の場所で最適のドライバを検索する ］を選んで、［ 次の場所を含める ］のみを選択し、e:¥drivers¥media¥xd と入力後［次へ］ボタンをクリック**

＊ e は、CD/DVD ドライブ名

10 インストールが終了したら、［完了］ボタンをクリック

11 ［閉じる］ボタンをクリック

12 ［デバイスマネージャ］を閉じ、［OK］ボタンをクリックして［システムのプロパティ］を閉じる

13 『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブから取り出し、パソコンを立ち上げ直す

オンラインサインアップソフト

1 パソコンを立ち上げ、このパソコンに付属の『活用百科』CD を CD/DVD ドライブに入れる

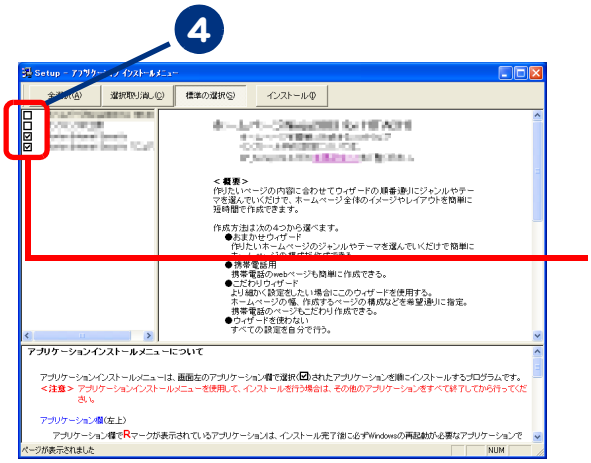
2 ［スタート］ボタン－［ファイル名を指定して実行］をクリック

［ファイル名を指定して実行］が表示されます。

3 e:¥online¥instmenu と入力し、［OK］ボタンをクリック

＊ e は CD/DVD ドライブ名
［アプリケーション インストールメニュー］が表示されます。

4 必要なアプリケーションにチェックを付け、それ以外のアプリケーションのチェックを消す



インストールされていない
アプリケーションにチェック
が付いている

重要 ● ［スタート］メニューに登録されているプログラムのフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

ヒント
- ［アプリケーション インストールメニュー］の立ち上げ時は、インストールされていないアプリケーションにチェックが付いています。［全選択］ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付きます。［選択取り消し］ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックがすべて消えます。［標準の選択］ボタンをクリックすると、［アプリケーション インストールメニュー］立ち上げ時の状態に戻ります。

5 ［インストール］ボタンをクリック

インストールが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示されます。［キャンセル］ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。

6 ［OK］ボタンをクリック

ほとんどのアプリケーションは、これでインストールが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示されます。

重要
- アプリケーションのインストール中に、ほかのアプリケーションのインストール開始の確認画面が表示される場合があります。現在インストールしているアプリケーションが終了してから、インストール開始の確認画面で［OK］、［はい］、［完了］のいずれかのボタンをクリックしてください。
- オプションの選択など指定項目が多くなっているアプリケーションもありますが、画面の指示に従ってください。特別な操作が必要な指定項目については、「各アプリケーションの制限や設定」で説明しています。

参照→ 特別な操作が必要な指定項目について→「各アプリケーションの制限や設定」

7 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、［継続］ボタン（［実行］ボタン、［確認］ボタン、［OK］ボタンの場合もある）をクリック

インストールが終了すると、「インストールが終了しました。」などの終了メッセージが表示されます。

8 ［OK］ボタンをクリック

複数のアプリケーションをインストールする場合は、次のアプリケーションのインストールが始まり、インストール開始確認画面が表示されます。

9 インストールするアプリケーションの数だけ、手順 6 ～ 8 を繰り返す

インストールがすべて終了すると、［アプリケーション インストールメニュー］の終了メッセージが表示されます。

重要
- アプリケーションによっては、インストール中に表示されるメッセージがウインドウの裏に隠れてしまうことがあります。インストールが停止しているように見えたときは、［Alt］＋［Tab］キーでウインドウを切り替えてください。

10 ［OK］ボタンをクリックし、『活用百科』CD を CD/DVD ドライブから取り出す

11 パソコンを立ち上げ直す

Windows が立ち上がり、アプリケーションが使用できるようになります。

重要
- アプリケーションによっては、インストール中に画面表示が数十秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

プラグイン

1 パソコンを立ち上げ、このパソコンに付属の『活用百科』CD を CD/DVD ドライブに入れる

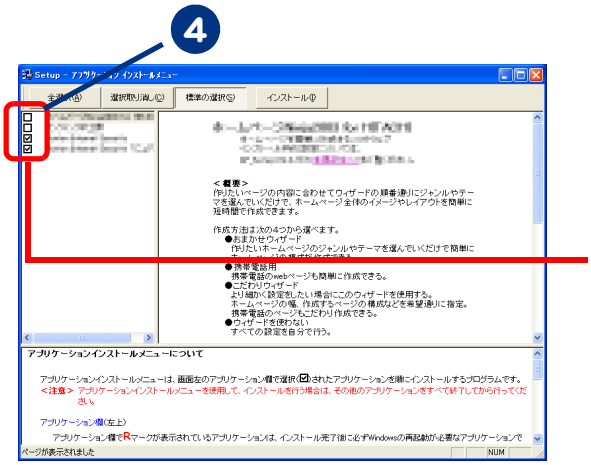
2 [スタート] ボタン－［ファイル名を指定して実行］をクリック

［ファイル名を指定して実行］が表示されます。

3 e:¥online¥instmenu と入力し、［OK］ボタンをクリック

＊ e は CD/DVD ドライブ名
［アプリケーション インストールメニュー］が表示されます。

4 必要なアプリケーションにチェックを付け、それ以外のアプリケーションのチェックを消す



インストールされていない
アプリケーションにチェック
が付いている

重要 ● ［スタート］メニューに登録されているプログラムのフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

ヒント ● ［アプリケーション インストールメニュー］の立ち上げ時は、インストールされていないアプリケーションにチェックが付いています。［全選択］ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付きます。［選択取り消し］ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックがすべて消えます。［標準の選択］ボタンをクリックすると、［アプリケーション インストールメニュー］立ち上げ時の状態に戻ります。

5 ［インストール］ボタンをクリック

インストールが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示されます。
［キャンセル］ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。

6 ［OK］ボタンをクリック

ほとんどのアプリケーションは、これでインストールが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示されます。

重要
- アプリケーションのインストール中に、ほかのアプリケーションのインストール開始の確認画面が表示される場合があります。現在インストールしているアプリケーションが終了してから、インストール開始の確認画面で［OK］、［はい］、［完了］のいずれかのボタンをクリックしてください。
- オプションの選択など指定項目が多くなっているアプリケーションもありますが、画面の指示に従ってください。特別な操作が必要な指定項目については、「各アプリケーションの制限や設定」で説明しています。

参照 特別な操作が必要な指定項目について→「各アプリケーションの制限や設定」

7 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、［継続］ボタン（［実行］ボタン、［確認］ボタン、［OK］ボタンの場合もある）をクリック

インストールが終了すると、「インストールが終了しました。」などの終了メッセージが表示されます。

8 ［OK］ボタンをクリック

複数のアプリケーションをインストールする場合は、次のアプリケーションのインストールが始まり、インストール開始確認画面が表示されます。

9 インストールするアプリケーションの数だけ、手順 6 ～ 8 を繰り返す

インストールがすべて終了すると、［アプリケーション インストールメニュー］の終了メッセージが表示されます。

重要
- アプリケーションによっては、インストール中に表示されるメッセージがウインドウの裏に隠れてしまうことがあります。インストールが停止しているように見えたときは、［Alt］＋［Tab］キーでウインドウを切り替えてください。

10 ［OK］ボタンをクリックし、『活用百科』CD を CD/DVD ドライブから取り出す

11 パソコンを立ち上げ直す

Windows が立ち上がり、アプリケーションが使用できるようになります。

重要
- アプリケーションによっては、インストール中に画面表示が数十秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

Adobe Reader

1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『活用百科』CD を CD/DVD ドライブに入れる

2 ［スタート］ボタン－［ファイル名を指定して実行］をクリック

［ファイル名を指定して実行］が表示されます。

3 e:¥install¥reader¥adberdr70_jpn_full と入力し、［OK］ボタンをクリック

＊ e は CD/DVD ドライブ名
［Adobe Reader 7.0 セットアップ］が表示されます。

4 画面の指示に従ってインストールする

[セットアップウィザードの完了画面] が表示されます。

5 [完了] ボタンをクリック

CyberSupport for HITACHI

重要 ● 電子マニュアルをインストールしていないと、データベースが正しく作成されません。

1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『活用百科』CD を CD/DVD ドライブに入れる

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] が表示されます。

3 e:¥install¥cybersupport¥setup と入力し、[OK] ボタンをクリック

＊ e は CD/DVD ドライブ名
[CyberSupport for HITACHI] が表示されます。

4 [はい] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってインストールする

「CyberSupport を実行するにはマシンの再起動が必要です。」とメッセージが表示されます。

5 [完了] ボタンをクリック

パソコンが立ち上げ直されます。

Windows ファイルを追加セットアップする

Windows 固有のソフトウェアは次の手順でセットアップできます。必要に応じてセットアップしてください。

1. ［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリック
2. ［コントロール パネル］の［プログラムの追加と削除］アイコンをダブルクリックし、［プログラムの追加と削除］を開く
3. ［Windows コンポーネントの追加と削除］ボタンをクリックし、［Windows コンポーネントウィザード］を開く
4. ［コンポーネント］で、必要なソフトウェアにチェックを付ける
5. 1 つの項目に複数のソフトウェアが含まれています。全部をセットアップしない場合は［詳細］ボタンをクリックし、必要のないソフトウェアのチェックを消して［OK］ボタンをクリック
6. ［次へ］ボタンをクリックし、［ 完了 ］ボタンをクリックする。追加するファイルによっては、立ち上げ直すメッセージが表示される。その場合は、立ち上げ直すとセットアップが終了する

パーティションの設定

HDD を複数の領域に分け、それぞれ別のドライブとして使用する場合にはパーティション（使用可能領域）を設定し直します。

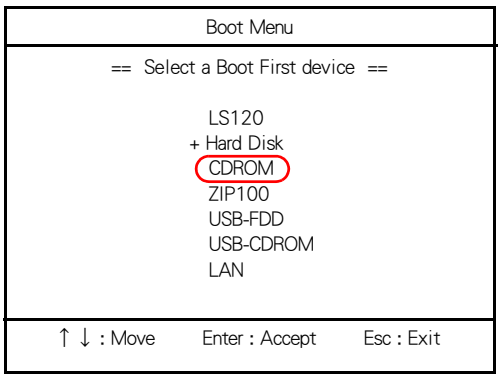
重要
- パーティションの設定は、ある程度パソコンについての知識が必要です。初心者の方や HDD の知識をあまりお持ちでない方には、お勧めできません。特に問題がない場合は、ご購入時のままの領域でお使いください。
- パーティションを設定し直すと、HDD 内のデータはすべて削除されます。あらかじめ CD-R やその他の媒体に必要なファイルのバックアップを取ってください。インターネットやメールなどの設定も控えておいてください。

1 パソコンの電源を入れ、パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press DEL to enter SETUP,F12 to enter BOOT MENU」と表示されたら、[F12] キーを押す

[Boot Menu] 画面が表示されます。

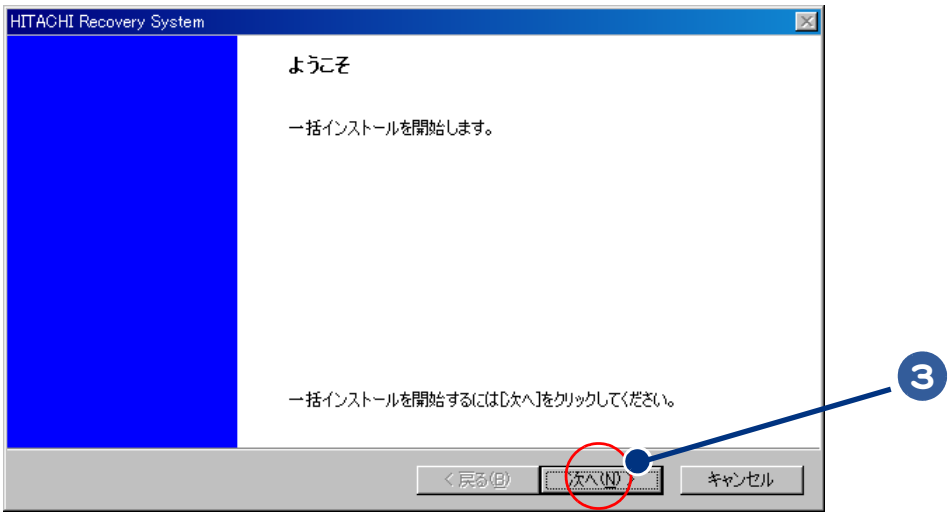
重要
- [Boot Menu] 画面が表示されず Windows が立ち上がってしまった場合は、一度パソコンの電源を切り、パソコンの電源を入れ直してください。
- 電源を入れても「HITACHI」ロゴや「Press DEL to enter SETUP, F12 to enter BOOT MENU」が表示されない場合があります。この場合、BIOS メニューを立ち上げるには、パソコンの電源を入れてから約 10 秒間 [Delete] キーを押し続けてください。しばらくすると、BIOS メニューが表示されます。

2 CD/DVD ドライブに『再セットアップディスク (Disc1)』を入れ、カーソルを [CDROM] に合わせて [Enter] キーを押す



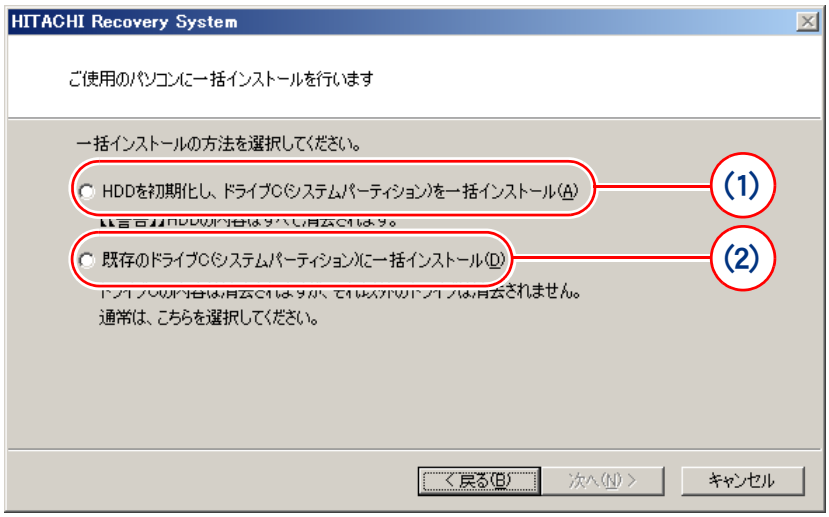
[ようこそ] 画面が表示されます。

3 [次へ] ボタンをクリック



[ご使用のパソコンに一括インストールを行います] 画面が表示されます。

4 (1) : [HDD を初期化し、ドライブ C(システムパーティション) を一括インストール] セットアップ方法を選択し、[次へ] ボタンをクリック



[システムパーティションサイズの設定] 画面が表示されます。

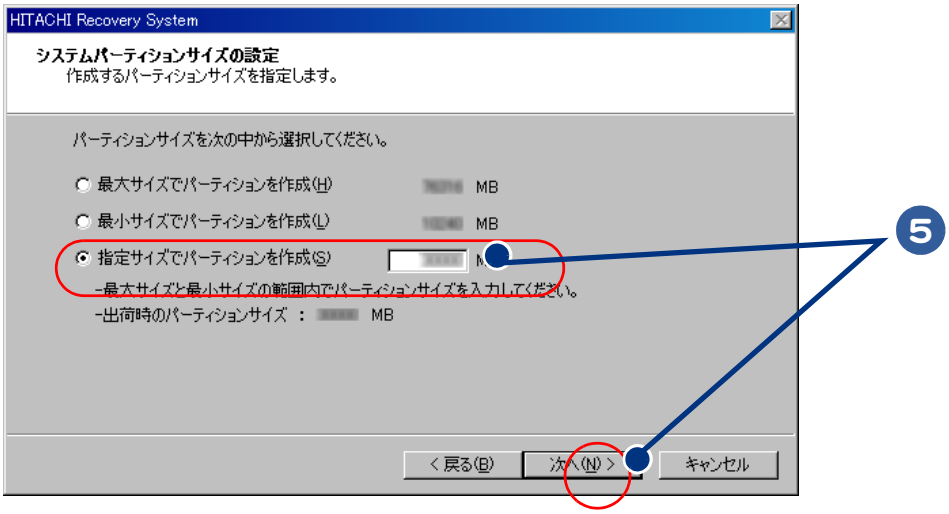
＊ (1) を選ぶと、OS やアプリケーションなどをドライブ C に回復する。ドライブ C 以外のパーティションも初期化される。

＊ (2) を選ぶと、OS やアプリケーションをドライブ C に回復する。ドライブ C 以外のパーティションは初期化されない。ドライブ C のパーティションサイズは変更できない。

重要

- 工場出荷時のドライブ C は、ご購入時に選択された HDD の容量により、次のようにパーティションが設定されています。
  150GB 未満の HDD ： 20GB
  150GB 以上の HDD ： 30GB

5 [指定サイズでパーティションを作成] を選択し、新規に作成するドライブ C のパーティションサイズを入力して、[次へ] ボタンをクリック



＊ [最大サイズでパーティションを作成] を選ぶと、ハードディスクの最大サイズでドライブ C を作成します。
＊ [最小サイズでパーティションを作成] を選ぶと、ハードディスクの最小サイズでドライブ C を作成します。

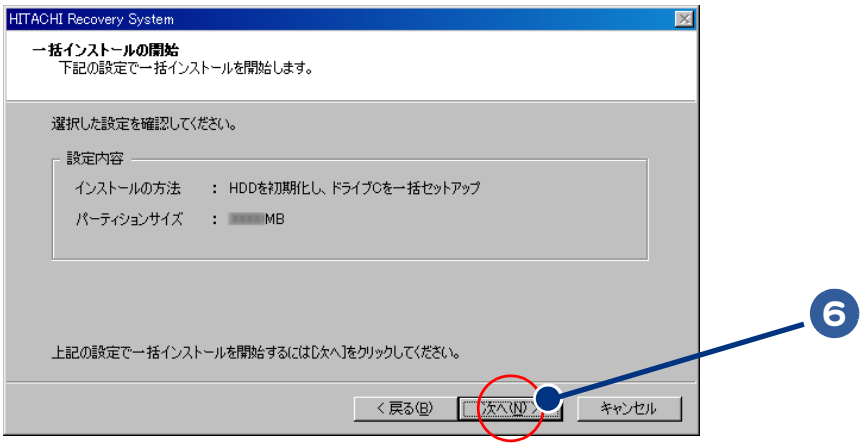
重要

- 工場出荷時のドライブ C は、ご購入時に選択された HDD の容量により、次のようにパーティションが設定されています。
  150GB 未満の HDD ： 20GB
  150GB 以上の HDD ： 30GB

ヒント

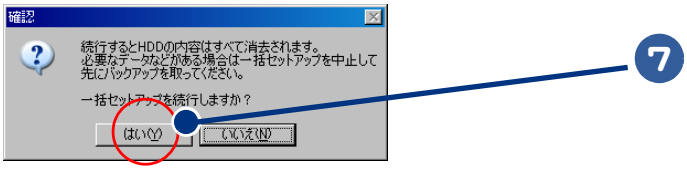
- ここで作成したドライブがドライブ C になり、自動で立ち上げドライブとして設定されます。
- 立ち上げドライブの領域のサイズが、一括インストールに必要なサイズより小さい場合は、一括インストール時、インストールできる HDD のサイズまで自動で割り当て直します。
- [指定サイズでパーティションを作成] を選び、任意のパーティションを入力する場合、最大サイズを超えない値でかつ、最小サイズを下回らない値を入力してください。

6 [一括インストールの開始] 画面が表示されたら、[次へ] ボタンをクリック 一括インストールを中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリック



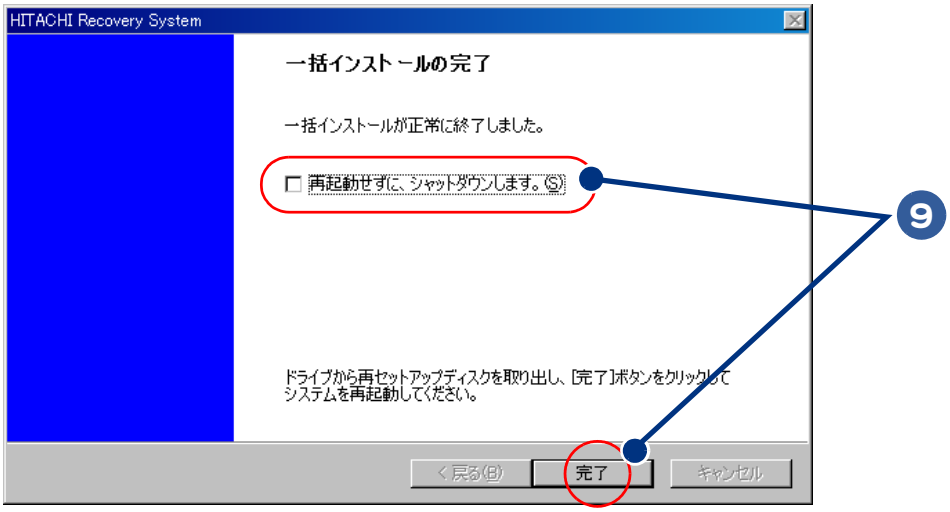
[確認] 画面が表示されます。

7 [はい] ボタンをクリック
[いいえ] ボタンをクリックすると、手順 6 へ戻る



8 OS の回復作業が終了し、[一括インストールの完了] 画面が表示されたら、パソコンから『再セットアップディスク (Disc1)』を取り出す

9 [再起動せずに、シャットダウンします。] にチェックが入っていないことを確認し、[完了] ボタンをクリック



パソコンが立ち上げ直され、[Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されます。

10 画面の指示に従って、Windows 環境をセットアップする

参照 詳細について→紙マニュアル『必ずお読みください』の「使用許諾契約に同意しよう」

11 [スタート] ボタン－ [コントロール パネル] をクリック

12 [管理ツール] アイコンをダブルクリック

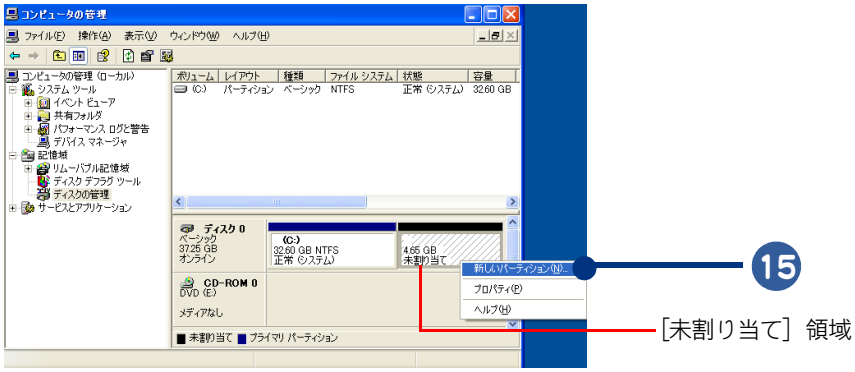
ヒント ● [コントロール パネル] に [管理ツール] アイコンが表示されていないときは、[クラシック表示に切り替える] をクリックすると表示されます。

13 [コンピュータの管理] アイコンをダブルクリック

14 [記憶域] － [ディスクの管理] をクリックし、ディスクの構成を表示する

15 ［未割り当て］領域を右クリックし、［新しいパーティション］をクリック

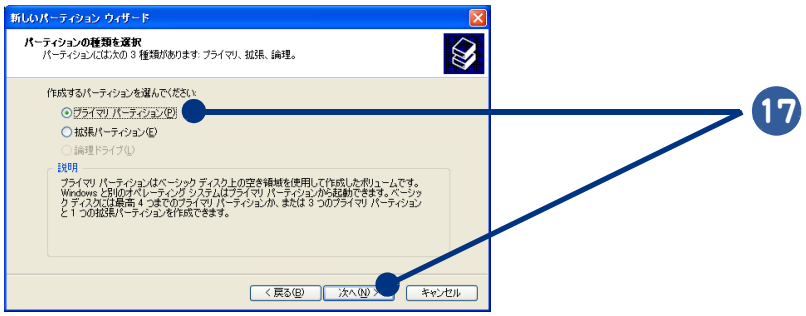
［新しいパーティションウィザード］画面が表示されます。



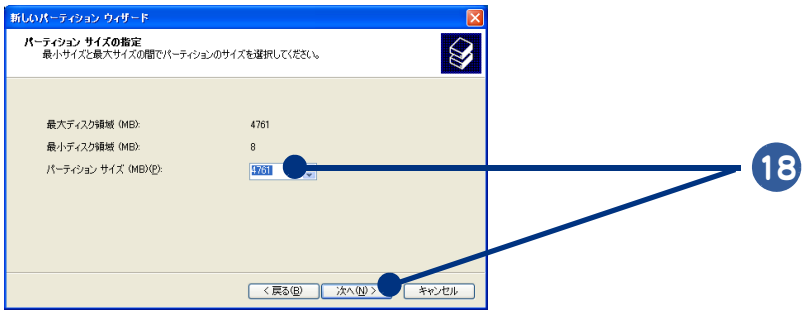
16 ［次へ］ボタンをクリック

17 ［プライマリパーティション］を選択し、［次へ］ボタンをクリック

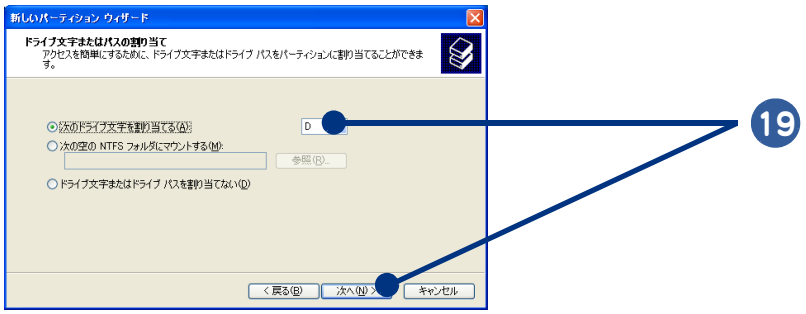
ヒント ●5つ以上のパーティションを作成する場合は、［拡張パーティション］を選択し、画面の指示に従って、パーティションを作成してください。



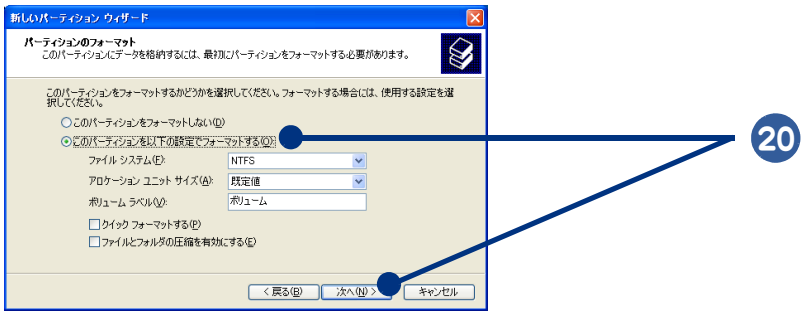
18 パーティションのサイズを入力し、［次へ］ボタンをクリック



19 ドライブ名を選択し、［次へ］ボタンをクリック



20 フォーマットする方法を選択し、［次へ］ボタンをクリック



21 ［完了］ボタンをクリック

パーティションが作成され、新しいドライブができます。

5

5章 日常のお手入れ

この章では、パソコンの各部分および周辺機器のお手入れについて説明します。

>> ・パソコンのお手入れ (P.90)

パソコンのお手入れ

ここではパソコンのお手入れについて説明します。
パソコンのお手入れをするときは、パソコンの電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

重要 ● シンナーやベンジン、化学雑巾は使わないでください。パソコンの表面が変質するおそれがあります。

パソコン

パソコンが汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水か中性洗剤で湿らせた布を固く絞って拭くか、オフィスクリーナーなど、市販の専用クリーナーをお使いください。

6

6章 トラブルと思ったら

この章では、パソコンおよび周辺機器の使用環境、使用方法における制限を説明します。また、「よくある質問」としてトラブルの対処方法を紹介しています。

>> ・制限事項 (P.92)
>> ・よくある質問 (P.98)

制限事項

・パソコンおよび周辺機器を使用する環境について
・パソコンおよび周辺機器の取り扱いについて
・パソコンおよび周辺機器に関するご注意
・ディスプレイに関するご注意
・USB 機器の使用について
・CD/DVD ドライブに関するご注意
・CD/DVD 再生に関するご注意
・CD/DVD ディスクに関するご注意
・「Prius Navistation4」に関するご注意
・地上デジタル放送に関するご注意
・著作権についてのご注意
・HDD の容量表示について
・リモコンに関するご注意
・光学式マウスに関するご注意

パソコンおよび周辺機器を使用する環境について

・寒い場所では、室温を動作時周囲温度まで上げたあと 20 ～ 30 分経過してからお使いください。
・暑い場所では、しばらく空調などを使用し室温が一定になってからお使いください。
・直射日光の当たる場所や、ストーブなど発熱する器具の近くでは使用しないでください。

参照 → 最適な温度について→紙マニュアル『準備しよう！ Prius』の 4 章「パソコン仕様一覧」

・ほこりが極端に多い場所では、使用しないでください。
・温度変化が激しい場所や湿度が極端に高い場所では、使用しないでください。

参照 → 最適な温度について→紙マニュアル『準備しよう！ Prius』の 4 章「パソコン仕様一覧」

・腐食性ガス (特に亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアガスなど) や塩分を多量に含む空気、油煙などが発生する場所に設置しないでください。このような場所では、パソコンおよび周辺機器の表面を化学的に腐食することにより、電子部品の接触抵抗が増加したり、可動部品の構造がもろくなり、パソコンおよび周辺機器の信頼性が著しく低下します。
・パソコンを使用する場所の近くで落雷が発生したり、電源の供給状態が悪い場合は、使用中に瞬時停電や電圧低下が発生して不都合が生じることがあります。この対策として、交流無停電電源装置を使用されることをお勧めします。
・煙霧状の殺虫剤などを使用するときは、事前に電源を切り、ビニールシートなどでパソコンを完全に包んでください。
・じゅうたんのある部屋でパソコンを使用したり、パソコンの使用中にひざ掛けなどを使用すると、それらの材質によって静電気が発生し、パソコンおよび周辺機器に悪影響を及ぼす場合があります。静電気の発生しにくいものをお使いください。

パソコンおよび周辺機器の取り扱いについて

- お客様が作成されたデータ (画像データ、映像データ、文書データ等) やメール、プログラム、各種の設定内容は、お客様の責任においてバックアップをお取りください。誤操作や故障などにより、パソコンの記憶装置 (HDD など) からデータが失われたり、使用できない場合がありますが、保証書に定められた保証サービスを除き、これによる損害などの責任は当社では一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。お客様が作成されたデータなどは普段からこまめにバックアップをお取りになることをお勧めします。
- 本製品は日本国内仕様です。当社では海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。
- パソコンの廃棄または譲渡の際には、HDD 上のデータが流出するトラブルを回避するために、HDD からデータを消去するソフトウェアまたはサービスをご利用いただくことをお勧めします。なお、HDD 上のソフトウェアを削除することなくパソコンを譲渡するとソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。
- Windows の立ち上げ中や使用中に、電源スイッチを 4 秒以上押して電源を切ると、次回立ち上げ時にチェックプログラムが働くことがあります。異常がない場合は、そのあと正常に Windows が立ち上がりますが、異常がある場合は、再セットアップをしないとパソコンが使用できない場合もあります。
- パソコンは精密な電子部品で製造されていますので、衝撃を与えないでください。
- 磁石やスピーカーなどの強い磁気を発生するものを近づけると、パソコンおよび周辺機器の故障の原因になります。
- モデムなど外部からのノイズに弱い機器があります。誤動作をする場合は、パソコンおよびその周辺機器の電源を同一のノイズフィルター付き OA タップからとることをお勧めします。
- パソコンを一度終了したら、立ち上げ直すのは 20 秒以上経過してからにしてください。20 秒以上経過しないと、パソコンが立ち上がらないことがあります。

パソコンおよび周辺機器に関するご注意

- 本パソコンではプレインストールしているオペレーティングシステム (OS) 以外の OS は、当社のサポート外となります。
- 本パソコンはすべての USB 対応周辺機器、IEEE1394 対応周辺機器 (デジタルビデオカメラを含む)、SD メモリーカード / メモリースティック /xD- ピクチャーカードの動作を保証するものではありません。
- 本パソコンはビデオ・画像編集専用機ではありません。取り扱いには Windows パソコンの基本操作についての習熟が必要となります。
- プレインストールおよび添付のソフトウェアは、市販のパッケージ商品と機能や添付品・マニュアルなど異なるものがあります。また、マニュアルについてはソフトウェアのヘルプ機能や電子マニュアルで代用しているものがあります。
- 通信中や HDD、CD/DVD ドライブの読み込み、書き込み中にパソコンの電源を切ったり、ソフトウェアリセットを行ったり、節電機能を働かせないでください。故障の原因となります。
- パソコン内蔵のモデムでは、Windows 標準の「ダイヤラ」は使用できません。
- モデム着信による休止状態および、電源を切った状態からの復帰はできません。
- コマンドプロンプトで、キーボードの［■］、［▶/❚❚］、［⏮］、［⏭］キーを押すと、コマンドラインに関係のない文字が入力される場合があります。
- Windows でコマンドプロンプトを使用する場合は、英語環境にしないでください。正しく動作しないことがあります。

ディスプレイに関するご注意

扱い方について

・パソコンの使用温度範囲は、10 ℃～ 35 ℃です。10 ℃未満の環境でご使用になると画面が暗くなったり、表示できなくなったりします。使用温度範囲のところで、電源を入れ直してください。
・液晶ディスプレイを前後方向に調整する場合は、液晶面に過度のストレスがかからないように、両手で操作してください。無理な力が加わると、故障の原因になります。
・液晶ディスプレイの表面を強く押したりすると、故障の原因となることがあります。
・液晶ディスプレイ表面に水滴や指紋など汚れが付いたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
・表示全体の明るさを最大にすると、バックライトの寿命が短くなります。パソコン前面の明るさ調節ボリュームで調整してください。通常は中程度の明るさでご使用ください。
・液晶表示面の周囲を押さえたり、その部分に過度のストレスがかかる状態で持ち運んだりしないでください。液晶表示面が破損するおそれがあります。

表示について

・表示部が冷えた状態で電源を入れたときなど画面が暗くなることがありますが、故障ではありません。約 30 分ほどで安定状態となります。また液晶は環境温度で明るさが変化します。特に低温になると暗くなることがありますが、故障ではありません。
・液晶の特性上、表示するパターンによっては、画面がちらついたり、本来線の無いところに薄い線が見えたり、色むらが見える場合がありますが故障ではありません。
・長時間同一パターンを表示していると、画面が変わったときにも前のパターンが薄く見えることがあります。これは時間がたつと軽減します。
・長時間連続してご使用になると、液晶の温度が上昇し、コントラストが少し変化したりムラが出ることがあります。これは液晶の温度が下がるともとに戻ります。
・パソコンを立ち上げた直後は、画面の明るさが暗いことがあります。これは時間の経過とともに正しく見えるようになります。
・多色表示を実現させるため、また液晶の構造上、上方向から見えにくい場合があります。ディスプレイ面を見やすい角度に調整してご使用ください。

USB 機器の使用について

・特定の USB 機器を複数接続した場合や、特定のデバイスとの組み合わせによっては、接続した機器が正常に動作しない場合があります。この場合は、USB ケーブルを抜き差しして、その機器をシステムに再度認識させてください。
・特定の USB 機器を接続した場合、節電機能への移行／復帰が正常に行えない場合があります。この場合は節電機能を使用しないでください。
・USB デバイスの抜き差しをする場合は、5 秒以上の間隔を空けてください。
・USB ポートの電源供給能力は、1 ポートあたり最大 500mA です。500mA を超える USB 機器は使用できません。接続しないでください。

CD/DVD ドライブに関するご注意

- ドライブには、次のものを絶対に入れないでください。ディスクを取り出せなくなったり、ドライブやディスクの破損の原因になります。
  - 名刺型やハート型などの異形ディスク
  - 8cm 小径ディスク (付属の 8cm ディスクアダプター使用時を除く)
  - “DVD Slim disc” などの規格外ディスク
  - コイン、クリップなどの金属物や液体など、ディスク以外の異物
- パソコンの電源を切るときは、必ずディスクを取り出してからにしてください。
- ドライブの内部に異物を入れないでください。ドライブの故障の原因となります。
- ドライブの使用中に振動を与えないでください。データを正しく読み込めないことがあります。
- ディスクアクセスランプが点灯、点滅しているときは、イジェクトボタンを押さないでください。
- ほかのパソコンで作成されたディスクについて、本パソコンでの動作を保証するものではありません。
- このパソコンで作成した CD/DVD ディスクは、ほかのパソコンやプレーヤーでは読み込めない場合があります。
- オプションの FDD など、データの転送速度が遅いドライブから CD/DVD ディスクに書き込みを行うときは、テスト書き込みを行ってください。
- CD/DVD ディスクにデータを書き込むときは、ほかのアプリケーションを終了してください。書き込み中もほかのアプリケーションを立ち上げないでください。書き込みを失敗することがあります。
- CD/DVD ディスクは、追加で書き込みをすると、書き込んだドライブ以外では正常に読み込めない場合があります。
- DVD スーパーマルチドライブ (DVD ± R 2 層書き込み対応) で、DVD ± R DL の媒体へデータを記録し、DVD ± R DL 未対応のドライブで読み込むと、DVD-ROM として認識されます。
- DVD+R DL の媒体へデータを追記し、DVD+R DL 未対応のドライブで読み込むと、追記したデータが読み込めないことがあります。
- DVD-R DL は、追記書き込みはできません。

CD/DVD 再生に関するご注意

- 本パソコンでは地域番号 (リージョンコード) として「 2 」または、「 ALL 」が記載されていない DVD ビデオディスクは再生できません。
- 本パソコンにオーディオ機器を接続してお聞きになるときは、スピーカーを保護するため、いったんオーディオ機器の音量を下げて正常に再生できることを確認してからご使用ください。
- 本パソコンはソフトウェアを用いて DVD を再生 (デコード) しています。このためディスクによっては、操作および機能に制限があったり、CPU 負荷などのハードウェアの制限で映像がコマ落ちしたり、音がとぎれることがあります。
- 本パソコンはすべての DVD ビデオタイトルの再生を保証するものではありません。DVD ビデオタイトルによっては、正しく再生できない場合があります。
- 現在発売されています「コピーコントロール CD 」は CD 規格に準拠していない特殊ディスクです。本パソコンでの CD 再生および録音の動作を保証するものではありません。通常の CD の再生には支障がなく、特殊ディスクの再生時にのみ支障がある場合には、パソコンの故障・不具合ではありません。

CD/DVD ディスクに関するご注意

・割れたり変形したディスクを使用しないでください。故障の原因になります。
・ディスクをお手入れするときは、乾いた柔らかい布でディスクの中心から外周に向けて放射状に拭いてください。このとき、ベンジン、シンナー、水、レコードクリーナー、静電気防止剤、シリコンクロスなどで拭かないでください。
・ディスクからゴミや水分を取り除くのにドライヤーは使わないでください。
・ディスクは温度や湿度が高い場所、温度差のはげしい場所、直射日光の当たる場所に保管しないでください。
・ディスクを折ったり曲げたり、字を書いたり傷をつけたりしないでください。
・ディスクにラベルなどをはらないでください。ドライブ内での回転が不安定になり故障の原因になります。
・DVD-RAM などのカートリッジタイプのディスクを、カートリッジから取り外して使用するときは、記録面に触らないなど、取り扱いに注意してください。正しく扱わないと、記録されているデータが損なわれたり、ドライブの故障の原因となります。
・お子様がディスクを傷つけたりしないよう、ディスクはお子様の手の届かないところに保管してください。
・各ディスクの一般的な書き換え可能回数には上限があります。
　・CD-RW ディスク：約 1000 回
　・DVD-RW ディスク：約 1000 回
　・DVD-RAM ディスク：約 10 万回
　・DVD+RW ディスク：約 1000 回
　これを超えて使用されると、書き込みエラーが発生することがあります。
・ディスクによって、一部書き込み速度に対応していない場合もあります。

「Prius Navistation4」に関するご注意

・CATV の受信で、スクランブルのかかった放送の視聴・録画はできません。詳しくはご利用となる CATV 会社へお問い合わせください。
・著作権保護の信号が入った映像は録画することはできません。視聴においても映像が乱れることがあります。
・BS・CS などの衛星放送は、本パソコンの内蔵チューナーでは受信できません。
・同期信号が乱れた映像を入力したときには、映像が途切れたり、録画に失敗することがあります。

地上デジタル放送に関するご注意

・地上デジタル放送をご覧になるためには、アンテナを地上デジタル放送局に向ける必要があります。アンテナによっては買い替えが必要な場合もあります。
・地上デジタル放送のエリア内であっても、地形や遮蔽物などにより、受信できない場合があります。
・CATV パススルー方式（同一周波数方式、周波数変換方式）に対応しています。詳細については、お使いの CATV 業者にお問い合わせください。
・パソコンを修理する場合、故障内容によっては、パソコンに保存した地上デジタル放送のデータが再生できなくなります。ご了承ください。

著作権についてのご注意

・音楽、画像、映像などは著作権法より、その著作権者および著作権者の権利が保護されています。権利者の了解なく無断でこれを複製 (データ形式の変換を含む)、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うことは著作権法上できません。
・著作権保護のための信号が記録されている市販映像は、本パソコンへ取り込むことはできません。

HDD の容量表示について

・HDD は、高密度な磁気ディスクにデータを保存する精密機器です。磁気ディスクには微小な欠点があり、これらの領域にはデータを書き込まないようになっています。
・HDD のエラーチェックプログラムを実行すると、「不良セクタ」もしくは「スキップセクタ」が表示されることがあります。これは、データを書き込まない領域を表示しているだけで、HDD の不良ではありません。
・取り付けられている内蔵 HDD の容量と、エラーチェックプログラム実行時に表示される「全ディスク容量」との関係は次のとおりです。内蔵 HDD が複数のパーティションに分割されている場合は、各領域の合計値です。この場合、合計値が次の値以下になる場合があります。なお、＊は BIOS メニューの IDE の項目をご参照ください。

内蔵 HDD 容量	全ディスク容量の表示
＊ GB	＊× 1000000000 バイト以上

リモコンに関するご注意

・太陽光などの強い光が入るところを避けて使用してください。
・リモコンを落としたり、衝撃を与えたり、足で踏んだりしないでください。部品が壊れ、故障の原因になります。
・リモコンに水をかけたり、濡れたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
・リモコンは次の範囲でご使用ください。
距離 : 発光部をリモコン受信ユニットに向けて、5m 以内
角度 : 左右± 15°、3m 以内

光学式マウスに関するご注意

・センサー部分を汚したり、傷をつけないでください。
・光学式マウスをご使用のときは、光学式マウスに適したマウスパッドをご使用することをお薦めします。
光学式マウスは、次のような表面では正しく動作しない場合があります。
・鏡やガラスなど反射しやすいもの
・光沢があるもの（研磨した金属、ラミネート光沢紙、プラスチック）
・濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの
（正目の木材、畳、立体画像用フレネルレンズ付マウスパッド）

ヒント ● 本機に同梱しているワイヤレスマウスの光センサーは、赤外線を使用しています。裏面のセンサーより、光が出ていることを肉眼では確認できません。

よくある質問

・・・・よくある質問です。

・・・・その答えです。

- パソコンの操作で困った
- ファイルがうまく管理できない
- 通信がうまくできない
- インターネット使用中のトラブル
- インターネットブラウザーのトラブル
- メールの送受信がうまくいかない
- ソフトウェアのトラブル
- ソフトウェアをもっと使いこなしたい
- データのバックアップ

パソコンの操作で困った

・キーボードの [POWER] キーを押しても電源が入らない
・電源スイッチを押してもすぐに電源が切れない
・DVD-RAM メディアの読み込み / 書き込みができない
・ワイヤレスマウスが動かない
・ワイヤレスキーボード・マウスが動かない
・光デジタル音声出力端子に録音可能な光デジタルオーディオ機器を接続しても、録音できない

キーボードの [POWER] キーを押しても電源が入らない

● 電源コードを接続した直後は、パソコン用リモコンの [電源] ボタンやキーボードの [POWER] キーから立ち上げられません。一度 Windows を立ち上げ、電源を切ってからリモコンの [電源] ボタンやキーボードの [POWER] キーから立ち上げることができます。

電源スイッチを押してもすぐに電源が切れない

● パソコンが処理中です。そのままお待ちください。

DVD-RAM メディアの読み込み / 書き込みができない

● DVD-RAM ドライバーは、他の UDF ドライバー (CD や DVD のパケットライトソフトなど) がインストールされていると、動作しません。他の UDF ドライバーをインストールしないでください。

● CD/DVD ドライブのプロパティー、「書き込み」タブの「このドライブで書き込みを有効にする」にチェックを入れると、動作しない場合があります。チェックが入っている場合は、チェックを外してください。

● 他のアプリケーションで、CD/DVD ドライブを使用しているときは、CD/DVD ドライブの読み込み / 書き込みはできません。CD/DVD ドライブを使用しているアプリケーションを終了してください。

● メディアが破損している場合、読み込み / 書き込みはできません。メディアを交換してください。

ワイヤレスマウスが動かない

● ワイヤレスマウスは電池寿命を延ばすため、10 秒間操作しないと節電モードに入ります。節電モードを解除するには、ワイヤレスマウスの左ボタンまたは右ボタンのどちらかをクリックしたり、ワイヤレスマウスを動かしてください。電池残容量ランプが赤色点滅している場合は、電池の交換をお願いします。

ワイヤレスキーボード・マウスが動かない

● ワイヤレスキーボード/マウスのCONNECTボタンを押すと約15秒間キーボードとマウスの登録ができます。15秒以内に登録できない場合は、再度登録を行ってください。登録方法は紙マニュアル『準備しよう！Prius』1章の「キーボードとマウスを接続しよう」を参照してください。

光デジタル音声出力端子に録音可能な光デジタルオーディオ機器を接続しても、録音できない

● 録音するコンテンツによっては、著作権保護により、録音できない場合があります。

ファイルがうまく管理できない

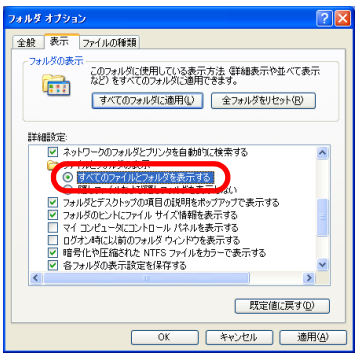
・エクスプローラで探しているファイルが見つからない
・CD、DVDディスクからコピーしたファイルを上書きできない

エクスプローラで探しているファイルが見つからない

● 隠しファイルに設定されています。隠しファイルを見えるようにフォルダーオプションの設定を変更します。

1 [スタート]ボタン－[マイコンピュータ]を選択し、[ツール]－[フォルダオプション]を選択する。

2 [表示]タブをクリックし、[詳細設定]の[ファイルとフォルダの表示]を開き、[すべてのファイルとフォルダを表示する]を選択する。



3 [OK]ボタンをクリック。

● フォルダーの内容が非表示に設定されています。「このフォルダの内容を表示する」をクリックすると、以降はそのフォルダー内のファイルが表示されるようになります。

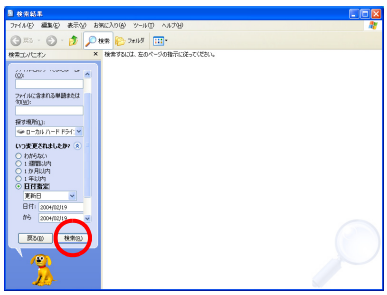
● 正しいフォルダーを選択します。

● どのフォルダーに保存したか不明のときは、ファイルを検索します。

1 [スタート]ボタン－[検索]－[ファイルとフォルダすべて]を選択する。

2 [いつ変更されましたか？]をクリック。

3 [日付指定]を選択し、ファイルを作成した日付の範囲を指定する。ファイル名やファイルの種類がわかれば、検索条件に追加して[検索]ボタンをクリック。



4 検索されたファイルのフォルダーを確認する。

● 新規文書を保存すると、文書を作成したアプリケーションのフォルダーに入ることがあるので、このフォルダーを確認します。

● CD/DVDドライブ内のディスク内の3階層程度下のフォルダーを開くと、正しくフォルダーが表示されない場合があります。

CD、DVDディスクからコピーしたファイルを上書きできない

● ファイル属性の読み取り専用を解除します。

1 エクスプローラでファイルを右クリックし、[プロパティ]を選択する。

2 [読み取り専用]のチェックを外す。

3 [適用]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリック。

4 エクスプローラのウインドウ右上の［×］ボタンをクリックして、エクスプローラを終了する。

通信がうまくできない

・モデムや LAN で通信ができない
・モデムで通信できない
・LAN で通信できない

Q モデムや LAN で通信ができない

A ● 次の手順を行います。

1 ［スタート］ボタン－［コントロールパネル］を選択する。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックして開き、［ハードウェア］タブをクリック。

3 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリック。

4 モデムの場合はリストの［モデム］をダブルクリックし、モデムドライバーのプロパティーを開く。
LAN の場合はリストの［ネットワークアダプタ］をダブルクリックし、［LAN ドライバー］のプロパティーを開く。

5 それぞれのデバイスの状態を確認し、正常に動作していない場合は［トラブルシューティング］をクリックして、トラブルシューティングを行う。

Q モデムで通信できない

A ● 次の方法で通信テストを行い、エラーになった場合はドライバーを再セットアップします。

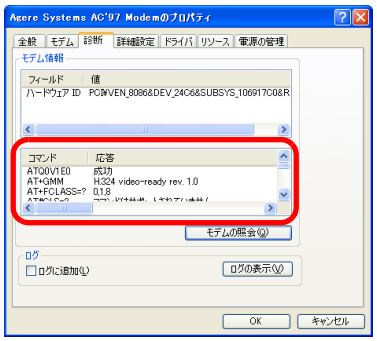
1 ［スタート］ボタン－［コントロールパネル］を選択する。

2 ［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリックして開き、［モデム］タブをクリック。

3 モデムを選択し、［プロパティ］ボタンをクリック。

4 ［診断］タブをクリックし、［モデムの照会］ボタンをクリック。

5 処理が終わったら通信テストの結果を確認する。



Q LAN で通信できない

A ● パソコン背面の LAN ランプの状態を確認します。

参照 LAN ランプの位置と状態について→紙マニュアル『準備しよう！ Prius』2 章の「各部の名前を知っておこう」

インターネット使用中のトラブル

・インターネットに接続できない
・接続中に突然回線が切れる
・接続中にパソコンの電源を切ってしまった
・ホームページが開かない
・モデムの発信音がうるさい
・転送スピードが遅い

Q インターネットに接続できない

A ● 外付けのモデムを使用しているときは、モデムの電源が入っているかを確認します。

● 接続が混んでいる時間帯では、すぐに接続できないことがあります。しばらくしてからもう一度接続します。

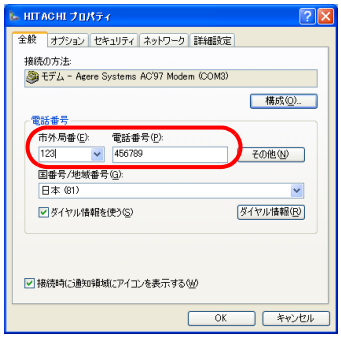
● 接続先のサーバーが停止していないかを確認します。

● 設定してある接続先の電話番号を確認します。

1 ［スタート］ボタン－［コントロールパネル］を選択し、［ネットワーク接続］アイコンをダブルクリック。

2 使用している接続先のアイコンを右クリックし［プロパティ］を選択する。

3 ［全般］タブをクリックし、市外局番と電話番号を確認する。

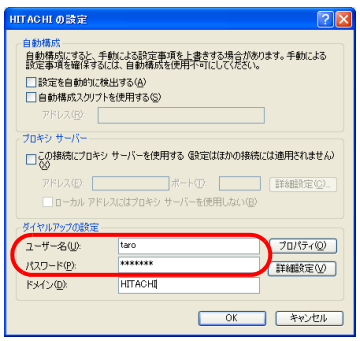


- プロバイダーに接続する場合、アクセスポイントによってはつながりにくいことがあります。この場合、アクセスポイントを変更して接続してください。
- ユーザー ID やパスワードを確認します。

1 ［スタート］メニューの［インターネット］アイコンを右クリックし、［インターネットのプロパティ］を選択する。

2 ［接続］タブをクリックし、［ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定］で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、［設定］ボタンをクリック。

3 ユーザー名を確認し、正しいパスワードを入力する。パスワードを入力するときは小文字、大文字を確認する。

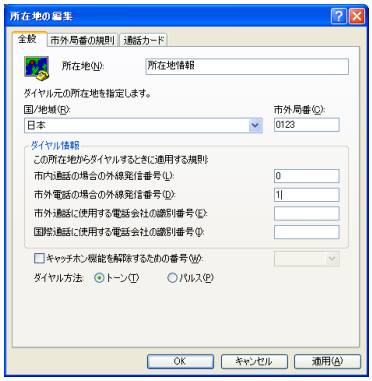


- モデムの設定が正しいかを確認します。

1 ［スタート］ボタン－［コントロールパネル］を選択し、［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリック。

2 ［ダイヤル情報］タブをクリックし、［所在地］を選択して［編集］ボタンをクリック。

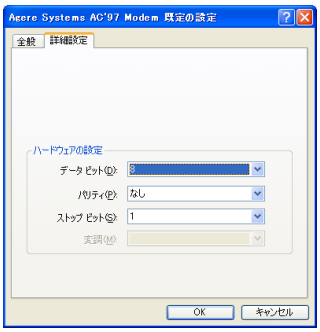
3 ［全般］タブをクリックし、国 / 地域、市外局番、ダイヤル情報を確認して、［OK］をクリック。



4 ［モデム］タブをクリックし、使用しているモデムが選択されているかを確認する。

5 ［プロパティ］ボタンをクリックし、［XXXX のプロパティ］の［詳細］タブをクリック。

6 ［既定の設定を変更］ボタンをクリックし、［XXXX 既定の変更］の［全般］タブ、［詳細］タブをクリックして、接続の形式などを確認する。



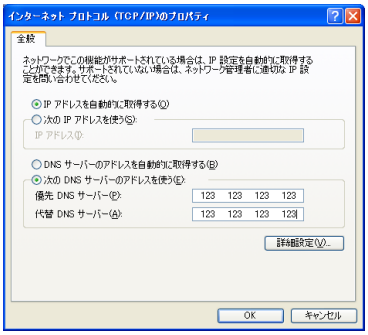
- ネームサーバーや IP アドレスなどの TCP/IP の設定を確認します。

1 ［スタート］ボタン－［コントロールパネル］を選択し、［ネットワーク接続］アイコンをダブルクリック。

2 使用している接続先のアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する。

3 [ネットワーク] タブをクリックし、確認する接続を選択して [プロパティ] ボタンをクリック。

4 IP アドレスとネームサーバーを確認する。



- パソコンに接続した電話機から影響を受けている可能性があります。パソコンに接続した電話機を外して、インターネットに接続してください。正しく接続できる場合は、市販の秘話機能付き電話自動切替機をご使用いただくことで、改善できる場合があります。
- AC 電源やモデムケーブルにノイズが発生している可能性があります。市販の AC 電源ノイズフィルターや、市販のモデムラインノイズフィルターを使用して、ノイズを除きます。
- ターミナルアダプター (以下、TA) をご使用の場合、Windows XP に対応している TA であるかを確認します。モデルによっては、Windows XP に対応していないことがあります。
- ADSL モデムなどの電源が入っているか確認します。
- モデムや通信機器の各ケーブルが、正しく接続されているか確認します。

接続中に突然回線が切れる

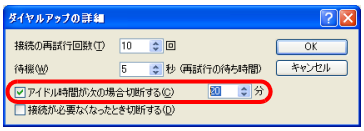
- データを送受信していない状態が一定の時間以上続くと、自動的に回線が切れます。通信していない時間を長くするときは、次のようにします。

1 [スタート] メニューの [インターネット] アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ] を選択する。

2 [接続] タブをクリックし、[ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定] で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリック。

3 [詳細設定] ボタンをクリック。

4 [アイドル時間が次の場合切断する] をチェックして、アイドル時間を長くする。



- キャッチホンがかかると、通信が切れます。キャッチホン II 加入者の場合、キャッチホン II に切り替えると解消します。

ヒント
- キャッチホン II とは、回線接続中にかかってきた電話に対して電話センタが対応する、NTT のサービスです。

- 接続先のサーバーがダウンした可能性があります。サーバーが回復するのを待って、もう一度接続します。
- Outlook 2003 の使用時では、[手動の送受信が終了したら切断する] を、Outlook Express の使用時では、[送受信が終了したら切断する] をチェックしていると、メールの送受信後自動的に回線が切れます。
- 回線にノイズが発生しました。しばらく待って、もう一度接続します。
- パソコンがシステムスタンバイの状態になっています。システムスタンバイをオフにします。
- モデムケーブルの接続を確認し、接続が正しくない場合は、パソコンの電源を切ってから接続し直します。
- ノートモデルの場合、CPU の周波数が切り替わる時に、回線が切れることがあります。CPU の節電機能を無効にしてください。

1 [スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックし、[電源オプション] アイコンをダブルクリック。

2 [電源設定] タブをクリック。

3 [電源設定] を「常にオン」に設定する。

接続中にパソコンの電源を切ってしまった

● 電話回線は強制的に切断されます。パソコンを立ち上げ直し、再接続すれば特に問題ありません。ダウンロード中のファイルがある場合は、正常に保存されないことがあります。

ホームページが開かない

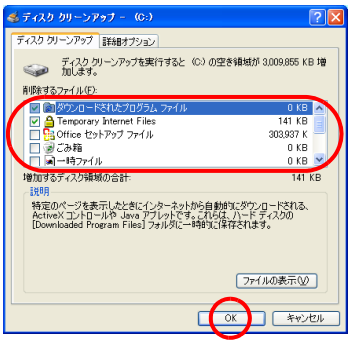
● URL の入力が正しいか確認します。

● 指定した URL のホームページがなくなっています。

● HDD の空き容量が不足しています。ディスククリーンアップの実行、不要なデータの削除などで HDD の空き容量を増やします。

1 [スタート] ボタン－[すべてのプログラム] －[アクセサリ] －[システムツール] －[ディスク クリーンアップ] を選択する。状態のチェックが行われ、[ディスク クリーンアップ] が表示される。

2 [ディスク クリーンアップ] タブをクリックする。削除するファイルにチェックを付け、[OK] ボタンをクリックする。確認のメッセージで [はい] ボタンをクリック。



● 指定した URL のホームページは、インターネットエクスプローラで設定したセキュリティーのレベルの範囲外です。次の手順を行って、セキュリティーレベルを調整します。

1 [スタート] メニューの [インターネット] アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ] を選択する。

2 [セキュリティ] タブをクリックし、[Web コンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する] で、[インターネット] が選択されていることを確認する。

3 [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリック。

4 [カスタム設定のリセット] の [リセット] でレベルを選択し、[リセット] ボタンをクリック。

5 「このゾーンに設定されいるセキュリティのレベルを変更しますか？」という警告が表示される。[はい] をクリック。

6 [OK] ボタンを 2 回クリック。

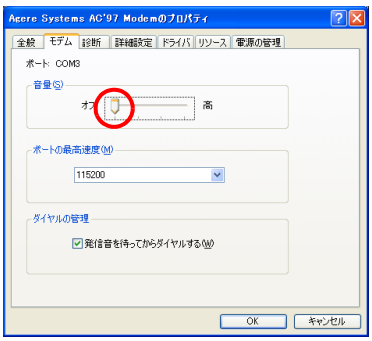
モデムの発信音がうるさい

● モデムの発信音を消します。

1 [スタート] ボタン－[コントロールパネル] を選択し、[電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリック。

2 [モデム] タブをクリックし、使用するモデムが選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリック。

3 [モデム] タブをクリックし、[音量] のスライダーを [オフ] にする。



4 [OK] ボタンを 2 回クリックして終了する。

ヒント ● 再び音を出す場合は、手順 3 で [音量] のスライダーを右に移動してください。

転送スピードが遅い

- サーバーが混んでいます。
- パソコンに接続した電話・FAX などの通信機器から影響を受けている可能性があります。パソコンに接続した通信機器を外して、インターネットに接続してください。正しく接続できる場合は、市販の秘話機能付き電話自動切替機をご使用いただくことで、改善できる場合があります。
- AC 電源やモデムケーブルにノイズが発生している可能性があります。市販の AC 電源ノイズフィルターや、市販のモデムラインノイズフィルターを使用して、ノイズを除きます。

インターネットブラウザーのトラブル

- 「お気に入り」が増えすぎた
- 開いたホームページが更新されていない
- ホームページが文字化けする
- ホームページの表示が遅い
- ホームページがいつ更新されたかいちいち調べるのは大変

「お気に入り」が増えすぎた

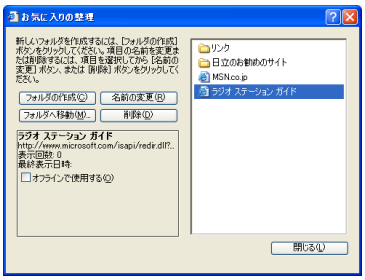
- フォルダーを作成してお気に入りのページをフォルダーに移動します。

参照 お気に入りの整理について→『使おう！インターネット』2 章の「[お気に入り]を整理する」

- お気に入りのページを削除します。

1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、[お気に入り] − [お気に入りの整理] を選択する。

2 削除するホームページを選択し、[削除] ボタンをクリックし、[はい] ボタンをクリック。

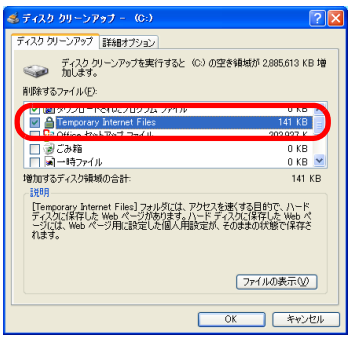


開いたホームページが更新されていない

- 立ち上げ直したあと、HDD のクリーンアップを実行して一時ファイルを削除します。

1 [スタート] ボタン − [すべてのプログラム] − [アクセサリ] − [システムツール] − [ディスク クリーンアップ] を選択する。状態のチェックが行われ、[ディスク クリーンアップ] が表示される。

2 [ディスク クリーンアップ] タブをクリックする。削除するファイルにチェックを付け、[OK] ボタンをクリックする。確認のメッセージで [はい] ボタンをクリック。

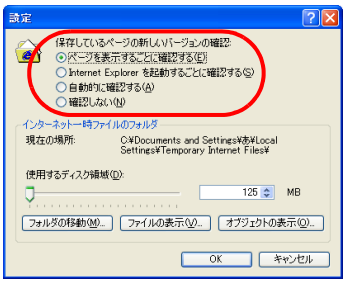


- キャッシュに保存されている一時ファイルを更新するように設定を変更します。

1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、[ツール] − [インターネットオプション] を選択する。

2 [全般] タブをクリックし、[インターネット一時ファイル] の [設定] ボタンをクリック。

3 [保存しているページの新しいバージョンの確認] で [ページを表示するごとに確認する]、[Internet Explorer を起動するごとに確認する]、[自動的に確認する] のいずれかを選択する。



● 一時ファイルを削除します。

1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、[ツール] − [インターネットオプション] を選択する。

2 [全般] タブをクリックし、[インターネット一時ファイル] の [ファイルの削除] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリック。

ホームページが文字化けする

● 表示している文字の種類を日本語に変更します。

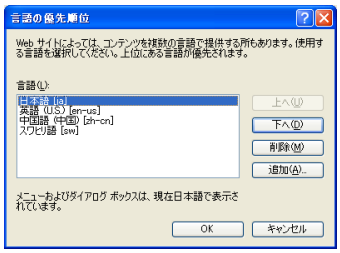
1 インターネットエクスプローラで、[表示] − [エンコード] − [日本語 (シフト JIS)] または [日本語 (自動選択)]、[日本語 (EUC)] を選択する。

● 日本語を優先して表示する設定に変更します。

1 インターネットエクスプローラで、[ツール] − [インターネットオプション] を選択する。

2 [全般] タブをクリックし、[言語] ボタンをクリック。

3 [日本語 [ja]] を選択し、[上へ] ボタンをクリックし、一番上に移動する。[日本語 [ja]] がないときは、[追加] ボタンをクリックし、[日本語 [ja]] を選択し [OK] ボタンをクリック。



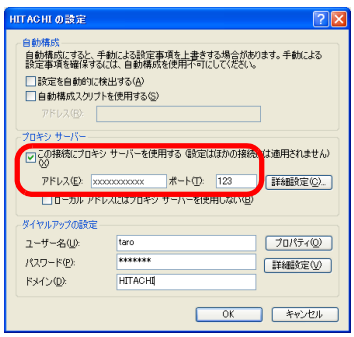
ホームページの表示が遅い

● プロキシサーバーを利用します。

1 [スタート] メニューの [インターネット] アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ] を選択する。

2 [接続] タブをクリックし、使用しているダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリック。

3 [この接続にプロキシサーバーを使用する] をチェックし、アドレスとポートを入力する。

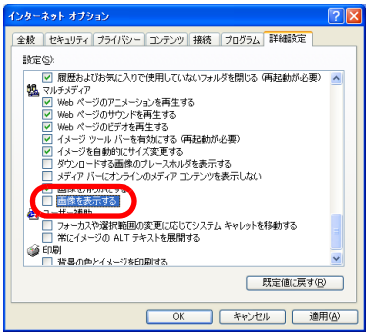


ヒント ● アドレスとポートはプロバイダーにお問い合わせください。

● 画像の表示をやめます。

1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、[ツール] − [インターネットオプション] を選択する。

2 ［詳細設定］タブをクリックし、「マルチメディア」の［画像を表示する］のチェックを外す。

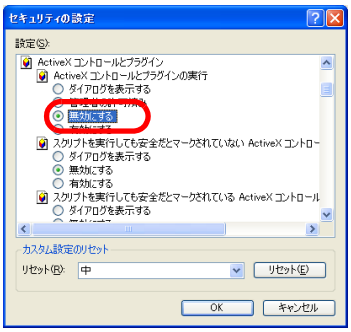


● ActiveX を無効にします。

1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、［ツール］－［インターネットオプション］を選択する。

2 ［セキュリティ］タブをクリックし、［レベルのカスタマイズ］ボタンをクリック。

3 「ActiveX コントロールとプラグインの実行」の［無効にする］を選択する。



● AC 電源やモデムケーブルにノイズが発生している可能性があります。市販の AC 電源ノイズフィルターや、市販のモデムラインノイズフィルターを使用して、ノイズを除きます。

Q ホームページがいつ更新されたかいちいち調べるのは大変

A

● ホームページの内容が更新された通知をメールで受け取ることができます。ホームページをお気に入りに追加し、更新通知を送信するように設定します。

1 インターネットに接続し、更新された通知を送信させるホームページを表示する。

2 ［お気に入り］－［お気に入りに追加］を選択し、フォルダーを選択して［OK］ボタンをクリック。

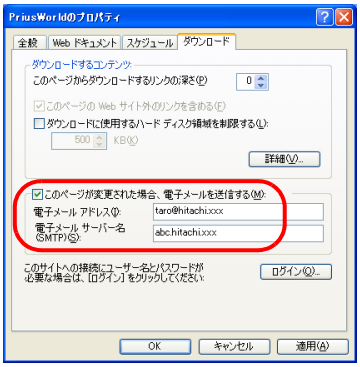
3 ［お気に入り］－［お気に入りの整理］を選択する。

4 更新通知を送信させるホームページを選択し、［オフラインで使用する］をチェックする。
［プロパティ］ボタンが表示される。

5 ［プロパティ］ボタンをクリックする。［XXX のプロパティ］が表示される。

6 ［ダウンロード］タブをクリック。

7 ［このページが変更された場合、電子メールを送信する］をチェックし、電子メールアドレスと電子メールサーバー名を入力し、［OK］ボタンをクリック。



8 ［閉じる］ボタンをクリックする。インターネットに接続し、同期化される。

メールの送受信がうまくいかない

・メールの送受信ができない
・送信したメールが相手に届いていない
・受信したメールが文字化けしている
・受信メールをいちいち手作業で分類するのは手間がかかる
・Outlook Express でメールを開くと、「次の添付ファイルは安全でないため、メールからのアクセスが削除されました：〈ファイル名〉」と表示される
・Outlook でメールを開くと、「次の添付ファイルは問題を起こす可能性がある」と表示される

Q メールの送受信ができない

● [送受信] ボタンを数回押します。

● サーバーが停止していないかを確認します。

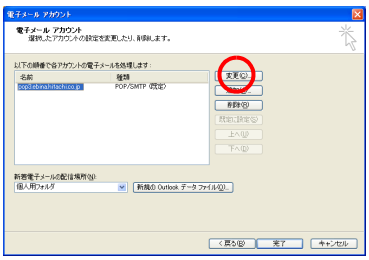
● 受信メール（POP3）サーバー、送信メール（SMTP）サーバー、アカウント名、パスワードが正しいか確認します。

[Outlook 2003 の場合]

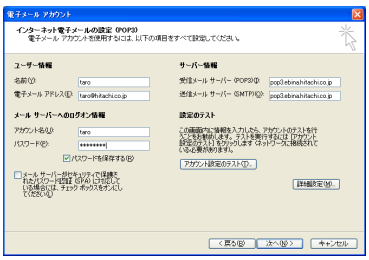
1 Outlook 2003 を立ち上げ、[ツール] － [電子メールアカウント] を選択する。

2 [既存の電子メール アカウントの表示と変更] を選択し、[次へ] ボタンをクリック。

3 メールのアカウントから、使用するアカウントを選択し、[変更] ボタンをクリック。



4 [サーバー情報] に正しい受信メールサーバー（POP3）、送信メールサーバー（SMTP）、ログイン名、パスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリック。



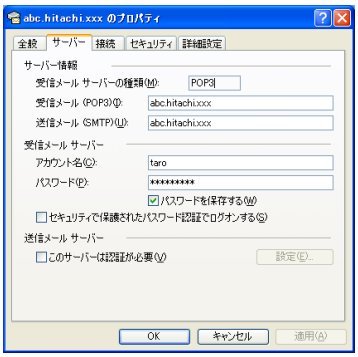
5 [電子メールアカウント] ダイアログボックスで、[完了] ボタンをクリック。

[Outlook Express の場合]

1 Outlook Express を立ち上げ、[ツール] － [アカウント] を選択する。

2 [メール] タブをクリックし、使用するアカウントが選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリック。

3 [サーバー] タブをクリックし、正しい受信メール（POP3）サーバー、送信メール（SMTP）サーバー、アカウント名、パスワードを入力する。



送信したメールが相手に届いていない

● 宛先のメールアドレスが正しいかを確認します。

● メールサーバーが停止していないかを確認します。

● 添付されているデータのサイズが大きすぎ、メールサーバーで受信できる範囲を超えています。添付したデータのサイズを小さく（圧縮）してもう一度送信します。

参照 → データの圧縮について→ Windows のヘルプ

受信したメールが文字化けしている

● 表示するフォントを日本語にします。

1 Outlook Express で、[表示] － [エンコード] － [日本語（自動選択）] を選択する。

● 添付データの送信形式を送信相手にし、MIME の「Base 64 形式」または「なし」で送信するように依頼します。

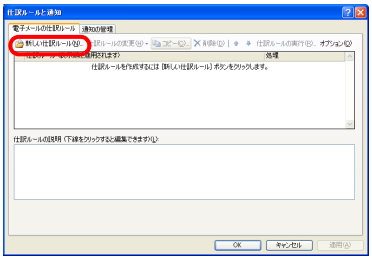
受信メールをいちいち手作業で分類するのは手間がかかる

● 受信メールを自動的に振り分けることができます。ここでは、指定した送信者からのメールを自動的に振り分ける場合を例に説明します。

[Outlook 2003 の場合]

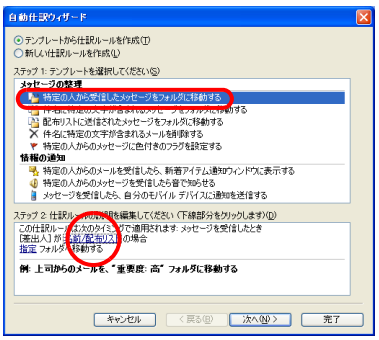
1 ［ツール］－［仕訳ルールと通知］をクリック。

2 ［新しい仕訳ルール］ボタンをクリック。



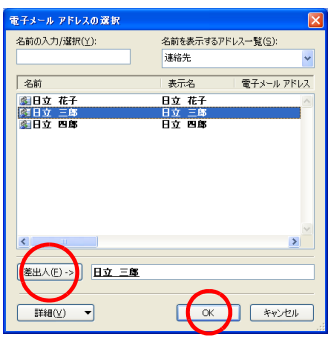
3 ［テンプレートから仕訳ルールを作成］を選択する。

4 ステップ 1 で［特定の人から受信したメッセージを移動する］を選択し、ステップ 2 で下線部分の［名前 / 配布リスト］をクリック。



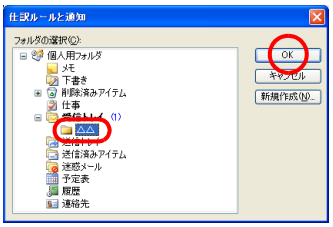
5 ［名前］から特定のユーザーを選択し、［差出人］ボタンをクリック。

6 必要に応じて手順 5 を繰り返し、最後に［OK］ボタンをクリック。

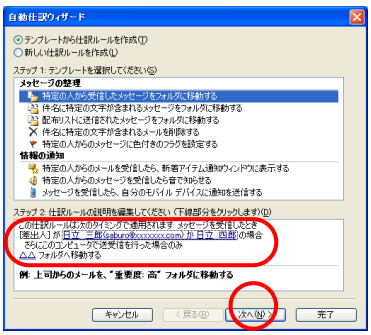


7 ステップ 2 で下線部分の［指定］をクリック。

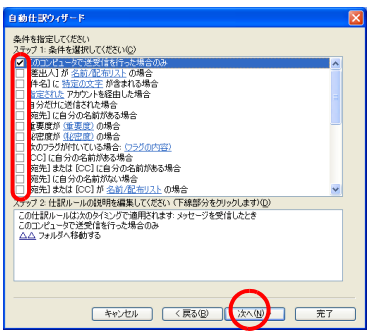
8 ［仕訳ルールと通知］画面で移動先フォルダーを選択し、［OK］ボタンをクリック。



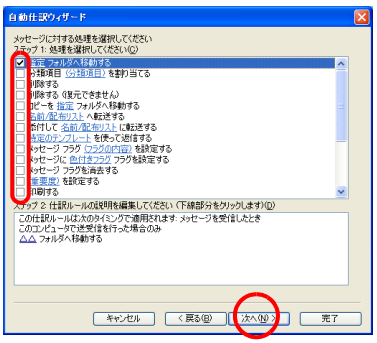
9 下線部分が指定した内容になっていることを確認し、［次へ］ボタンをクリック。



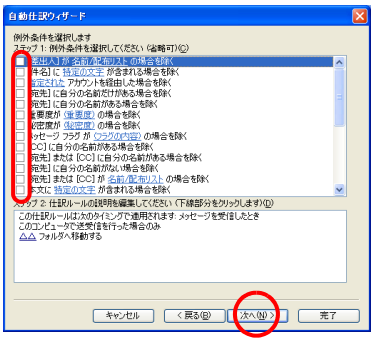
10 ステップ 1 で該当する条件のチェックボックスにチェックし、［次へ］ボタンをクリック。



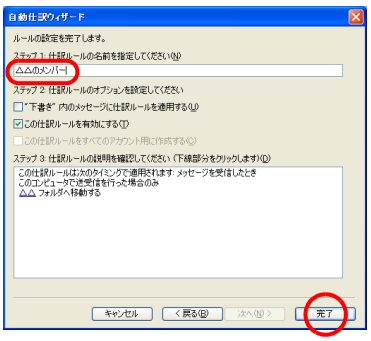
11 ステップ 1 で該当する条件のチェックボックスにチェックし、［次へ］ボタンをクリック。



12 ステップ 1 で該当する条件のチェックボックスにチェックし、[次へ] ボタンをクリックする。例外条件がない場合は、チェックボックスにチェックを付けずに [次へ] ボタンをクリック。



13 ステップ 1 に名前を入力し、[完了] ボタンをクリック。



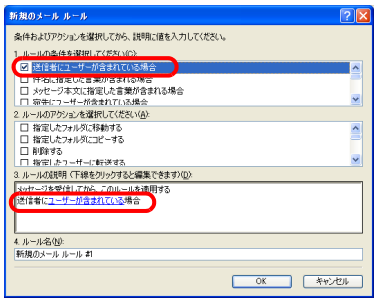
14 自動仕訳ウィザードで、[OK] ボタンをクリック。

[Outlook Express の場合]

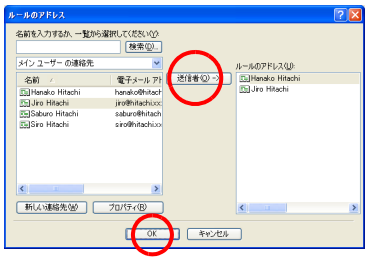
1 [ツール] − [メッセージルール] − [メール] を選択する。

2 [1. ルールの条件を選択してください] で [送信者にユーザーが含まれている場合] をチェックする。

3 [3. ルールの説明 (下線をクリックすると編集できます)] の「送信者にユーザーが含まれている場合」をクリック。



4 [アドレス帳] ボタンをクリックし、送信者を選択して [送信者] ボタンをクリックし、[ルールのアドレス] に表示する。ほかの送信者も選択する場合は、同様にする。[OK] ボタンを 2 回クリックし、[新規のメールルール] に戻る。



5 [2. ルールのアクションを選択してください] の [指定したフォルダに移動する] をチェックし、[3. ルールの説明 (下線をクリックすると編集できます)] の「指定したフォルダ」をクリック。

6 [アイテムの移動先] で受信メールを移動するフォルダーを選択し、[OK] ボタンをクリック。

7 [4. ルール名] に分類する名称を入力し、[OK] ボタンを 2 回クリック。

Outlook Express でメールを開くと、「次の添付ファイルは安全でないため、メールからのアクセスが削除されました：〈ファイル名〉」と表示される

● Outlook Express 6.0 には、特定の拡張子の添付ファイルを表示させない機能があります。次の手順で設定を解除することができます。

重要 ● 添付ファイルがダウンロードや表示をしても安全であることが確かな場合に、行ってください。

1. Outlook Express 6.0 を立ち上げる。
2. ［ツール］メニューから［オプション］ボタンをクリック。
3. ［セキュリティ］タブを選択し、［ウイルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない］のチェックを外す。

Outlook でメールを開くと、「次の添付ファイルは問題を起こす可能性がある」と表示される

● Outlook には、特定の拡張子の添付ファイルを表示させない機能があります。添付ファイルにアクセスできるようにするには、次のいずれかの方法を行ってください。

重要 ● 添付ファイルがダウンロードや表示をしても安全であることが確かな場合に、行ってください。

- 送信者にファイル拡張子を変更するファイル圧縮ユーティリティーを使用するように依頼する。
- 送信者にファイル拡張子を変更して送信するように依頼する。名前を変更した添付ファイルを受け取ったあと、元の拡張子にファイル名を変更することができます。

一括インストールできない

・『再セットアップディスク』をドライブに入れてパソコンを立ち上げてもメニューが表示されない

『再セットアップディスク』をドライブに入れてパソコンを立ち上げてもメニューが表示されない

● ご購入後に増設した機器を取り外してから、一括インストールを行います。
DVD ドライブに『再セットアップディスク』を入れます。

参照 → 一括インストール方法→紙マニュアル『準備しよう！ Prius』3 章の「2 一括インストールを行う」

PDF ファイルの操作で困った！

・PDF ファイルが立ち上がらない
・画像が表示されず、グレーのボックスになる

PDF ファイルが立ち上がらない

● 『活用百科』CD の［Install］－［Reader］フォルダーの中の［Adberdr70_jpn_full.exe］をダブルクリックし、Adobe Reader をインストールします。

画像が表示されず、グレーのボックスになる

● Adobe Reader の［編集］－［環境設定］－［ページ表示］をクリックし、［データ量の多い画像を表示］にチェックを付けます。

ソフトウェアのトラブル

・動画がメディアプレイヤーで再生できない
・マカフィー・ウイルススキャン (90 日間サポート)、マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス (90 日間サポート) がうまく動作しない
・「Office Personal 2003」で新規ファイルの作成や更新などができなくなってしまった
・一括インストールを行ったあと、「Office Personal 2003」が使えなくなった

動画がメディアプレイヤーで再生できない

● 動画のファイル形式が avi の場合、ファイルの入手先によっては専用コーデックを使用していることがあります。コーデックを同時に入手し、インストールしてください。

● DVD ビデオタイトルを再生する場合は、専用 DVD プレーヤーソフトで再生してください。

マカフィー・ウイルススキャン(90 日間サポート)、マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス(90 日間サポート)がうまく動作しない

- 複数のウイルス対策ソフトを併用すると、OS が誤動作することがあります。マカフィー・ウイルススキャン(90 日間サポート)、マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス(90 日間サポート)以外のウイルス対策ソフトは、すべてアンインストールしてください。

「Office Personal 2003」で新規ファイルの作成や更新などができなくなってしまった

- 「Office Personal 2003」をインストールし直した場合は、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行わず、許容起動回数に達すると、新規ファイルの作成や更新など一部の機能が使えなくなります。ライセンス認証の方法については、「Office Personal 2003」の『スタートガイド』をご参照ください。

一括インストールを行ったあと、「Office Personal 2003」が使えなくなった

- 「Office Personal 2003」は、一括インストールでは元に戻りません。付属の「Office Personal 2003」CD-ROM よりインストールしてください。インストール方法については、「Office Personal 2003」の『スタートガイド』をご参照ください。

DVD-RAM メディアの読み込み / 書き込みができない

- DVD-RAM ドライバーは、他の UDF ドライバー(CD や DVD のパケットライトソフトなど)がインストールされていると、動作しません。他の UDF ドライバーをインストールしないでください。
- CD/DVD ドライブのプロパティー、「書き込み」タブの「このドライブで書き込みを有効にする」にチェックを入れると、動作しない場合があります。チェックが入っている場合は、チェックを外してください。
- 他のアプリケーションで、CD/DVD ドライブを使用しているときは、CD/DVD ドライブの読み込み / 書き込みはできません。CD/DVD ドライブを使用しているアプリケーションを終了してください。
- メディアが破損している場合、読み込み / 書き込みはできません。メディアを交換してください。

ソフトウェアをもっと使いこなしたい

・ソフトウェアの便利な使い方を知りたい
・BIOS をアップデートしたい

ソフトウェアの便利な使い方を知りたい

- CyberSupport を使うと、パソコンについて知りたいことを、ヘルプやマニュアルの中から探し出せます。
- インストールされている「Prius で楽しもう!」に、ソフトウェアのいろいろな使い方を、使い方ごとにまとめています。ご参照ください。

BIOS をアップデートしたい

- PriusWorld サポートページでご使用のモデルに BIOS のアップデートが必要であるか確認してください。アップデートが必要な場合は、PriusWorld サポートページで BIOS のアップデート方法を参照し、アップデートを実行してください。

データのバックアップ

・メールのデータをバックアップしたい
・各種アプリケーションのデータをバックアップしたい
・エクスプローラを使ってデータをバックアップしたい

メールのデータをバックアップしたい

● 電子マニュアル『使おう！インターネット』に、バックアップ手順をまとめています。電子マニュアルをインストールして、ご参照ください。

参照 Outlook 2003 データのバックアップ方法→電子マニュアル『使おう！インターネット』3 章の「Outlook 2003 のデータをバックアップする」
Outlook Express データのバックアップ方法→電子マニュアル『使おう！インターネット』3 章の「Outlook Express のデータをバックアップする」

各種アプリケーションのデータをバックアップしたい

● 各種アプリケーションで作成したファイルのバックアップは、次の手順で行います。

1 必要なファイルを作成しているアプリケーションを起動する。

2 メニューの一覧から、[ファイル] メニューをクリックし、[名前を付けて保存] をクリック。

3 [保存先] ボックスに表示されている場所を確認する。

4 [保存先] ボックスで、バックアップを取りたいファイルが保存されているフォルダーを指定する。

5 そのファイルに保存されているファイルの一覧が表示される。
必要なファイルのアイコンを右クリックしたあと、[送る] をクリックし、リムーバブルメディアを指定する。

これでファイルのバックアップを取ることができます。

エクスプローラを使ってデータをバックアップしたい

● エクスプローラを使ったファイルのバックアップは、次の手順で行います。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] をクリック。

2 [アクセサリ] をクリックし、[エクスプローラ] をクリックして開く。

3 [フォルダ] ツールバーの中から、リムーバブルメディアへ保存するフォルダーやファイルを選択する。

必要なファイルを複数選択する場合、[Ctrl] キーを押しながら必要なファイルやフォルダーを選択する。

4 [編集] メニューをクリックし、[コピー] をクリック。

5 [フォルダ] ツールバーの中から、保存先のリムーバブルメディアをクリック。

6 [編集] メニューをクリックし、[貼り付け] をクリック。

これでファイルのバックアップを取ることができます。

さくいん

A

Adobe Reader 80
AI 囲碁 スタンダード for HITACHI 66
AI 将棋 スタンダード for HITACHI 66
AI 麻雀 スタンダード for HITACHI 66
ATLAS 翻訳パーソナル 2006 LE 65

C

CyberSupport for HITACHI 81

D

DiXiM Media Client 67
DiXiM Media Server 66
DVD Movie Writer 5 for HITACHI 65
DVD-RAM ドライバー 65

E

Easy Media Creator 8.2 65

H

HDD の節電 30

I

IEEE1394 機器 42
[INTERNET] キー 19
i - フィルター 65

L

LAN 43
LAN ドライバー 71

M

[MAIL] キー 19
Microsoft Office Home Style+ 65
Microsoft Office Parsonal Edition 2003 64
MSN Messenger 67

P

[P1] キー 19
[P2] キー 19
Prius かんたんシリーズ 66

S

SD メモリーカード 44
So-net 67

U

USB(Universal Serial Bus) 39

W

Windows ファイルを追加セットアップする 82
WinDVD5 for HITACHI 66

X

xD- ピクチャーカード 44
xD- ピクチャーカードドライバー 76

あ

アプリケーションディスク 62
アプリケーションのインストール 58

え

映像設定について 13
[映像モード] ボタン 13

お

お手入れ 90
オンラインサインアップソフト 77
音量 15
音量ボタン 16

か

画面の解像度、色、フォントサイズ 10
画面のプロパティ 10

き

キーボード / マウスの電池容量 22
キーボードインジケーター 21

く

クイックレジュームモード 30, 35

さ

サウンドドライバー 70

し

システムの休止状態 30
周辺機器 38
使用するプリンターの選択 41

す

スタンバイ 30

た

タイピングドリーム アフロ犬 66

ち

地上アナログ TV チューナードライバー 72
地上デジタル TV チューナードライバー 74
チップセットドライバー 68

て

ディスプレイ 10

と

ドライバー、ユーティリティーのセットアップ 68
ドルビーヘッドホン 51

は

パーティションの設定 83
パソコン用リモコン 13

ひ

光デジタルオーディオ機器 52
表示ドライバー 69

ふ

筆ぐるめ Ver.13 for HITACHI 66
プリンタードライバーのインストール 40
プリンタードライバーの削除方法 40

へ

ヘッドホン 47

ま

マイク 47, 49
マカフィー・ウイルススキャン 65
マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス 65
マルチメディアキーボードドライバー 70

め

メール着信通知機能 24
メモリースティックドライバー 75
メモリーボード 53
メモリーボードソケット 54

も

モデムドライバー 71

ら

らくらく家計簿ゆとりちゃん 7 66

ろ

録音 49

わ

[ワイド] ボタン 13
ワンタッチキー 19

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。
それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
・メモリースティック、マジックゲートは、ソニー株式会社の商標です。
・xD- ピクチャーカードは、富士写真フイルム株式会社の商標です。
・その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

パソコン応用

初　版　2006 年 7 月

無断転載を禁止します。

株式会社　日立製作所
ユビキタスシステム事業部

〒 244-0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地
お問い合わせ先 : 安心コールセンター　0120-885-596

© Hitachi,Ltd.2006.All rights reserved.

AW0S740P0-1